

令和 8 年 度

草 加 の 教 育



草加市立歴史民俗資料館

草加市教育委員会

【表紙の説明】

草加市立歴史民俗資料館～令和 8 年 9 月建物竣工100周年～

大正15年（1926）に草加小学校の西校舎として建てられた埼玉県初の鉄筋コンクリート造り校舎を活用しています。

同建物は平成20年（2008）に市内初となる国登録有形文化財（建築物）に登録され、貴重な歴史的建築物として知られています。

目

次

教育委員会教育長・教育長職務代理者・委員
歴代教育委員会教育委員長・委員・教育長

I 教育行政・教育財政

令和8年度草加市教育委員会教育方針	5
令和8年度草加市教育行政重点施策	8
令和8年度教育予算	9
教育委員会の組織	10
教育委員会の事務分掌	11

II 子ども教育

「子ども教育」の連携	15
国際理解教育	17
環境教育	19
情報教育	20
生徒指導	21
教育相談	23
特別支援教育	25
自然教室	28
学校図書館教育	30
学校給食	31
学校保健	33
教職員の研究・研修	34
入学準備金・奨学資金の貸付制度	35
外国人学校児童生徒保護者補助金制度	35
計画的な学校教育施設の整備	36
教育施設の紹介	37
市立小学校の紹介	38
市立中学校の紹介	44

III 生涯学習

学びの成果が発揮される生涯学習	49
文化遺産の発掘・保存・活用	51
生涯学習施設の紹介	52
草加市立中央図書館	56

IV 人権教育

人権教育	63
------	----

V 資料編

草加の教育の沿革	67
草加市の指定・登録文化財等	76
教育委員会関係附属機関委員	81
学校教育関係等一覧	82
児童・生徒数等の推移	83
教職員の年齢構成・男女比	84
学校概要	85
小・中学校施設状況	86

教育委員会教育長・教育長職務代理者・委員

(令和8年4月1日現在)

氏 名	教 育 長	教育長職務代理者	委員
	在任期間	在任期間	在任期間
やまもと こういちろう 山 本 好一郎	R 3. 4. 1 ～ R 6. 3. 31 R 6. 4. 1 ～ R 9. 3. 31		R 2. 10. 1 ～ R 3. 3. 31
かわ い かすみ 川 井 かすみ		R 6. 10. 1 ～ R 8. 9. 30	H 31. 1. 25 ～ R 5. 1. 24 R 5. 1. 25 ～ R 9. 1. 24
たに わき じゅん こ 谷 脇 純 子			R 6. 1. 1 ～ R 9. 12. 31
く どう かず ひろ 工 藤 和 宏			R 6. 10. 1 ～ R 10. 9. 30
の もと たつ や 野 本 竜 哉			R 6. 10. 1 ～ R 10. 9. 30
ほり い あき こ 堀 井 章 子			R 8. 4. 1 ～ R 11. 3. 31

歴代教育委員会教育委員長・委員・教育長

(地方教育行政の組織及び運営に関する法律施行後)

氏 名	教 育 委 員 長		委 員		教 育 長	
	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日	就任年月日	退任年月日
藤 波 武 義	S32.1.9	S35.9.9	S31.10.1	S35.9.30		
岡 野 仁右衛門			S31.10.1	S42.12.31		
浅 古 光 藏			S31.10.1	S43.9.30		
池 田 俊 三	S44.1.9	S45.1.8	S31.10.1	S48.9.30		
	S48.1.10	S48.9.30				
田 中 捷一郎			S31.10.1	S46.9.30	S31.10.1	S46.9.30
中 島 長太郎	S36.1.9	S43.12.19	S35.12.20	S43.12.9		
	S45.1.9	S45.9.30	S43.4.1	S45.9.30	S47.1.14	S49.10.4
宮 本 忠 藏	S45.10.24	S46.1.11	S45.10.5	S49.10.4	S50.1.9	S53.12.31
			S50.1.1	S53.12.31		
上 山 良 一	S46.1.12	S47.1.7	S43.12.25	S47.12.24		
	S49.1.11	S52.1.10	S48.3.1	S52.2.28		
	S52.1.22	S52.2.28				
二階堂 重 信	S47.1.8	S47.12.24	S43.12.25	S47.12.24		
倉 林 誠一郎			S46.12.24	S50.12.23		
加 藤 正 一			S48.3.1	S49.12.31		
若 旅 吉一郎			S49.1.1	S52.12.31		
藤 盛 正 規	S52.4.23	S53.4.22	S51.1.1	S54.12.31		
佐々木 正 勇			S51.6.21	S55.6.20		
野 口 康 司	S53.4.23	S54.3.31	S53.1.1	S56.12.31	S54.4.1	S56.12.31
小 澤 博	S54.4.1	S56.12.31	S53.4.1	H5.6.30	S57.1.1	H5.6.30
藤 波 壽	S59.1.1	S61.12.31	S54.7.1	S62.6.30		
竹 澤 義 郎	S62.1.1	S62.12.31	S55.1.17	S63.1.16		
浅 古 正 三	S57.1.1	S58.12.31	S55.8.12	S63.8.11		
小 山 利 男	S63.1.1	H1.12.31	S57.4.1	H2.3.31		
渦 尾 延之助	H2.1.1	H2.12.31	S62.10.1	H3.9.30		
桂 保 平			S63.4.1	H4.3.31		
鈴 木 昭 平	H3.1.1	H4.9.30	S63.10.1	H4.9.30		
高 野 光 由	H4.10.1	H6.3.31	H2.4.1	H10.3.31		
	H8.1.10	H10.3.31				
藤 井 光 男	H6.4.1	H7.12.31	H4.1.1	H7.12.31		
神 白 高 子			H4.6.1	H12.5.31		
定 道 成 美			H4.10.1	H8.9.30		
常 田 種 雄			H5.10.15	H10.3.31	H5.10.15	H10.3.31
谷古宇 康 治	H10.4.1	H11.12.31	H8.1.1	H11.12.31		
會 田 勝 美			H8.10.1	H15.3.31		
鳥谷部 志乃恵			H12.7.1	H16.6.30		
牛 山 信 康	H12.1.19	H14.1.18	H11.1.1	H17.4.22		
	H17.1.19	H17.4.22				
若 林 誠 満	H14.1.19	H17.1.18	H12.1.1	H19.12.31		
宮 嶋 昭 雄			H10.4.1	H22.3.31	H10.4.16	H22.3.31
國 澤 正 和	H19.5.24	H21.9.30	H16.10.1	H23.3.31	H22.4.1	H23.3.31
岩 永 嘉 仁			H20.1.1	H23.12.31		
浜 本 悦 子	H17.5.24	H19.5.23	H15.4.1	H24.9.30		
西 田 敏	H25.1.25	H26.3.31	H22.4.1	H26.3.31		
	H21.10.1	H22.12.31	H17.10.1	H22.12.31		
井 出 健治郎	H23.1.25	H25.1.24	H23.1.25	H31.1.24		
	H26.4.1	H27.3.31	H23.4.1	R2.9.30		
村 田 悦 一			H23.4.1	H27.3.31	H23.4.1	R3.3.31
高 木 宏 幸			H24.1.1	R5.12.31		
小 澤 尚 久			H24.10.1	R6.9.30		
加 藤 由 美			R3.4.1	R6.9.30		
峰 崎 隆 司			H26.4.1	R8.3.31		
宇田川 久美子						

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、平成26年度をもって、教育委員長の職は廃止されました。

I 教育行政・教育財政

令和 8 年度草加市教育委員会教育方針

教育は人格の完成を目指すとともに、心身ともに健康な国民の育成を期して行うことを目的とし、あらゆる機会にあらゆる場所で実現することが求められています。

この目的を達成するため、「第四次草加市教育振興基本計画」においても「生きる力を共に教え育てる草加の教育」を基本理念とし、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校（以下「幼保小中」という。）と家庭・地域が互いに信頼し、絆を深め、連携・協働して支え合い、「笑顔かがやく草加の教育」を目指します。

次代を担う子どもたちにとって必要な「生きる力」を支える確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和を図り、子どもたちの自己肯定感・自己有用感・他者理解を高めるとともに、子どもたちのよさや可能性が発揮され、一人ひとりを大切にした信頼される学校教育を推進します。

市民一人ひとりが生涯にわたって主体的に学習する機会の充実を図るとともに、その成果を発揮できる学習環境づくりを推進します。

0 歳から 15 歳までの子どもの育ちを共に支え、自ら学び、心豊かに、たくましく生きる「草加っ子」を実現するため、「第四次草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画」に基づき、引き続き全中学校区で幼保小中を一貫した教育を推進し、これまで育んできた自己肯定感・自己有用感を一層高めるとともに、他の人のよさを認める他者理解も高めることができるよう、各中学校区の教育実践を支援します。

地域社会が一体となって子どもの育ちを支えられるよう、幼保小中・家庭・地域の連携・協働を推進するとともに、家庭教育への支援や施策の周知・広報を積極的に行います。

子どもたち一人ひとりをかけがえのない存在と捉え、誰一人取り残すことのない、一人ひとりの可能性が引き出される教育の実現のため、全ての教育活動を通して、子どもたちの自己肯定感・自己有用感・他者理解を育む視点を持ちながら、持続可能な社会の創り手となることを見据え、「自分の考えを持つ」「伝える」「コミュニケーションを行う」「他者と協力する」能力態度の育成を重視します。

教職員の校務用パソコンに導入されている統合型校務支援システムのもと、児童生徒一人一台端末との連動などにより、データやデジタル技術を有効活用する教育を進めます。

自ら学ぶ「草加っ子」の育成に向けて、児童生徒の学力向上を最重要課題の一つと捉え、I C T の効果的な活用とともに、学習補助の充実を図り、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、主体的・対話的で深

い学びを実現します。

心豊かな「草加っ子」の育成に向けて、道德教育や「いのちの大切さ」を実感する教育を充実させます。また、いじめや不登校等の諸問題に対する相談体制を整えるとともに、発達支持的生徒指導の充実を図り、いじめの未然防止・早期発見、いじめを撲滅しようとする心情や態度を育てます。

たくましく生きる「草加っ子」の育成に向けて、心身ともに健康で豊かな人生を送れるよう、力いっぱい運動し、しっかり食事をとり、ぐっすり睡眠をとる等の基本的な生活習慣の定着を目指します。

学校運営協議会と学校応援団が両輪となり、学校と地域がよりよい学校運営に向けて協議を進め、コミュニティ・スクールとして地域と共にある学校づくりを一体的に推進します。

「草加市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」及び「草加市立小中学校における働き方改革基本方針」に基づき、教職員の意識改革を図り、ＩＣＴの効果的な活用などによるさらなる業務改善や、教職員以外の人材活用により、働き方改革をより推進し、教育職員の「働きやすさ」と「働きがい」を両立し、子どもたちへのよりよい教育を目指します。

不登校等の個別の支援を必要とする児童生徒の様々な状況を、解決すべき重要な課題として捉えて対応するため、きっかけとなる事実を適切に把握し、個の状況に応じた支援及び臨床心理士等による丁寧な教育相談活動を推進します。また、スクールソーシャルワーカーや学校支援指導員等の役割を強化し、学校や園、関係諸機関と連携をより一層深め、一人ひとりの状況に応じた、きめ細かな支援の充実を図ります。

ふれあい教室の体験活動やオンラインを活用した支援をより一層充実させるとともに、児童生徒の自立を支援できるような環境づくりを推進します。

特別な配慮を要する児童生徒の多様化する教育的ニーズに対応し、一人ひとりのよさや可能性を最大限に発揮できるよう、幼保小中と連携した丁寧な教育相談、就学相談を更に推進するとともに、十分な環境整備や支援体制を構築します。

医療等の各機関や関係各課との連携や、埼玉県立草加かがやき特別支援学校等が担う相談支援等の地域のセンター的機能の活用を推進することで、個々に応じたきめ細かな支援の充実を図ります。

特別支援教育に係る市独自の研修会や各学校における研修を充実させることで、全教職員の特別支援教育についての理解を深め、指導力の向上を図り、個に応じた教育支援を推進します。

「草加市公共施設等総合管理計画」、「草加市学校施設等長寿命化計画」等に基づき、学校の改築等について関係各課と連携し、計画的に進めます。

また、校舎等の改修等を効果的・効率的に進め、安全で安心な教育環境の整備に努めます。

学校予算のより効果的かつ効率的な執行を推進し、特色ある学校経営を支援します。

「草加市生涯学習推進指針」を基に、他施策との連携を図る中で、市民一人ひとりのライフステージに応じた多様な学習機会を提供し、生涯学習情報提供サイト「マイ・ステージ」等を通じて積極的な情報発信に努めます。

各公民館等で実施する講座等で習得した技能や知識を地域づくりに還元できるようにすることで、学びの成果が発揮される生涯学習の推進を図ります。

公民館・文化センターにおいては、「草加市公共施設等総合管理計画」及び「草加市学校施設等長寿命化計画」に基づき、安全安心で快適な学習環境の整備を効果的・効率的に進めます。

「草加市文化財保護指針」を基に、国指定名勝「おくのほそ道の風景地草加松原」を始めとする文化財の保存活用や計画的な整備、さらに、文化財保護の拠点施設である歴史民俗資料館の整備・充実を図り、文化遺産をいかした魅力あるまちづくりを推進します。

中央図書館では、「第二次草加市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校や関係諸機関、読書に携わる市民ボランティアと連携して、子どもと本が出会う機会を創出します。

市民の生涯にわたる自主的な学習活動を支え促進するとともに、市民が抱えている課題を解決できるように、地域の情報拠点として市民に役立つ図書館を目指します。

また、中央図書館においては、様々な利用ニーズに合わせた空間を提供し、誰もが使いやすい環境づくりに取り組みます。

「草加市人権尊重都市宣言」を基に、全ての教育活動において、子どもたちが自他の大切さを認めることができるよう、発達段階に応じた人権を尊重し合う教育を推進します。

市民が自ら考え行動できるよう啓発活動や学習機会を提供することで、全ての人が相互に認め合い、尊重し合う平和な社会の実現を目指します。

「だれもが幸せなまち 草加」の実現に向けて、学校・家庭・地域が連携・協働し、「笑顔かがやく草加の教育」を目指し、積極的に取り組みます。

令和8年4月1日

令和8年度草加市教育行政重点施策

草加市教育委員会は、第四次草加市総合振興計画第三期基本計画及び第四次草加市教育振興基本計画「笑顔かがやく草加教育プラン」を踏まえ、『生きる力を共に教え育てる草加の教育』の実現を目指し、教育行政重点施策を定めています。

○ 子ども教育「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる草加っ子の育成」

1 一人ひとりを大切にする幼保小中を一貫した教育の推進

(1) 子ども教育の連携の推進

- ◇ 子ども教育連携推進事業

(2) 自ら学ぶ「草加っ子」の育成

- ◇ 学力向上推進事業
- ◇ 学校教育補助員配置事業
- ◇ 土曜学習推進事業
- ◇ 英語教育・国際理解教育推進事業
- ◇ 日本語指導支援事業

(3) 心豊かな「草加っ子」の育成

- ◇ 豊かな心推進事業
- ◇ 音楽教育推進事業
- ◇ 自然教室推進事業
- ◇ 生徒指導推進事業
- ◇ いじめ撲滅推進事業

(4) たくましく生きる「草加っ子」の育成

- ◇ 学校体育推進事業
- ◇ 中学校部活動推進事業
- ◇ 学校給食推進事業（小中学校）
- ◇ 学校給食管理運営事業
- ◇ 就学時健康診断等事業
- ◇ 学校保健安全衛生・各種健康診断事業（小中学校）
- ◇ 学校医等の公務災害補償事務

(5) 多様なニーズに対応した教育と支援の充実

- ◇ 教育相談充実事業
- ◇ 特別支援教育充実事業
- ◇ 特別支援教育就学奨励費補助事業（小中学校）
- ◇ 学校就学援助事業（小中学校）
- ◇ 入学準備金・奨学資金貸付事業
- ◇ 外国人学校児童生徒保護者補助事業

(6) 草加っ子の学びを支える教職員の指導力向上

- ◇ 教職員研修推進事業

2 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

(1) 地域とともにある学校づくりの推進

- ◇ 学校管理運営事業（小中学校）
- ◇ 学校運営・就学事務事業

(2) 家庭教育への支援

- ◇ 家庭教育支援事業

3 教育環境の整備・充実

(1) 安全安心な学校教育施設の整備・充実

- ◇ 学校施設維持管理事業（小中学校）
- ◇ 学校維持管理運営事業（小中学校）
- ◇ エアコン設置等事業（小中学校）
- ◇ 学校備品整備事業（小中学校）
- ◇ 奥日光自然の家管理運営事業
- ◇ 栄中学校校舎等改築事業

(2) 学習環境の整備・充実

- ◇ 情報教育環境整備事業（小中学校）
- ◇ 教科書等整備事業
- ◇ 特色ある学校経営推進事業（小中学校）

○ 生涯学習「学びを通して生きる力を育む生涯学習社会の推進」

4 学びの成果が発揮される生涯学習の推進

(1) 生涯を通した多様な学習機会の充実

- ◇ 生涯学習推進体制整備事業
- ◇ そうか市民大学運営事業
- ◇ 大学公開講座等推進事業
- ◇ 子ども大学そうか事業
- ◇ 二十歳のつどい企画運営事業
- ◇ 平成塾設置・管理運営事業
- ◇ 栄小学校施設一般開放事業

(2) 公民館・文化センターの整備と生涯学習環境の充実

- ◇ 公民館等事業（中央公民館、柿木公民館、新田西文化センター、谷塚文化センター、川柳文化センター、新里文化センター）

(3) 文化遺産の発掘・保存・活用の計画的、継続的な取組の推進

- ◇ 文化遺産の発掘・保存・有効活用推進事業
- ◇ 国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の保存・活用推進事業
- ◇ 歴史民俗資料館管理運営事業

(4) 読書や学びを支え市民に役立つ図書館サービスの充実

- ◇ 図書館情報サービス・管理運営事業

○ 人権教育「人権を尊重し合う教育の推進」

5 人権教育の推進

(1) 学校人権教育の推進

- ◇ 学校人権教育推進事業

(2) 社会人権教育の推進

- ◇ 社会人権教育推進事業

令和8年度教育予算

令和8年度一般会計歳出予算（当初）

（単位：千円）

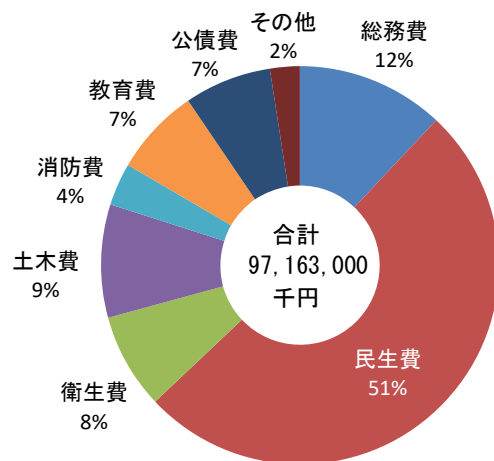
款	本年度予算額	前年度予算額	比較	増減率（％）
1 議会費	417,431	403,386	14,045	3.5
2 総務費	11,653,100	10,824,352	828,748	7.7
3 民生費	49,541,057	46,819,669	2,721,388	5.8
4 衛生費	7,549,532	6,818,777	730,755	10.7
5 労働費	36,756	45,419	△ 8,663	△ 19.1
6 農林水産業費	103,474	81,075	22,399	27.6
7 商工費	1,677,983	1,282,346	395,637	30.9
8 土木費	8,939,950	9,507,719	△ 567,769	△ 6.0
9 消防費	3,336,065	3,127,559	208,506	6.7
10 教育費	6,901,855	5,900,493	1,001,362	17.0
11 災害復旧費	3	3	0	0.0
12 公債費	6,885,794	6,745,202	140,592	2.1
13 予備費	120,000	120,000	0	0.0
歳出合計	97,163,000	91,676,000	5,487,000	6.0

令和8年度教育費内訳（当初）

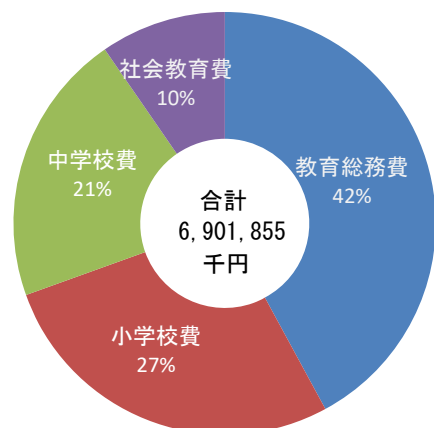
（単位：千円）

項	本年度予算額	前年度予算額	比較	増減率（％）
1 教育総務費	2,904,925	2,105,318	799,607	38.0
2 小学校費	1,891,602	1,782,692	108,910	6.1
3 中学校費	1,442,355	1,343,183	99,172	7.4
4 社会教育費	662,973	669,300	△ 6,327	△ 0.9
合計	6,901,855	5,900,493	1,001,362	17.0

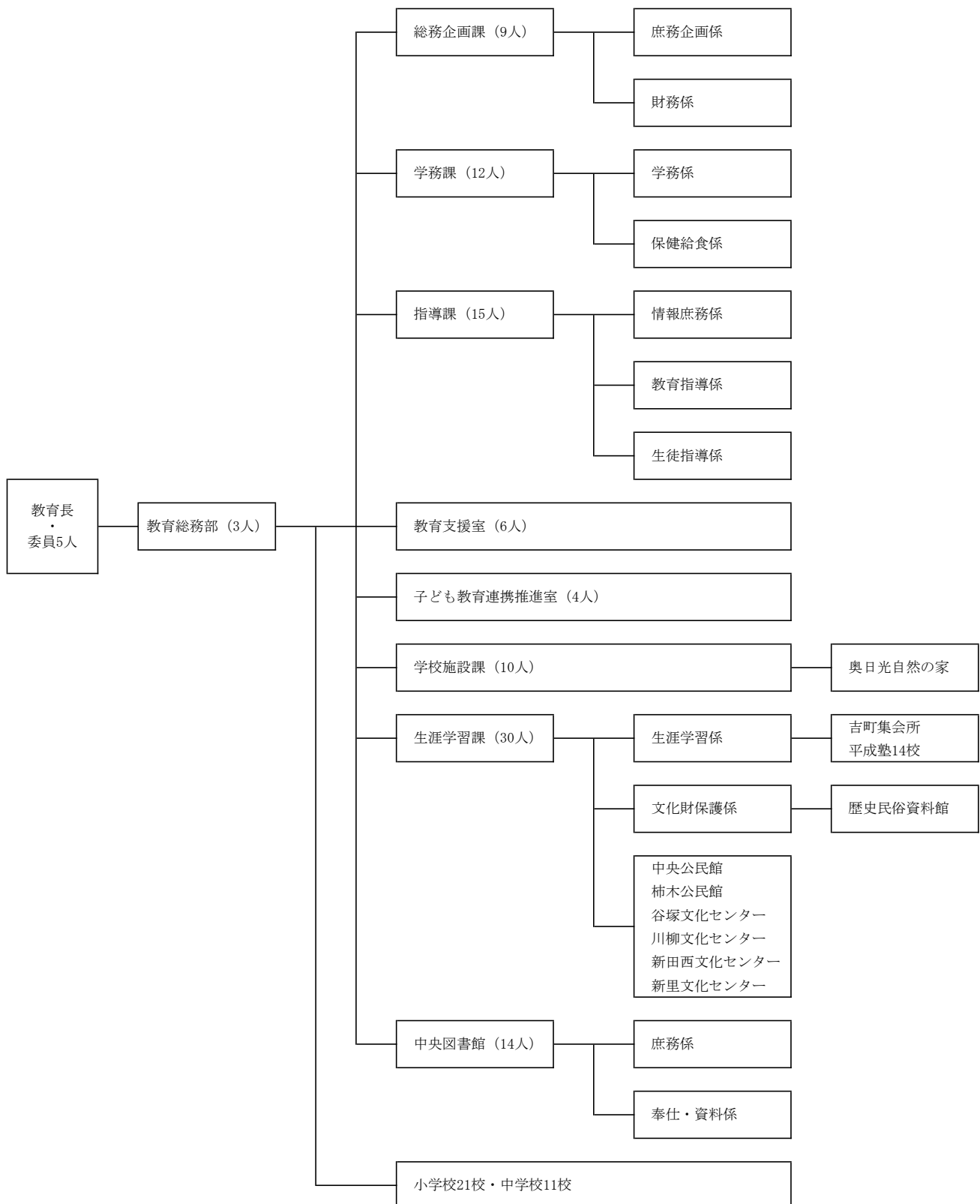
○ 令和8年度一般会計歳出予算（当初）の構成



○ 令和8年度教育費（当初）の構成



教 育 委 員 会 の 組 織



（ ）内は正規職員の人数

教育委員会の事務分掌

教育総務部		
総務企画課	庶務企画係	教育行政の主要施策の企画、立案、総合調整及び推進に関すること。 教育委員会の会議に関すること。 教育委員会の秘書事務に関すること。 学校の設置及び廃止に関すること。 教育委員会規則等の制定及び廃止に関すること。 職員（県費負担教職員を除く。）の人事、給与及び服務に関すること。 職員（県費負担教職員を除く。）の福利厚生及び研修に関すること。 儀式及び表彰に関すること。 文書等の配布及び発送に関すること。 文書事務の指導に関すること。 公印の管理に関すること。 教育委員会事務局内の調整に関すること。 他の課に属さない事務に関すること。 その他課の庶務に関すること。
	財務係	予算の作成及び調整に関すること。 学校予算の配当に関すること。 物品の購入、委託その他の契約に関すること。 教育財産の統括に関すること。 「草加の教育」及び「そうか教育だより」の発行に関すること。 教育の調査統計及びその分析に関すること。 入学準備金及び奨学資金の貸付けに関すること。 その他財務に関すること。
学務課	学務係	県費負担教職員の服務及び人事に関すること。 学級編成及び児童生徒数の管理に関すること。 学齢児童生徒の就学、入学、転学及び退学に関すること。 学齢簿の編製及び保管に関すること。 要保護・準要保護児童生徒の援助費に関すること。 通学区域の設定及び改廃に関すること。 学校の運営の基本的事項に関すること。 学校基本調査に関すること。 学校評価に関すること。 その他課の庶務に関すること。
	保健給食係	学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。 独立行政法人日本スポーツ振興センターに関すること。 児童生徒及び教職員の保健安全に関すること。 学校保健衛生の計画及び推進に関すること。 児童等災害対策基金に関すること。 学校給食の計画及び推進に関すること。 学校給食用備品の維持管理に関すること。
指導課	情報庶務係	情報教育の推進に関すること。 学校ICT環境の整備に関すること。 教育情報セキュリティ対策に関すること。 その他課の庶務に関すること。
	教育指導係	教職員研修及び各種教育研究会に関すること。 教科等の指導に関すること。 教育課程の編成及び管理に関すること。 教育研究奨励に関すること。 学校教育調査に関すること。 安全教育等に関すること。 国際理解教育の推進に関すること。 環境教育の推進に関すること。 進路指導に関すること。 教科用図書の採択に関すること。 教科用図書無償給与事務に関すること。 校外行事等に関すること。 学校における人権教育に関すること。 児童生徒の事故に関すること。
	生徒指導係	生徒指導に関すること。

教育支援室		特別支援教育に関すること。 教育相談に関すること。 その他室の庶務に関すること。
子ども教育連携推進室		幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校の連携の推進に関すること。 幼児期の教育に関すること。 家庭教育への支援に関すること。
学校施設課		学校施設の維持管理並びに維持管理に係る小規模工事及び修繕に関すること。 学校施設の設備の保全及び委託に関すること。 奥日光自然の家に関すること。 学校施設の整備計画に関すること。 学校施設の建設及び大規模改修等に関すること。 学校施設の安全に関すること。 学校施設の使用許可に関すること。 その他学校施設に関すること。
生涯学習課	生涯学習係	生涯学習の企画及び推進に関すること。 生涯学習に係る情報の収集及び提供並びに調査研究に関すること。 社会教育施設に関すること。 社会教育機関の相互調整及び社会教育関係団体の育成に関すること。 生涯学習における人権教育に関すること。 二十歳のつどいに関すること。 栄小学校施設の一般使用に関すること。 その他課の庶務に関すること。
		文化財の保護に関すること。 歴史民俗資料館に関すること。 市史の刊行に関すること。 歴史資料として重要な公文書等の調査、収集及び保存に関すること。 公文書館の整備推進に関すること。
	文化財保護係	
中央図書館	庶務係	図書館運営に関すること。 施設管理に関すること。 多目的ホールの一般使用に関すること。 その他図書館の庶務に関すること。
	奉仕・資料係	図書館資料の選定、整理及び保存に関すること。 郷土資料、寄贈等の資料の受入保管に関すること。 その他図書館資料に関すること。 図書館資料の利用に関すること。 レファレンス・サービスに関すること。 文化事業の企画及び運営に関すること。 その他図書館の奉仕に関すること。

Ⅱ 子 ども 教 育

「子ども教育」の連携

1 目指す「草加っ子」を育む幼保小中を一貫した教育を推進しています。

「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる」草加っ子を育むために、0歳から15歳までを、子どもたち一人ひとりが「生きる力」を育む連続した教育期間と捉え、幼稚園・保育園・認定こども園、小学校・中学校、家庭・地域が共に子どもたちの育ちを支える「子ども教育」の連携を推進しています。

幼保小中を一貫した教育の実践により、子どもの自己肯定感・自己有用感・他者理解を育み、変化の激しい社会を生き抜く力の根幹をつくりあげます。

各中学校区が定めた「目指す子ども像」を、園、学校、家庭・地域が共有し、その実現に向けて教育の充実を図っています。

2 日々の教育・保育を支援する資料の活用を促進することにより、幼保小中を一貫した教育を推進しています。

(1) 目指す「草加っ子」(幼保小中教育指針)

「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる」草加っ子を育むため、0歳から15歳までの発達段階ごとに、「生活」「人とかかわり」「自ら学ぶ」の各領域について、「具体的な取組事項」を定めた教育の指針です。

この指針により、どの園、どの学校であっても教職員が子どもの育ちや中学校卒業時の姿を共有し、その実現を目指した教育を進めます。

(2) 草加市幼保小中一貫教育プログラム

本市の幼児教育・義務教育における現状や課題を踏まえ、各発達段階等間において重要となる考え方と、幼保小中を一貫した教育を一層充実させていくための交流・連携の実践例等を示した資料です。

このプログラムにより、資質・能力の育成という観点からカリキュラムに一貫性を持たせるとともに、0歳から15歳までの子どもの育ちを見通すための交流や連携の充実を図ります。

(3) 草加っ子 にこにこ わくわくプラン

小学校入学までに身に付けたい力を育むために、「生活する力」「人とかかわる力」「自ら学ぶ力」に関連して、乳幼児期に経験させたい内容や実践事例を発達の時期ごとに示した幼稚園教諭・保育士向け指導資料です。中期の保育計画・指導計画を立てる際に活用するとともに、保育事例を日々の教育・保育に生かします。

(4) 草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラム

0歳から15歳までの子どもの育ちに見通しを持ち、系統性を踏まえた学習指導を行うために、各教科等の「学びのつながり」を明らかにし、達成すべき目標等をまとめた資料です。小中学校の教員が系統性を意識した授業を実践する際や、年間指導計画を作成する際等にも活用します。

(5) 学ぼう！ふるさと草加

草加の子どもたちが探究的な学習を通じて地域と関わり、人、もの、歴史や文化、まちづくりなど「ふるさと草加」について学ぶことで、地域のよさを知り、地域への愛着や誇りを持てるようにするとともに、よりよく課題を解決していく力を育成するための教員向け指導資料です。令和7年度末には、ふるさと草加学習の目的や学習テーマの扱い方を整理し、内容を更新しました。小中学校の教員が探究的な学習を進める際や、単元指導計画を作成する際に活用します。

3 講座・講演会や各種リーフレットを通して、家庭教育の充実を図ります。

(1) 「親の学習」講座の開催

- ① 小中学校入学前など、子どもの成長の節目において、保護者向け「親の学習」講座を開催します。親が親として育ち、就学・入学までに家庭で準備すべきことや子どもとの関わり方について支援します。
- ② 近い将来、大人になる中学生を対象として、中学生向け「親の学習」講座を全中学校で実施します。自分のよさや人と人とのつながり等について考えることを通して、大人になることに希望を持てるよう支援します。

(2) 子育て講演会の開催

主に0歳から15歳までのお子さんの保護者や子育てに関心のある方を対象として、「子育て講演会」を開催します。子どもと保護者との接し方や関わり方など、子育てに関して学ぶ機会を提供することで、保護者の不安軽減を図ります。子どもの発達段階を踏まえ、「乳幼児期の子育て」、「架け橋期（就学前後期）の子育て」、「思春期の子育て」をテーマに全3回開催します。

(3) 保護者向け子育てリーフレットの配布及び活用方法等の周知

子どもの発達段階に応じて、家庭で取り組んでほしいことをまとめた保護者向けリーフレットを配布し、見通しを持って子育てや就学・進学準備ができるよう支援します。

① 「笑顔で子育て」

保護者が安心して子育てができるよう、子どもの発達段階ごとに家庭で大切にしたいことをお知らせするリーフレットです。

② 「もうすぐ1年生」

小学校入学までに身に付けてほしいことをお知らせし、子どもたちが充実した小学校生活を送れるようにするリーフレットです。

③ 「エンジョイ！中学校生活」

中学校生活の様子を紹介し、子どもたちが充実した中学校生活を送れるようにするリーフレットです。

国 際 理 解 教 育

1 国際理解教育の目標

国際理解教育は、国際化の進展に対応し、国際社会の中で日本人としての自覚と主体性をもって生きていくための資質や能力の基礎を培うことを目標に行っています。

本市では、外国語・外国語活動の充実に向け、語学指導助手（A L T）を全小中学校に各1人、計32人配置しています。外国語・外国語活動の授業を中心に、国際理解教育、特別活動等でも児童生徒との交流活動を実施しています。

また、日本語指導を必要とする外国人児童生徒に対して、一定期間初歩的な日本語や日本文化を学ぶ機会を提供する通級指導を実施しています。

2 中学校における英語教育

英語の授業では、日本人英語教師とA L Tとのチームティーチング等を通し、第2・3学年ではA I 英語アプリを活用しながら、生徒が英語を使ってコミュニケーション活動などを行い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養っています。

また、草加市独自の副教材「センテンス・マラソン」を中学校全学年生徒に配布し、「書くこと」の能力の充実を図っています。

さらに、令和7年度より、第2学年生徒を対象に、G T E Cを実施し、令和8年度は、第3学年生徒も対象に実施します。外国語でコミュニケーションを図る資質、能力を育成するために、「聞く・話す・読む・書く」の4技能をスコア型で測定し、生徒自身が学習に生かすとともに、教員が授業改善に取り組み、外国語でのコミュニケーションを図る資質、能力の育成を図ります。

3 小学校における外国語・外国語活動

小学校の3年生・4年生では外国語活動の授業、5年生・6年生では外国語の授業が行われています。担任教師が中心となり、教科書や文部科学省作成の教材等を活用し、A L Tとのチームティーチングを行うなど、児童が外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことを通して、国際理解を深めることができるよう実施しています。

また、草加市独自の副教材「P a r i p o r i E n g l i s h B o o k (パリポリ・イングリッシュ・ブック)」を活用し、言語活動や文字指導に取り組むなど、積極的にコミュニケーションが取れる児童の育成に努めています。

さらに、市立小学校3・4年生児童を対象に、A L Tや獨協大学生が用意したレストラン等のブースを周り、英語でコミュニケーションを取る楽しさを体験するイングリッシュキャンプを実施しています。

4 日本語支援事業「S O K A いっぱい」・国際理解教育補助員の配置

草加市国際相談コーナーと連携し、日本語指導を必要とする外国人児童生徒等に対し

て、一定期間初歩的な日本語や日本文化を学ぶ機会を提供するために、日本語指導支援員を1人配置し、日本語指導を支援する「SOKAいっぽ」を開室しています。

また、日本語指導が必要な児童生徒の在籍校に国際理解教育補助員（8人）を配置し、該当児童生徒の実態に応じた日本語支援を行っています。

5 これまでの成果

取組により、外国語を通して外国の言語や文化を身近に感じ、興味・関心が高まっています。また、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育っています。

日本語指導においては、日本語を学ぶ機会を提供することで、日本語学習への意欲が高まり、日本における生活の基礎を身に付けることができます。また、対象児童生徒がスムーズに学校や学級に慣れることができます。

環 境 教 育

近年、社会環境の著しい変化とともに「環境教育」の重要性・実践性が強く求められています。教育委員会では、平成4年度から学校教育の場において廃棄物資源課と連携し、小中学校で給食の牛乳パックのリサイクルを開始しました。平成16年度からは、廃棄物資源課と連携して、小中学校でアルミ缶の回収活動を開始し、学校教育への還元化を目指した取組を行っています。

1 具体的な取組内容

- (1) 環境教育の全体計画と年間指導計画づくりの推進
- (2) 総合的な学習の時間等での積極的な取組
- (3) 地域や自然環境アドバイザーとの連携による学校環境改善のための助言
- (4) 牛乳パックやアルミ缶のリサイクルの取組
- (5) エコライフDAY（県）の積極的な参加
- (6) 小学校5年生・中学校2年生全員参加による自然教室を通した環境教育の推進

2 今後の方向性

- (1) 「持続可能な循環型社会づくり」を目指して、小中学校で環境教育の一層の推進を図っていきます。
- (2) 自然環境アドバイザー等の関係機関との連携を深め、地域ぐるみの活動として定着を図っていきます。

情 報 教 育

1 情報教育の目標

情報教育は、児童生徒の情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度の育成を図ります。

小中学校では、各教科等の授業においてＩＣＴを積極的に活用するとともに、プログラミング教育の充実も図りながら学習活動における情報教育を推進しています。

2 主な取組

(1) ＩＣＴ環境の整備

- ・ 1人1台タブレット端末を全児童生徒に配備
- ・ 全小中学校の普通教室・特別教室にインターネット環境を整備
- ・ 小中学校県費負担教職員全員に校務用コンピュータを配備
- ・ 全小中学校の普通教室すべてに65インチの大型提示装置を配備
- ・ 全小中学校にＩＣＴ支援員（非常勤）を配置

(2) 情報教育研修会

情報教育に関する教員の資質向上のために、情報教育研修会を実施して各校の事例を市内教職員で共有し授業改善につなげています。

また、ＩＣＴ支援員を活用しながら情報教育の校内研修などに取り組んでいます。

(3) 情報教育推進委員会

校務・教務の両面で学校のＤＸ化が進んでいます。情報教育推進委員会では、情報機器の新規導入に関する意見交換や有効活用の仕方などを研究推進しています。

一例として、校務用パソコンの更新では、教職員が使いやすい校務支援システムについて意見交換をしました。

また、ＧＩＧＡスクール構想による、1人1台タブレット端末を利用した授業実践事例を検証し、ＩＣＴを効果的に活用した学習活動の在り方やプログラミング教育についての研究を行い、更なる情報教育の推進を図っています。

(4) 授業でのＩＣＴ活用

教師用デジタル教科書（全教科）や協働学習アプリを含む学習eポータル等を1人1台タブレット端末に整備して、授業で活用し、児童生徒に思考力、判断力、表現力、情報活用能力を身に付けさせる授業を展開しています。また、1人1台タブレット端末で利用できるＡＩドリル購入費の一部を補助し、市内小中学校全校で活用しています。

3 これまでの成果

取組により、各校でのＩＣＴを活用した教育活動が充実してきています。それに伴い、児童生徒の学習意欲が向上し、予測困難な時代を生き抜くための情報活用能力が向上しています。

また、やむを得ず登校できない児童生徒に対してオンライン学習を実施し、ＩＣＴを活用した支援の充実を図っています。

生徒指導

1 生徒指導の目標

生徒指導は、学校の教育目標を達成するための重要な機能の一つであり、一人ひとりの児童生徒が学校生活に生きがいを感じ、規律正しく、豊かで充実した生活を送ることができるように指導、支援するものです。こうした目標に向けて、いじめ・不登校の問題の解消を始め、学校支援の充実を通して、心豊かな児童生徒の育成に努めています。

2 主な取組

目標を達成するために、次の取組を通して各小中学校での生徒指導を支援しています。

- (1) 様々な学校の問題に対して直接的に支援できる体制として、平成25年度から「草加市立小中学校問題解決支援チーム（TEAM 3S）」を発足し、年10回の会議を開催しています。
- (2) 指導課に生徒指導担当指導員、学級支援員を配置し、各小中学校への派遣を通して、教員が子どもと関わる時間を確保し、一人ひとりの子どもが落ち着いて学習に取り組むことができるよう、学校支援体制の充実に努めています。
- (3) 豊かな人間性の育成を目指して、道德教育の充実を図るため、埼玉県道德教育教材資料集「彩の国の道德」の活用や授業の工夫・改善について、学校訪問での指導助言や道德教育推進教師研修会等を実施しています。また、豊かな体験活動として、自然教室や中学生が地域の事業所等で社会体験をする中学校社会体験事業及び読書活動などを行っています。
- (4) 「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」に基づいて、造血幹細胞の適切な提供の推進を教育的観点から捉え、「いのちの絆をつなぐ教育」として学校教育の中で推進していくことを目的に、豊かな心推進事業を平成27年度から行っています。

小学校では5年生、中学校では2年生を対象に、「造血幹細胞移植」に係る授業を実施します。

- (5) 「いのちの教育ランドデザイン」に基づき、「いのちの大切さ」を実感することができる学習を通して、子どもが自他のいのちはかけがえのないこと、生を受けたことへの感謝、生きることの尊さを理解する「いのちの大切さ」を実感させる教育を推進します。
- (6) 指導課に設置しているフリーダイヤル等による電話相談、教育支援室における来室相談を行っています。
- (7) 草加市小中高合同生徒指導委員会において、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、児童相談所等との相互の連携協力関係を充実させるために、事例研修会や講演会を実施しています。
- (8) 学校警察連絡協議会において草加警察署及び小中学校、高等学校、特別支援学校との連携を図っています。

- (9) 学校・家庭・地域がいじめに対しての関心を高め、防止していこうとする態度や意識をもつことを目的に、平成25年度より市内全小中学校の児童生徒、教職員、保護者、PTA役員等を対象とした「いじめ撲滅サミット」を開催しています。
- (10) 平成30年3月に「草加市学校におけるいじめの防止等のための基本的な方針」を改定するとともに、各校で「学校いじめ防止基本方針」を定めました。
- (11) 平成30年度から、中学校第1学年を対象に、匿名でいじめ等を報告・相談できるアプリ「STOP i t (ストップイット)」を導入し、いじめ問題に対する「脱・傍観者」意識を育成するための授業を実施しています。

令和元年度からは、中学校全学年に導入し、更にいじめ問題の情報収集が拡大され、早期解決につながると考えています。

また、令和4年度からは名称が「STANDBY (スタンドバイ)」に変更されました。いじめ問題だけではなく、悩み相談など、幅広く受け付けられるよう、改めて周知しました。

教 育 相 談

1 目標

教育相談は、専門的な立場から幼児、児童、生徒、保護者や学校に対して相談に応じ、一人ひとりの子どもたちのより望ましい成長と自己実現への支援を行うものです。学校への支援を積極的に行っています。

2 施策・事業の概要

(1) 教育相談等の内容

①一般教育相談 ②巡回教育相談 ③学級支援 ④学校教育相談活動への支援
⑤各種研修会の実施 ⑥「教育支援室リーフレット」等の発行 ⑦ 学校適応指導教室「ふれあい教室」の開設 ⑧草加市児童生徒支援オンラインルーム「ステップルーム」の開設

(2) 教育支援室対応状況の概要

① 年度別相談項目と相談者実人数及び延べ人数 (単位：人)

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
ことばの相談	42	244	114	343	61	336
知的発達相談	197	1,016	146	922	221	958
情緒障がい	327	1,857	194	1,242	319	1234
集団不適応	160	203	27	75	32	106
いじめ相談	14	52	20	88	15	53
性格行動	12	24	7	23	5	16
あそび・非行	9	22	3	5	8	90
しつけ	0	1	23	130	35	224
進路	6	16	3	21	7	37
生活行動	70	391	50	454	50	348
学習面	426	3,112	89	3,435	379	3594
不登校	594	3,490	495	4,524	544	3926
就学相談	365	912	334	773	317	735
その他	174	1,200	269	1,585	248	1475
合計	2,396	12,540	1,774	13,620	2241	13132

② ふれあい教室活用人数 (単位：人)

令和5年度	令和6年度	令和7年度
21	33	21

3 令和8年度の取組

- (1) 市内小中学校及び保護者等と連携を図りながら、様々な相談・支援を行うことで、児童生徒一人ひとりの課題解決を目指しています。
- (2) いじめ、不登校問題に関しては、学校配置のスクールカウンセラー、さわやか相談員、教育支援室の臨床心理士、スクールソーシャルワーカー等により、本人や保護者に寄り添った丁寧な相談活動の充実を図っています。スクールソーシャルワーカーは市内全

11 中学校区に1名ずつ派遣され、学校や関係機関と連携し、様々な課題についてのサポートを行っています。

- (3) 「そうか1・3・7サポート」をもとに、各校では不登校児童生徒の早期発見・早期対応を進めており、欠席1日目は電話連絡、3日間続いたら家庭訪問、欠席が月に7日となった場合はスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを一員とした校内支援チームを編成する等、組織的に不登校対策の取組を進めています。
- (4) 草加市児童生徒支援オンラインルーム「ステップルーム」を開設し、主体的な社会的自立や学校復帰に向けて、GIGAスクール端末を活用したオンライン支援を行っています。
- (5) 学校適応指導教室「ふれあい教室」では、教育支援室と保護者、学校が連携して個に応じた対応に努め、支援を進めています。
- (6) 市内小学校に校内教育支援センターを設置し、落ち着いた空間の中で自分に合ったペースで学習・生活できる環境を整えることで、不登校を未然に防止するとともに、不登校児童の登校復帰を支援します。
- (7) 埼玉県の「メタバース空間を活用した不登校児童生徒支援事業」に参画し、学校に行きにくいと感じている、または長期欠席をしていてオンラインでの学習を希望する児童生徒を対象にメタバース空間内で学習や相談等の支援を行います。

特 別 支 援 教 育

1 目 標

特別支援教育は、障がいのある幼児、児童生徒の自立や社会参加に向けて、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その可能性や能力を最大限に高め、生活や学習上の課題を改善・克服するために適切な教育的支援を行うことを目標としています。

通常の学級に在籍する発達障害を含む教育上特別な支援が必要と思われる児童生徒及び障がいのある児童生徒への支援を進めるために、各小中学校では校内委員会を設置し、特別支援教育コーディネーターを校務分掌に位置付ける等、校内の特別支援教育体制の充実を図っています。

2 施策・事業の概要

(1) 設置状況

【令和8年度特別支援学級設置状況】

令和8年5月1日現在

学校名	生徒数	学級数	学校名	児童数	学級数	学校名	児童数	学級数
草加中	17	3	草加小	28	5	新栄小	10	2
栄中	18	4	高砂小	18	4	清門小	19	3
谷塚中	19	4	新田小	15	3	稲荷小	10	2
川柳中	13	2	谷塚小	19	3	氷川小	35	5
新栄中	12	2	栄小	38	6	八幡北小	22	4
瀬崎中	18	3	川柳小	31	5	長栄小	27	4
花栗中	14	3	瀬崎小	18	3	青柳小	10	2
両新田中	14	2	西町小	27	4	小山小	13	3
新田中	14	3	新里小	27	5	両新田小	20	4
青柳中	18	3	花栗南小	23	4	松原小	20	3
松江中	13	2	八幡小	21	4	合計 32校 109学級 621人		

知的障害特別支援学級については、高砂小学校、花栗南小学校、八幡北小学校の3小学校及び栄中学校で1学級増設し、清門小学校、松原小学校の2小学校及び新栄中学校で1学級減級となりました。

自閉症・情緒障害特別支援学級については、草加小学校、栄小学校、新里小学校、両新田小学校の4小学校及び栄中学校、谷塚中学校、花栗中学校、新田中学校、青柳中学校の5中学校で1学級増設し、青柳小学校及び両新田中学校で1学級減級となりました。

市内の特別支援学級は、全小学校に合計78学級、全中学校に合計31学級を設置し、451人の小学生と170人の中学生、合計621人の児童生徒が在籍しています。

【令和8年度通級指導教室設置状況】

令和8年5月1日現在

学校名	児童数	教室数	学校名	児童数	教室数	学校名	児童数	教室数
栄小 (発達・情緒)	29	3	氷川小 (発達・情緒)	33	2	八幡小 (発達・情緒)	10	1
松原小 (難聴・言語)	29	2	氷川小 (難聴・言語)	15	1	八幡北小 (難聴・言語)	11	1
栄中 (発達・情緒)	13	1	合計 6校11教室140人					

通級指導教室については、難聴・言語障害3校4教室、発達障害・情緒障害4校7教室を設置し、合計140人の児童生徒が通級による指導を活用しています。これらの学級・教室の設置により、地域で指導ができる体制づくりを構築するとともに、一人ひとりの障がいの状態や教育的ニーズにより一層応じられるようになっていきます。

(2) 草加市の就学に係る教育的支援

草加市では次の事業を通して、関係機関と連携を図り、就学に必要な情報を的確に保護者に提供しながら、当該児童生徒の状況に応じた教育形態の場について一緒に考えていきます。

- 特別支援教育指導員や臨床心理士等による計画的な学校訪問を実施することを始めとして、児童生徒、保護者及び学校のニーズに応じたより専門的な支援を推進していきます。
- 各学校における就学相談委員会などでの相談を始め、早期からの多角的な相談をもとに就学に係る教育的支援を推進しています。
- 就学に係る教育的支援を行うために、専門機関の方々、専門医、臨床心理士、特別支援教育に携わる教職員で組織する草加市障害児就学支援委員会を設置しています。
- 巡回相談員を置き、就学に係る教育的支援が必要と判断された児童生徒の在籍する学校及び小中学校長から要請のあった学校を、保護者の意向を踏まえ巡回し、対象児童生徒の実態把握並びに指導内容及び方法に関する助言を行っています。
- 通級指導教室に言語聴覚士及び臨床心理士を指導員として派遣し、担当教員への研修体制を整えています。
- 医療的ケアを必要とする児童生徒の在籍する学校に看護師資格を有する者を配置し、医療的ケアを実施する支援体制を整えています。
- 階段の昇降に支援が必要な児童生徒の在籍する学校に、階段昇降機や階段昇降車を設置しています。

3 令和8年度の実施

- (1) 就学予定児や児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じ、適切な教育的支援を図っています。
- (2) 特別支援学級等に29人の特別支援教育支援員及び2人の特別支援教育介助員を配置し、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応えるための教育活動への支援を図っています。

ています。

- (3) 就学に係る教育的支援に関する関係組織や諸機関との連携により、幼児期からの早期就学相談・就学に係る教育的支援を推進しています。
- (4) 巡回相談員による市内小中学校への巡回相談を行い、障がいがあると思われる児童生徒の理解や支援・指導方法についての助言に努めています。
- (5) 通級指導教室に指導員を派遣し担当教員の資質の向上を図ることにより、児童生徒の課題の克服や改善に向けた支援を図っています。
- (6) 市内在住の県立特別支援学校の児童生徒が市内小中学校において必要な学習活動を行うことができる「支援籍学習」に取り組み、インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進を図っています。
- (7) 特別支援教育指導員を配置し、特別支援学級への巡回支援を行い、担当教員の指導力の向上と特別支援教育の充実を図っています。
- (8) 特別支援教育研修会を行い、教員の資質・指導力の向上を図り、より一層、本市における特別支援教育の推進と充実を図っています。
- (9) 特別支援教室児童担当指導員を3人配置し、通常の学級の中で現在不応を起こしている、または今後不応を起こす可能性のある児童に対して、特別支援学級の弾力的運用等、個別の指導・支援を行うことや、個別の教育支援計画作成に対する助言を行っています。

自 然 教 室

1 趣旨と目標

自然教室は、自然に恵まれた「奥日光自然の家」などを利用して、児童生徒一人ひとりが自然の恵みや美しさなどに触れるとともに、人間的な触れ合いの中で、より良い人間関係を深めることにより、豊かな心を育成することを目標とした取組です。豊かな心の育成が大きな教育課題の一つになっている今、ますます自然教室での自然との触れ合いや仲間との交流活動などの学習が大切になっています。

平成26年度には、試行として草加市と姉妹都市である福島県大沼郡昭和村でも自然教室を実施しました。平成27年度以降、昭和村自然教室として一部小学校で実施しています。

令和8年度は、昭和村自然教室・国立青少年教育振興機構の施設を利用した自然教室を実施します。いずれの施設も自然豊かな環境にあり、充実した自然体験活動を行うことができます。

2 実施計画の概要

小学校5年生全児童、中学校2年生全生徒対象

3 自然教室の経緯

- 昭和60年 蓼科林間学校が廃止される。
- 昭和61年 奥日光自然の家を日光中禅寺湖畔に開設する。
(4大学が利用していた施設を市が譲り受ける。)
奥日光自然の家において自然教室を実施する。(小学校3泊4日、中学校4泊5日)
- 平成7年 小学校・中学校とも3泊4日とする。
- 平成17年 草加市立小中学校自然教室20周年記念式典を行う。
- 平成26年 昭和村での2泊3日の自然教室を小学校2校で試行する。
- 平成27年 昭和村での2泊3日の自然教室を小学校4校で実施する。
- 平成28年 草加市立小中学校自然教室30周年記念式典を行う。
- 令和2年度 新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる。
- 令和3年度 国立青少年教育振興機構の施設を利用した自然教室・昭和村自然教室は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる。
奥日光自然教室は宿泊を伴わない活動として実施する。
- 令和4年度 国立青少年教育振興機構の施設(那須甲子、赤城、磐梯、妙高)での2泊3日の自然教室を小学校11校、中学校11校で実施する。
昭和村での2泊3日の自然教室を小学校2校で実施する。
奥日光自然の家での2泊3日の自然教室を小学校8校で実施する。
- 令和5年度 国立青少年教育振興機構の施設(那須甲子、赤城、磐梯、妙高)での2泊3日の自然教室を小学校12校、中学校11校で実施する。
昭和村での2泊3日の自然教室を小学校3校で実施する。
奥日光自然の家での2泊3日の自然教室を小学校6校で実施する。

- 令和 6 年度 国立青少年教育振興機構の施設（那須甲子、赤城、磐梯）での 2 泊 3 日の自然教室を小学校 13 校、中学校 11 校で実施する。
昭和村での 2 泊 3 日の自然教室を小学校 3 校で実施する。
奥日光自然の家での 2 泊 3 日の自然教室を小学校 5 校で実施する。
- 令和 7 年度 国立青少年教育振興機構の施設（那須甲子、赤城、磐梯）での 2 泊 3 日の自然教室を小学校 15 校、中学校 11 校で実施する。
昭和村での 2 泊 3 日の自然教室を小学校 3 校で実施する。
奥日光自然の家での 2 泊 3 日の自然教室を小学校 3 校で実施する。
- 令和 8 年度 国立青少年教育振興機構の施設（那須甲子、赤城、磐梯）での 2 泊 3 日の自然教室を小学校 18 校、中学校 11 校で実施する。
昭和村での 2 泊 3 日の自然教室を小学校 3 校で実施する。

学 校 図 書 館 教 育

1 学校図書館の機能

学校図書館は、児童生徒の読書活動等の場である読書センターとしての機能、主体的な学習活動を支援するなどの学習センターとしての機能、情報の収集・選択・活動能力を育成する情報センターとしての機能を有しています。

- (1) 司書教諭を中心に、全教職員の共通理解に基づく協力体制を確立し、計画的な学校図書館の利用や読書活動の推進を図っています。また、公立図書館との連携も行っています。
- (2) 学習・情報センター及び読書センターとしての機能が発揮できるよう、図書や視聴覚資料等の整備・充実に努め、データベース化も行っています。
- (3) 市教育委員会では、学校司書を採用して、全小中学校に配置し、学校図書館教育への支援を行っています。

2 読書活動

読書は、児童生徒の人間形成に欠かせない活動であり、生涯にわたる自己啓発の基盤となるものです。また、小中学校では、学校図書館を活用して計画的な読書活動を推進し、発達段階に応じながら朝の一斉読書や読み聞かせ活動等により、児童生徒が読書に親しむ態度の育成を図っています。

「第二次草加市子ども読書活動推進計画」の理念の実現に向けて、児童生徒の読書環境の充実に努めています。

3 これまでの成果

各校の取組により、読書活動の充実が図られています。

学 校 給 食

本市の学校給食は、草加小学校において、昭和23年に週3回のミルク給食から開始されました。なお、完全給食は、小学校では昭和41年から、中学校では昭和45年から実施され、長栄小学校及び新田中学校が併設校として一つの調理場であるほかは、各校単独調理場方式（自校方式）で実施されています。

単独調理場の長をいかして、学校行事や児童生徒の食物アレルギー等を考慮したきめ細かな献立により、心のこもった給食づくりを実施し、児童生徒の健やかな心と体の育成を目指しています。

なお、平成18年度から、中学校の学校給食調理業務を段階的に民間の専門会社に委託し、平成20年度からは新田中学校を除く中学校10校で民間委託方式を導入しました。さらに、令和7年度からは長栄小学校（新田中学校との親子方式）でも調理業務の委託化を行いました。以前と変わらない、手づくりのおいしい給食を提供しています。

また、物価高騰に対応して、小中学校ともに令和8年4月からの学校給食費を改定しました。なお、小学校については、市の学校給食食材費補助金及び新たに創設された国・県の給食費負担軽減交付金により令和8年度の保護者負担額はなしとなりました。中学校については、令和8年度も引き続き市の学校給食食材費補助金を交付することで、保護者負担額を据え置きました。

【令和8年度学校給食費】

区 分	保護者負担額	国・県交付金	市補助金	食材費合計
小学校	0 円	57,200 円	1,100 円	58,300 円
中学校	56,100 円	0 円	15,400 円	71,500 円

1 給食は「心の教育」

学校給食に関する指導は、望ましい食習慣の形成及び人間関係の育成をねらいとして、学習指導要領における特別活動の中の学級活動に位置付けられ実施されています。本市においては、異学年と一緒に食べるたて割り給食、誕生会の会食給食、ランチルームでの給食や屋外での給食、卒業バイキング給食や複式献立によるセレクト給食、学校行事に合わせた献立等多様な給食を盛り込んできました。

さらに、強化磁器食器を使用し、児童生徒に食事のマナーや物を大切に扱う意識を醸成しています。また、各校に設置された調理場で働く調理士との交流を通じ、感謝の心を育て、仲間で食器を運び、配膳すること等で、協力し合う気持ちの形成を図っています。

2 計画的な栄養管理

現代の児童生徒の食生活の実態は、飽食の時代にあって、必ずしも良好とはいえません。カルシウムの摂取が不足がちになる一方で、動物性たんぱく質や動物性脂肪の摂取が多くなる傾向が見られるため、栄養素や食材に偏りのない正しい食生活が重要です。

そこで、本市の学校給食は、次の点に留意し、実施しています。

○不足しがちなカルシウム・鉄・ビタミン類の摂取に心掛ける。

○緑黄色野菜・大豆製品・海藻類・種実類・芋類の摂取に心掛ける。

○旬のものを取り入れ、季節感のある献立とする。

○ unnecessary 食品添加物などが使用されていると思われる食品は使用しない。

以上のことや「学校給食摂取基準」「標準食品構成表」に基づき、肉類・油脂が過剰にならないよう配慮し、魚を多く取り入れ、不足しがちな食品の摂取に留意し、おいしく、栄養のバランスのとれた献立内容とするための工夫改善をしています。

また、成長期にある児童生徒に自らの健康の維持増進を図るために必要な条件を認識させ、判断できる能力を養うため、給食指導計画と栄養指導資料を作成しています。

さらに、栄養面の知識を身に付けさせるとともに、心と体の健全な発達を指向する態度の育成を目指しています。

3 衛生管理の徹底

学校給食による食中毒・感染症の発生等の事故を未然に防止するために、施設・設備の点検、食材の検収、調理器具の点検整備を十分に行い、提供食の保存・検査も行っています。また、学校給食に携わる者の衛生については、細菌検査による健康管理や衛生知識を高めるための研修会等を実施し、管理の徹底を図っています。

4 食材の安全と安心

学校給食において、食の安全と安心は欠かせません。食材について、産地や添加物、アレルギーなどの確認を行い、安全なものを使用することで学校給食の安全と安心の確保に努めています。

5 強化磁器食器の使用

本市では、平成3年4月から小学校全学年に、平成4年2月から中学校全学年に強化磁器食器を導入しました。温もりのある材質の食器を使うことで、給食時間の楽しい雰囲気づくりや食事マナーの指導に役立てているほか、物を大切に扱う心の育成に努めています。

6 地場産食材の使用・郷土食等の導入

市内で生産された枝豆、小松菜などの野菜を中心に、採れたての地場産食材を積極的に使用する取組や、献立に草加名物であるせんべいや各地の郷土料理や特産品を取り入れた「ふるさと給食」、ユネスコ無形文化遺産に登録された和食を見直す「一汁二菜の日」など、生活と食との結び付きに着目した取組を行っています。

特に地場産食材については、生産者との交流を通じて食材の生育の過程を学び、身近に存在する食品への関心を高める工夫をしています。

学 校 保 健

社会環境、生活習慣の変化による生活習慣病の増加やアレルギー疾患への対応、メンタルヘルスの問題など早急に取り組まなければならない問題が山積し、児童生徒の心身の健康の保持増進を図るために必要な知識と態度の習得を目的とする健康教育の重要性が増しています。

「自分の健康は自分でつくる」という健康意識の浸透や、疾病そのものを予防する「一次予防」への取組など、自己管理教育の推進や児童生徒の立場に立った心身の問題解決への支援がますます必要とされてきており、これからも学校、家庭及び地域の三者が一体となった連携が重要です。

人生の基礎となる学校生活が、児童生徒にとって健康で活力に満ちたものになるよう、健康教育及び安全管理の充実を図ります。

1 学校保健・安全の充実

- (1) 就学時健康診断を始めとし、児童生徒及び教職員の様々な検診を実施し、事前・事後指導を通じて健康管理の推進と学校保健の充実を図ります。
- (2) 小学校4年生の希望者を対象に、日々の生活習慣が深く関わる小児生活習慣病予防健診を実施し、学童期から「自分の健康は自分でつくる」という自己健康管理の視点を養います。
- (3) 小学校1・4年生及び中学校1年生を対象に心臓検診を実施し、児童生徒の健康保持及び心疾患の早期発見に努めます。
- (4) 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師等の医療関係者や関係機関との連携を強化し、児童生徒のアレルギー疾患において、「学校生活管理指導表」を活用し、適切な管理を図るほか、熱中症対策、むし歯や歯周病の予防、新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症予防対策をより一層推進し、健康管理及び学校環境衛生の充実に努めます。
- (5) 登下校を含め、児童生徒の行動実態に応じた安全対策や指導を行い、学校管理下で発生する事故の防止に努めます。
- (6) 全小中学校にAED（自動体外式除細動器）を配備し、「いざ」という時、いつでも・どこでも・だれでもAEDを使用できるよう、草加八潮消防組合と連携し、救命講習会を実施しています。
- (7) 健康診断は、原則着衣として、児童生徒のプライバシーや心情への配慮に努めます。

2 保健室備品の整備充実

身長計、体重計、高圧蒸気滅菌器などの保健室備品の整備充実を図ります。

3 草加市学校保健会

学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校長、保健主事、養護教諭、学校栄養士及びPTA関係者で構成されている草加市学校保健会の活動（理事会、講演会及び会報の発行など）を通して、健康教育及び安全教育の計画的な実施と指導の充実を図ります。

教 職 員 の 研 究 ・ 研 修

「生きる力」を身に付け、「自ら学び、心豊かに、たくましく生きる」草加っ子の実現を目指し、「指導の基」や「草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラム」等の効果的な活用を通して、各校の課題研究に対する支援や、教職員の資質向上・指導力向上に資する研修会を実施しています。

1 学校訪問

- (1) 要請訪問：学校や教職員によって運営される草加市教育研究会の要請に応じ、指導主事が各校を訪問し、指導助言を行っています。
- (2) 学校訪問：市教育委員会の計画に基づき、埼玉県教育局南部教育事務所等の協力を得て、毎年度1回市内小中学校全32校を訪問し、指導助言を行っています。

2 教職員研修

- (1) 県教育委員会主催：初任者研修、ステップ・アップ研修、ジャンプ・アップ研修、5年経験者研修、中堅教諭等資質向上研修、20年経験者研修、臨時的任用教員・任期付教員研修、特定研修、人権教育研修等を実施しています。
- (2) 市教育委員会主催：新採用教員研修、3年次教員研修、5年経験者研修、キャリア・アップ研修、臨時的任用教員・任期付教員研修、各教科及び領域等の授業研究会や実技研修会、生徒指導、人権教育、教育相談、特別支援教育、情報教育等の研修会を実施しています。

3 草加市教育委員会研究委嘱校・委嘱団体

- (1) 草加っ子「生きる力プラン」
【研究委嘱校 令和7～8年度】
令和8年11月10日（火）
新栄中学校区（新栄小学校・清門小学校・新栄中学校）
令和8年11月20日（金）
新田中学校区（新田小学校・長栄小学校・新田中学校）
令和9年1月20日（水）
松江中学校区（稲荷小学校・松江中学校）
【研究委嘱校 令和8～9年度】 文書発表
川柳中学校区（八幡小学校・青柳小学校・川柳中学校）
花栗中学校区（花栗南小学校・小山小学校・花栗中学校）
- (2) 草加っ子「学びの充実プラン」
【研究委嘱校 令和8～9年度】
栄小学校「特別の教科 道徳」

4 これまでの成果

研究委嘱校が、それぞれ学習指導要領の理念や内容についての研究を深め、それらを発表することで、取組が市内の各校に広く周知されました。そのことにより、教職員の指導力の向上が図られ、児童生徒の生きる力の育成につながっています。

入学準備金・奨学資金の貸付制度

1 目的

高等学校等に入学を希望する方の保護者で入学準備金の調達が困難な方に対し、入学準備金を貸し付けることにより市民に等しく教育を受ける機会を与えるとともに、経済的な理由から修学が困難な方に対し、奨学資金を貸し付けることにより有能な人材の育成を図ります。

2 内容

区 分		入学準備金貸付限度額	奨学資金貸付金額（月額）
高 等 学 校 高 等 専 門 学 校 専 修 学 校	国立・公立	100,000円	10,000円
	私 立	300,000円	20,000円
短 期 大 学 大 学	国立・公立	200,000円	15,000円
	私 立	500,000円	30,000円

3 令和8年度の実施

次の日程で入学準備金及び奨学資金の貸付について申請を受け付けます。

第1回 令和8年6月2日から6月30日まで【奨学資金（在学者対象）のみ】

第2回 令和8年9月1日から9月30日まで

第3回 令和8年11月16日から12月15日まで

第4回 令和9年2月1日から3月2日まで

外国人学校児童生徒保護者補助金制度

1 目的

外国人学校（学校教育法に定める義務教育相当年齢の児童生徒を教育する学校）に通学する児童生徒の保護者で、草加市において、住民基本台帳に記載されている方を対象に、通学に要する経費の補助を実施しています。

2 内容

対 象	補 助 金 額
学齢児童の保護者（1人につき）	30,000円以内
学齢生徒の保護者（1人につき）	50,000円以内

3 令和8年度の実施

補助対象者に対し、申請に基づき補助金の交付を行います。

計画的な学校教育施設の整備

1 目標

「草加市公共施設等総合管理計画」「草加市学校施設等長寿命化計画」等に基づき、計画的に学校教育施設の改修や長寿命化を進め、安全で安心して学習できる教育環境を整備していきます。

2 施策・事業の概要

小中学校の施設・設備を計画的に工事・修繕することにより安全な教育環境の維持・整備を図ります。

老朽化の進んだ栄中学校の改築等について関係各課と連携し、計画的に進めます。

3 令和8年度の実施

高砂小学校特別教室等空調設備改修工事、西町小学校照明器具改修工事、松原小学校多目的教室等改修工事、瀬崎中学校屋内運動場外壁・屋根改修工事を行います。そのほか、緊急性や状況に応じて修繕等の対応も行います。

栄中学校改築等事業を進めます。

教育施設の紹介

○奥日光自然の家

中禅寺湖畔千手ヶ浜にほど近い国立公園にある草加市立奥日光自然の家は、周辺に野鳥や鹿などの野生動物が生息する自然の宝庫です。この豊かな自然環境の中で、児童の心身ともに調和のとれた健全な育成を図るとともに、市民の健康増進を目的として同施設は昭和61年に開設されました。

令和8年度は、6月上旬から11月上旬まで一般の方に施設を利用していただいています。

- ・所在地：栃木県日光市中宮祠官有無番地
- ・施設概要：宿泊棟4棟（本館、南館、東館、西館）、厨房棟、体育室、クラブ室
西館 和室（定員4人）5部屋 洋室（定員6人）5部屋
- ・宿泊料金（市内料金）：大人1人1泊1,540円 4歳～中学生770円
- ・食事料金：夕食 A 2,750円 B 1,540円 C 1,100円
朝食 1,100円 昼食 220円（おにぎり1個）

草加市立奥日光自然の家配置

一般利用客宿泊場所（西館）



クリンソウ（6月開花）



食事提供場所（食堂）



市立小学校の紹介

(児童数・学級数は、令和8年5月1日現在)

学校紹介の内容

- <教育目標>
- <研究主題>
- <重点教科等>
- <特色ある学校づくりへの取組>

- (1) キャッチフレーズ
- (2) 取組内容
- (3) 成果

など

草加小学校

創立年月日 明治5年5月15日
学級数 26学級 校長 谷口 慎一
児童数 653人 教頭 鈴木 孝夫



- <教育目標>
考える子 思いやりのある子 たくましい子
- <研究主題>
個を生かす単元デザイン
～児童が学び、楽しみ、表現する学び～
- <重点教科等>
全教科
- <特色ある学校づくりへの取組>
 - (1) キャッチフレーズ
未来へはばたけやきつ子
～子供が主体となって夢を育む草加小学校～
 - (2) 取組内容
 - ①教科等の指導
 - ・任せる指導、見守る指導の資質向上
 - ・選択のある学習活動
 - ・個別最適な学びと協働的な学びを重視した単元デザイン
 - ・振り返りを中核とした自己調整学習の定着
 - ・相互授業参観の活性化（「学びウィーク」年3回）
 - ②生徒指導・教育相談
 - ・「あいさつは一生の宝物」（教職員の率先垂範）
 - ・発達支持的生徒指導の推進
 - ・発達段階に応じた規範意識の育成
 - ・いじめの積極的認知、早期・適切対応
 - ・不登校の未然防止の徹底、教育相談体制の確立
 - ③学校行事・教育活動全般
 - ・豊かな心を育む体験活動の充実
 - ・「我がふるさと草加小」を実感させる取組
 - (3) 成果
 - いきいきと主体的に学び、友達と協力しながら楽しんで授業や活動に取り組む児童の姿が多く見られた。

高砂小学校

創立年月日 昭和29年4月1日
学級数 27学級 校長 河野 健
児童数 685人 教頭 草野 浩典



- <教育目標>
あかるく かしく たくましく
- <研究主題>
誰もが「分かる」「できる」「楽しい」を実感できる体育授業の創造
～対話的な学びを通して、運動の楽しさを共有する体育学習の工夫～
- <重点教科等>
体育科
- <特色ある学校づくりへの取組>
 - (1) 目指す学校像：情熱と愛情あふれる学校
キャッチフレーズ：笑顔・やさしさ・パワーあふれる学校
 - (2) 取組内容
 - ①指導力向上
 - ・体育科を中心とした校内研修の充実
 - ・教員同士による授業の見合い（授業参観DAYの実施）
 - ②交流活動の推進
 - ・定期的な交流（近隣保育園等、瀬崎中学校）
 - ・交流給食 親子学校見学会等
 - ③健康・体力の維持・増進
 - ・年3回のすくすく委員会（学校保健・安全委員会）の実施
 - ・さわやかタイムの実施（なわとび・朝マラソン）
 - ④歌声の響く学校
 - ・校内音楽会の開催
 - ⑤読書活動の推進
 - ・図書ボランティアによる読み聞かせ、本の貸出し、環境整備
 - ・年間読書冊数多読者への表彰
 - ・学校図書館内の表示・掲示物の充実
 - (3) 成果
 - 校内研修を充実させることで、教員の指導力向上につなげることができた。
 - 子どもたちが多くの本にふれることができた。

新田小学校

創立年月日 明治6年4月26日
学級数 17学級 校長 赤坂 佳美
生徒数 396人 教頭 小野 敦史



- <教育目標> よく学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子
- <研究主題>
自ら学び 心豊かに たくましく生きる新田中15歳の姿
～ 育成する三つの心「探究心」「共生心」「自律心」～
- <重点教科等>
生活科、総合的な学習の時間、生活単元等
- <特色ある学校づくりへの取組>
 - (1) キャッチフレーズ
生き生き 元気 とともに伸び育つ 新田っ子
 - (2) 取組内容
 - ①社会に開かれた教育課程の実施（自尊感情の享受）
 - ・架け橋プログラムの編成と実施
 - ・合理的、関連的な指導
 - ・育ちにに応じた日常生活の指導や生活単元の実施
 - ・教科横断的な指導の実施
 - ②主体的・対話的で深い学びになる授業実践（他者理解）
 - ・児童の思いや願い等から出発する授業
 - ・思いや願の実現（解決）に向けた自己決定の場のある授業
 - ・共感的な人間関係を醸成する場の提供
 - ・個別最適な学びと協働的な学びのある授業
 - ③安全・安心な風土の醸成（多様性の尊重）
 - ・いじめ撲滅サミットへの主体的な参加
 - ・あいさつ運動等、児童の自治活動の推進
 - ・異学年交流、異校種等の幼児・生徒との交流、地域との交流
 - ・共同及び交流学習、支援学習の計画的な実施
 - (3) 成果
 - 児童は、一つひとつの活動の流れに見通しをもつことができ、安心して参加できるようになっている。
 - 自分の気持ちを言葉で伝えられる児童が増えてきた。
 - 自分から進んで友達と協力しようとする児童が増えてきている。
 - 自分のよさや得意なことを生かし、身近な人を喜ばせたいという目的をもって活動する児童が増えてきた。

谷塚小学校

創立年月日 明治6年1月25日
 学級数 22学級 校長 寺本 博美
 生徒数 604人 教頭 早野 裕之



栄小学校

創立年月日 昭和38年4月1日
 学級数 25学級 校長 小川 睦子
 児童数 605人 教頭 佐々木和寿



- ＜教育目標＞ やさしく つよく かしこく
 ＜研究主題＞ 共に学び合い 認め合い 高め合う 子どもの育成
 ～「わかる・できる」学びの創造～
 ＜重点教科等＞ 算数科
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) キャッチフレーズ ふるさと ふれあい 谷塚小
 (2) 取組内容
 ①安全・安心で美しく潤いのある教育環境の整備
 ②個に応じた教育の推進と確かな学力の育成
 ③体育的活動の充実と体力の向上
 ④地域に誇れる学校づくり
 ・生きる力を共に教える学校・家庭・地域の絆
 ・複合施設としての利点を活かした教育活動の推進
 ・家庭・地域・関係機関との行動連携
 ・「8がつく日は谷塚の日」のあいさつ運動
 ⑤心潤う生徒指導による豊かな心の育成
 ・一人ひとりが「かけがえのない存在」
 ・他者の心や体を傷つけることは許されない
 ⑥「あいさつ」自分から時と場に応じたあいさつをして、
 心と心を繋ぎ、温かい人間関係を構築する。
 ⑦「どくしょ」言葉の学び、感性を磨き表現力を高め、
 想像力を育成する。
 ⑧「そうじ」環境美化を通して、働くことの意義や尊さを
 体験させ、奉仕の精神と責任感を育成する。
 (3) 成果
 ○自発的な挨拶や適切な言葉遣いのできる児童の増加
 ○積極的な家庭・地域等との関わりによる連携の深化
 ○ICTを効果的に活用するなど授業力が向上

- ＜教育目標＞よく考える子 思いやりのある子 ねばり強い子 体をきたえる子
 ＜研究主題＞よりよい人間関係の育成～道徳的実践意欲を高める授業づくり～
 ＜重点教科等＞特別の教科 道徳
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) キャッチフレーズ さわやか、活気、笑顔の栄小
 (2) 取組内容
 ①学級・学年経営の充実
 ・魅力ある学級づくり ・常に一步前進を目指した学級・学年経営
 ・学校経営方針をふまえた教育実践の充実
 ②学習指導の充実
 ・研修体制の充実 ・魅力ある授業の充実 ・読書活動の推進
 ・家庭学習の充実
 ③豊かな心を育む指導の充実
 ・道徳教育の充実 ・人権教育の推進 ・特別活動の充実
 ・「いのちの大切さ」を実感する教育の充実 ・幼保小中連携の充実
 ④健康な体づくりの推進
 ・体力向上の推進 ・健康の保持増進に指導の充実
 ⑤生徒指導の充実
 ・発達支持的生徒指導の推進 ・いじめの撲滅・不登校の解消
 ・教育相談の充実
 ⑥開かれた学校づくりの推進
 ・地域・家庭との連携の強化 ・コミュニティースクールの充実
 ・幼保小中一貫教育の推進 ・積極的な情報発信
 ⑦特別支援教育の推進
 ・特別支援教育の充実 ・交流教育の充実 ・関係諸機関との連携
 (3) 成果
 ○校内研修を充実させることで教員の指導力向上につなげることができている。
 ○栄中学校区として、学び合い、認め合い、高め合いをキーワードに教育実践を図り、児童の自己肯定感・自己有用感を高めることができている。
 ○平成塾による読み聞かせ、茶の湯体験、書き初め指導、幼保小交流活動等、地域との交流が充実し、児童の豊かな学びにつなげられている。

川柳小学校

創立年月日 明治6年1月15日
 学級数 21学級 校長 撰 郁子
 生徒数 478人 教頭 蘇武 敏行



瀬崎小学校

創立年月日 昭和42年4月1日
 学級数 20学級 校長 柳田 加代
 生徒数 479人 教頭 竹村 直樹



- ＜教育目標＞ かしこく なかよく たくましく
 ＜研究主題＞ 学ぶ喜びを味わわせる国語科授業の創造
 ～自立した学習者の育成を目指して～
 ＜重点教科等＞ 国語科
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) キャッチフレーズ
 子どもたち一人ひとりを大切に、笑顔と夢あふれる川柳小学校
 (2) 取組内容
 ①学力向上
 ・草加っ子の学びを支える授業の5か条の徹底
 ・川小スタイルの徹底・学力、学習意欲の向上
 ・学習規律の徹底と家庭学習の習慣化
 ・タブレットの積極的活用
 ②生徒指導・教育相談
 ・自己肯定感、自己有用感を育む活動の充実
 ・居がいのある学校・学級づくり
 ・道徳授業による豊かな心の育成・特別活動の充実
 ・関係機関との連携・人権教育の推進
 ③体力向上
 ・体育授業の充実、業間運動、休み時間の外遊び
 ・基本的な生活習慣の確立
 ・いのちを大切に取る取組の充実
 ・給食指導、食育の充実
 ・児童や家庭に寄り添った生徒指導と教育相談の充実
 (3) 成果
 ○校内研修の推進による教職員の授業力の向上
 ○異学年交流及び主体的な学びの充実による自己肯定感・自己有用感の向上

- ＜教育目標＞ 心豊かで たくましい子
 ＜研究主題＞ 子どもが主体的に学びに向かう授業づくり
 ＜重点教科等＞ 各教科で重点を絞って実施（国・算・生・道・総）
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) キャッチフレーズ
 ちいさと歩んだ60年 元気につながる瀬崎のわ
 ①「まなびいっぱい」 多面的・総合的に考える力
 コミュニケーションを行う力
 ②「たくましさいっぱい」 未来を予想して計画を立てる力
 進んで参加する態度
 ③「やさしさいっぱい」 他者と協力する力
 つながりを尊重する力
 ★「地域の中にある学校 瀬崎小」 地域とともにある学校づくり
 (2) 取組内容
 ① 他者とのつながりを通した学びの充実
 持続可能な社会を目指す教育の充実
 学びを支える学年・学級経営の充実
 ② 体力の向上 健康教育の充実
 学びの連続性を意識した学校と家庭の連携
 ③ 思いやりの心を育てる心の教育の充実
 インクルーシブ教育（特別支援教育）の推進
 生徒指導・いじめ防止・不登校対策
 危機管理・学習環境の整備
 (3) 成果
 ○他者とのつながりを通した、「きく」力の育成。「友達の考えを自分の考えに取り入れる力」「相手に伝える力」の育成。
 ○60周年行事を通して、地域の方々との交流を図り、地域への愛着や感謝の気持ちの育成。

西町小学校

創立年月日

昭和42年4月1日

学級数 23学級

校長 岩渕 健志

児童数 569人

教頭 佐々木紀剛



新里小学校

創立年月日

昭和45年4月1日

学級数 23学級

校長 篠崎 光浩

生徒数 574人

教頭 長谷川 淳



<教育目標>

よく考え 工夫する子 たくましく ねばり強い子
心豊かで 思いやりのある子

<研究主題>

基礎学力の確かな定着と協働的な学びを通した思考力・表現力の育成
～児童一人ひとりを大切にしたい授業づくりを通して～

<重点教科等>

- (1) 幼保小中を一貫した教育の推進
- (2) 自己肯定感・自己有用感・他者理解の力の育成
- (3) 「新しい時代に必要とされる資質や能力」の育成

<特色ある学校づくりへの取組>

- (1) キャッチフレーズ
感動いっぱい 夢いっぱい みんな生き生き 輝け西町
- (2) 取組内容
 - ① 標準カリキュラムを活用した15年間の学びの充実
 - ② 草加中学校区の15歳の姿を見据えた教育活動の推進
 - ③ 一人ひとりを大切にしたい教育活動の推進
 - ④ 互いに理解し認め合い、高め合うことのできる児童の育成
 - ⑤ 「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業改善
 - ⑥ 読書活動の推進
 - ⑦ ICT機器・AIドリルの積極的、効果的な活用
 - ⑧ 情報モラル教育の充実
- (3) 成果
 - 自己肯定感、自己有用感、他者理解等の育成に向けた指導改善を進め、児童に身に着けたい力が着実に育まれている。
 - 草加中学校区での目指す子ども像の実現に向けた、共通理解が深まり、具体的取組が計画的、意図的に実践できている。
 - ICT機器やAIドリルの活用等を通して新しい時代に必要とされる資質や能力の育成が図られている。

<教育目標> かしこく なかよく たくましく

<研究主題>

わかる・できる・ともに楽しい授業
～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化を目指して～

<重点教科等>

算数科

<特色ある学校づくりへの取組>

- (1) キャッチフレーズ
につこにこ さわやかあいさつ ともだちいっぱい
- (2) 取組内容
 - ① 学力の向上
・教員の授業力の向上 誰一人取り残さない
「わかる、できる学び、ともに楽しい学び」
 - ② 豊かな心と規律ある態度の育成
・教員の学級経営力の向上
「今日も楽しい学校 明日も楽しい学校」
 - ・一人一人の児童を大切にしたい学校づくり、
学年づくり、学級づくり
 - ・「時を守り、場を清め、礼を正す」の徹底
 - ③ 健康教育の推進
・体力づくりの推進
 - ・校内環境整備と美化の推進
 - ④ 地域との連携
・「家庭でしつけ、学校で学び、地域で育てる」
 - ⑤ 特別支援教育の充実
・一人一人のニーズに応じた特別支援教育の推進
- (3) 成果
 - 児童一人一人の学びに向かう力の向上
 - 児童の「自己肯定感」「自己有用感」の向上

花栗南小学校

創立年月日

昭和47年4月1日

学級数 19学級

校長 小林 和美

児童数 473人

教頭 福原慎太郎



八幡小学校

創立年月日

昭和48年4月1日

学級数 22学級

校長 小沼 健寛

児童数 561人

教頭 田坂 清治



<教育目標>

考える子 思いやりのある子 体をきたえる子

<研究主題>

学びを深め、互いに協力し、挑戦し続ける子どもの育成

～探究力・発信力の向上を目指して～

<重点教科等>

生活科・総合的な学習の時間

<特色ある学校づくりへの取組>

- (1) キャッチフレーズ
あいさつじまん どくしよじまん そうじじまん
みんな なかよく みとめあい 学びあい
- (2) 取組内容
 - ① 一人ひとりの個に応じた教育の推進と確かな学力と生きる力の育成
・学びは子どもの夢と希望の中核
 - ・学び続ける子は決して崩れない
 - ② 心潤う生徒指導による豊かな心の育成
・一人ひとりが「かけがえない存在」
 - ・他者の心や体を傷つけることは許されない
 - ③ 他者を理解し人権を大切にする教育の推進
・自然に笑顔になれること
 - ・人も自分も幸せであること
 - ・夢や希望がある未来があること
 - ④ 体育的活動の充実と体力の向上の推進
・児童一人ひとりの課題に応じた取組に重点を置き、総合的な体力の向上を図る
 - ⑤ 安全・安心で美しく潤いのある教育環境の整備
・命、安全を守るため、安全管理や指導の徹底を図る。
 - ⑥ 地域との連携の強い本校の特色を継承した、地域から愛され信頼を深める
特色ある学校づくりの推進
・家庭・地域・関係機関等と一体となった教育を推進する。
- (3) 成果
 - 花栗中学校区の連携を充実し、幼保小中を一貫した教育体制を整備したり、ふるさと草加学習を通して、地域の教育力を生かした学習を充実させたりしたことで児童の自己肯定感が育成された。
 - 地域の方と一緒に取り組んでいる朝のあいさつ運動等により、さわやかなあいさつが定着している。
 - 地域の方々の協力により手話校歌をつくり、児童に浸透している。

<教育目標>

勉強する子 良い子 強い子

<研究主題>

自分の考えをもち、ともに学び合う児童の育成

～「わかる・できる・楽しい」と児童が実感できる国語科の授業を通して～

<重点教科等>

国語

<特色ある学校づくりへの取組>

- (1) キャッチフレーズ
子どもたちがよさや可能性を発揮できる八幡小
- (2) 取組内容
 - ① やる気で勉強（自ら学び）
・自己決定の場の提供
 - ・課題解決型の主体的な学びの実現
 - ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した授業改善
 - ・ICTを効果的に活用した授業づくり
 - ・草加っ子の学びを支える授業の5か条の活用（必要感のある学び）
 - ② はっきりあいさつ（心豊かに）
・共感的な人間関係の育成 ・発達支持的生徒指導の実践
 - ・全教育活動を通して道徳教育・特別支援教育・人権教育の推進
 - ・体験的活動の充実 ・図書館教育の充実
 - ③ たくさん運動（たくましく生きる）
・体育授業の充実 ・体育的活動の充実
 - ・基本的な生活習慣の確立 ・安全教育の充実
 - ④ 「生きる力を共に教え育てる学校・家庭・地域の絆」
・PTAとの連携・地域連携・世代間交流・異校種間の連携
- (3) 成果
 - 国語科の校内研修を実施し、自己肯定感・自己有用感、他者理解を深める授業実践を通して、限られた時間の中でも効率的に研修することができた。
 - 保護者が主体となる『やはたRelationship』や、地域が主体となる市民防災訓練が円滑に実施され、地域、保護者との強い結びつきがもてた。

新栄小学校

創立年月日 昭和49年4月1日
学級数 14学級 校長 高橋 康子
生徒数 334人 教頭 吉田 佳恭



清門小学校

創立年月日 昭和51年4月1日
学級数 24学級 校長 後藤 利宏
児童数 638人 教頭 檜尾 良輝



- <教育目標> なかよく かしくく たくましく
<研究主題>
夢や希望を持ち、自ら学び続ける子どもの育成
～主体的な力を基盤にした、
自己肯定感・自己有用感・他者理解を育む授業改善～
<重点教科等>
国語・算数
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
元気いっぱい笑顔輝く新栄っ子
(2) 取組内容
① 確かな学力を育む教育の推進
・全員参加型の授業の実践、自主学習の推進
・読書活動の充実（年間35冊以上の取組）
・タブレット型PCの活用による授業改善
② 豊かな人間性とコミュニケーション力を育む教育の推進
・思いやりやさしさを「言葉」「行動」にする
・あいさつ運動の充実
・多様な体験活動を通した豊かな心の育成
・美化活動と緑化活動の推進（植栽ボランティア）
③ 体力向上・健康教育の継続
・健康で安全な生活習慣、外遊びの推奨
・食育・命の教育の取組
・むし歯治療、「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発
(3) 成果
○新栄中学校区統一の取組により、家庭で学習・生活習慣
がより定着してきている。
○学力向上プランや校内授業研究会等による授業改善を行
い、学力向上や教職員の指導力の向上につながった。

- <教育目標> なかよく かしくく たくましく
<研究主題>
夢や希望を持ち、自ら学び続ける子どもの育成
～主体的な力を基盤とした、
自己肯定感・自己有用感・他者理解を育む授業改善～
<重点教科等>
各グループの研究教科
（社会・算数・理科・生活・音楽・体育・総合・外国語・道徳・特活・自立）
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
「笑顔あふれる学舎」～未来へ翔け清門小～
(2) 取組内容
① 半世紀積み重ねてきた「歴史と伝統を大切に清門小」
・清門らしさを継続し、信頼される学校
② 「生きる力」のもとになる「徳・知・体」を育成する清門小
・道徳教育・人権教育・特別支援教育の充実・推進
・草加っ子の学びを支える授業の5か条の定着
・清門小スタンダードの定着
③ 「安心・安全な清門小」
・児童の姿が見える校内掲示
・学校安全の日 盗撮防止・通学路・不審者・地震等対応
④ 「家庭・地域とともにある清門小」
・学校運営協議会との連携・協働
・学校応援団による学習支援・環境整備の充実
・メールマガジンによる教育活動の可視化
(3) 成果
○各教職員の強みを生かした指導による、児童の自己有用感向上
○全教職員による安心・安全な学習環境づくり
○学校・家庭・地域が一体となった教育活動の充実

稲荷小学校

創立年月日 昭和52年4月1日
学級数 19学級 校長 鈴木 克裕
児童数 458人 教頭 金子 容子



氷川小学校

創立年月日 昭和52年4月1日
学級数 21学級 校長 中田 順一
生徒数 493人 教頭 藍原 正明



- <教育目標>
自ら学び 心豊かに たくましく
<研究主題>
自ら学び、共に高め合う子の育成
～教員自身の個別最適な学びと協働的な学びを通して～
<重点教科等>
全教科
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) キャッチフレーズ
花さく 夢さく 笑顔さく 明日への希望 いなりっ子
(2) 取組内容
●児童一人ひとりを大切にする教育の推進
①学習指導の充実 ②生徒指導の充実
③豊かな心と体力づくりの充実 ④安心・安全な教育環境の整備・充実
⑤家庭・地域に根ざした教育の充実 ⑥学年・学級経営の充実
●本年度の重点課題：子供と向き合う学校づくり
①児童の学力向上
・校内研修の充実・活性化
・各学力・学習状況調査の検証と改善
・松江中学校区幼保小中一貫教育研究の継承 など
②生徒指導の充実
・根拠のある「自己肯定感・自己有用感・他者理解」の育成
・「いじめを絶対に許さない！見逃さない！」強い意志
・問題への素早い初期対応、丁寧な見守り など
③教職員の「働き方改革」の推進
・定時退勤を促進する取組
・効率的・効果的な仕事の進め方の推奨
・「業務改善提案制度」の実施 など
(3) 成果
○校内授業研究会を回数、内容ともに充実させたことによって、教員
の主体的・対話的で深い学びへの理解が深まり、教員各自の専門性
を向上させることができた。
○学級経営研修会を複数回実施することによって、教員のカウンセリ
ングスキルの向上や学級経営上の課題の共有ができた。

- <教育目標>
「学びあい 助けあって 自分を高める」
<研究主題>
子どもたちのウェルビーイングの向上
<重点教科等>
算数科
<特色ある学校づくりへの取組>
(1) 目指す学校像
「潤いと響き 子どもたち一人ひとりを大切にするあたたかな学校」
子どもが伸びる学校
子どもが生き生きと活動する学校
保護者・地域と共に歩む学校
教育環境を大切にする学校
(2) 本年度の重点取組
①子どもたちの「ウェルビーイング」向上
居心地の良いクラスづくり
「楽しくて分かる授業」の実践
②子どもたちの「学力」向上
楽しくて分かる授業の実践
算数科における「個別最適な学び」「協働的な学び」の実践
③学校・家庭・地域「ウェルビーイングバリューチェーン」の確立
→「コミュニティウェルビーイング」の向上
「よくわかる！氷川小学校」の作成と配布
「ひかわっ子・共有プランー保護者の皆様と 共に進めたい
16の取組」の作成と配布
「子どもたちのウェルビーイング協創プラン」の作成と配布
④教職員の「ウェルビーイング」向上と「学校力」の強化・充実
⑤氷川小の「見えない価値」（人的・知的資産）の充実
→「学校ブランド力」の向上
(3) 成果
○学校ホームページの毎日更新、保護者連絡メール「すぐる」に
より情報発信を強化し、保護者・地域との連携が深まった。
○氷川小「学力向上アクションプラン」の実践により、教職員の
「学級経営力」や「授業実践力」を高めることができた。

八幡北小学校

創立年月日 昭和54年4月1日
 学級数 16学級 校長 春日 和久
 生徒数 396人 教頭 高畑 美奈



＜教育目標＞ なかよく（徳） かしく（知） たくましく（体）
 ＜研究主題＞ 子どもたちの互いのよさを発揮し、可能性を広げる特別活動
 ～自己肯定感・自己有用感・他者理解力を育むために～
 ＜重点教科等＞ 特別活動
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) キャッチフレーズ
 共につくる一人ひとりの笑顔あふれる八幡北小学校
 (2) 取組内容
 【徳】①自己肯定感・自己有用感・他者理解力の育成
 ②特別活動の充実
 ・学級活動・児童会活動を通した人間活動を築く力や自治的能力の育成
 ・学校行事を通した児童の育成
 ③道徳教育の充実
 ④人権教育の推進
 ・多様性への理解
 【知】①主体的・対話的で深い学び
 ・探究、対話、協働 ICTの活用
 ②カリキュラム・マネジメント
 ③総合的な学習の時間の充実
 ④読書活動、読み聞かせ
 ⑤各種学習状況調査の分析、活動 ・北っ子タイム
 【体】①自分の生命を守り育てる
 ・心身の健康 ・安全教育
 ②基本的な生活習慣の確立
 ・早寝早起き朝ごはん ・食育
 ③豊かなスポーツライフ
 ・運動への多様な関わり（する・みる・支える・知る）
 (3) 成果
 ・全教員で各調査の結果分析に取り組み、実態把握と今後の見通しを確認したことにより質の高い授業実践と学力向上につながった。
 ・学級活動の充実に継続して取り組んだことで、児童主体の話し合い活動が充実し、思いや考えの伝え合いや合意形成の力が身に付き、学力が向上した。
 ・地域の温かな協力により、校内環境の整備や登下校時の見守り等、児童が安心して学べる環境作りを共に推進することができた。

長栄小学校

創立年月日 昭和55年4月1日
 学級数 17学級 校長 川村亜希子
 児童数 437人 教頭 磯川 剛



＜教育目標＞ よく考える子 思いやりのある子 たくましい子
 ＜研究主題＞ 対話を通して多様な他者を理解しようとする児童の育成
 ～多様ななかかわりから自己を見つめ、他者を理解し、共に学びを深める学習を通して～
 ＜重点教科等＞ 特別活動
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) キャッチフレーズ
 かがやく笑顔 みんなが誇れる長栄小
 (2) 取組内容
 ①「生きる力」の理念に基づく徳・知・体の総合的な育成
 ・豊かな人間性の育成（道徳実践力）
 ・確かな学力の育成（考える習慣、学力の素地づくり）
 ・健康・体力の保持増進（生命の尊重・健康教育・食育・安全と体力向上）
 ②幼保小中を一貫した教育課程
 ・新田中15歳の姿の具現化に向けたカリキュラムの試行
 ・教科担任制の実施
 ③『主体的・対話的で深い学び』の実現
 ・自己の変容の気づき、見通しとふりかえりのある授業実践
 ・個別最適な学び、ICTの効果的な活用
 ④特別ではない特別支援教育
 ・就学相談の充実
 ・教育相談の充実（SSW、SCの活用）
 (3) 成果
 ○学力向上プランを見直し、長栄小学校授業のスタンダードを確立したことで、学力の向上が見られた。
 ○「主体的・対話的」で深い学びを実現した授業を展開することで、児童の学びを充実させることができた。
 ○組織的な生徒指導を行い、思いやりのある児童の育成を進めることができた。

青柳小学校

創立年月日 昭和57年4月1日
 学級数 14学級 校長 森 太郎
 生徒数 329人 教頭 関 敬之



＜教育目標＞ あ：明るく元気な子 お：思いやりのある子
 や：やりとげる子 ぎ：きたえる子
 ＜研究主題＞ 主体的・対話的で深い学びの実現
 ～全員参加の授業づくりを通して～
 ＜重点教科等＞ 国語科
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) キャッチフレーズ
 笑顔で登校 明日を楽しみに下校する青柳小学校
 【笑顔が一番】～地域と共に歩む、児童一人ひとりの
 笑顔を大切にしたい信頼される学校～
 (2) 取組内容
 ①学力向上（やりとげる子）
 ・「わくわく」「にっこり」「すっきり」できる楽しい学習活動
 ・高学年一部教科担任制による指導の実施
 ・「45分間の授業時間」をコーディネートするプロとしての授業展開
 ②体力向上（きたえる子）
 ・体育授業の充実と運動機会の確保（全力を出す経験の多い授業）
 ・外遊びの奨励（運動の生活化、人間関係の充実）
 ③豊かな心（思いやりのある子）
 ・児童一人ひとりの彩を大切にしたい明るく心温まる学級づくり
 ・心を耕す道徳教育の充実 ・特別活動の充実
 ・組織的な生徒指導の充実 ・わくわくやぎっ子活動の充実
 (3) 成果
 ○「わかる・できる・楽しい」授業を展開することにより、教員の指導力向上及び児童の学力向上が見られた。
 ○「振り返り」を重視した授業を実施することで、次時の学習への興味・関心が高まることにつながった。
 ○幼保小中を一貫とした教育の取組や学校運営協議会の実施により、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進することができた。

小山小学校

創立年月日 昭和57年4月1日
 学級数 17学級 校長 土屋 貴一
 児童数 413人 教頭 飯塚 智広



＜教育目標＞ 進んで学ぶ子 体をきたえる子 思いやりのある子 ねばり強い子
 ＜研究主題＞ 自ら考え、心豊かに、たくましく生きる子どもの育成 ～思考×協働×探究～
 ＜重点教科等＞ 算数
 ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 (1) キャッチフレーズ
 「笑顔いっぱい」の夢ふくらむ学校 ～地域と共に～
 笑顔で登校 明日も行きたくなる学校
 (2) 取組内容
 ①進んで学ぶ子
 ・腰立てタイムの実施を通じて、集中力と今日一日のやる気の育成
 ・草加っ子の学びを支える授業の5ヶ条の定着
 ・学ぶ喜びを味わうことができる授業の充実
 ②体をきたえる子
 ・基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはんの推進）
 ・外遊びの奨励（ロング昼休みの活用）
 ・特別支援教育の視点を生かした教育の充実
 ③思いやりのある子
 ・お互い（学年・異学年）の良さを認め合う態度（コミュニケーション力）の育成
 ・自分から挨拶できる児童の育成
 ・人とのなかかわりあいを大切に、人の気持ちを理解し行動する力の育成（他者理解）
 ④ねばり強い子
 ・実物体験や頑張っている人の話を聞く活動を通して心豊かな児童の育成
 ・課題に対して諦めないで挑戦し続け、成長しようとする心（GRIT）の育成
 (3) 成果
 ○学習の系統性を意識した授業実践により、児童の学力向上を図ることができた。
 ○友達の良さを伝え合う場面を、学校行事や生活学習の場面に多く設けたことで、他者を理解しようとする心情を育むことができた。

両新田小学校

創立年月日

昭和57年4月1日

学級数 20学級

校長 菅野 光三

児童数 450人

教頭 石川 彩



＜学校教育目標＞ 進んで学ぶ子 やさしい子 たくましい子
＜研究主題＞ 「問題意識をもち、共に学び合い、主体的に学ぶ授業の創造」
～他者理解を深め、学ぶ楽しさを感じることができる児童の育成～

＜重点教科等＞ 国語科 算数科

＜特色ある学校づくりへの取組＞

(1) スローガン

学ぶ子われら 光る子われら 笑顔かがやけ 両新田小

(2) 取組内容

①学習指導の充実

- ・国語科・算数科における基礎基本の確実な定着を目指した授業改善
- ・ICT機器を効果的に活用した授業実践
- ・読書活動の推進（活字に触れ合う時間の充実）
- ・家庭学習の充実 ・学力定着を目指した学習環境の構築

②幼保小中を一貫した教育の推進

- ・15年間を見通した教育課程編成の工夫
- ・両新田中学校区の目指す子ども像の共有・実践
- ・「授業の約束」の徹底 ・学級経営を中心とした研究の推進

③安全・安心で開かれた学校づくり

- ・家庭・地域・関係機関と連携した安全教育の充実
- ・避難訓練の工夫・改善
- ・学校HP、学校メール（すぐる）の有効活用

④生徒指導・教育相談・特別支援教育の充実

- ・積極的・組織的な生徒指導、教育相談の充実
- ・いじめ問題、問題行動への対応 ・校内就学支援委員会の充実

⑤豊かな心の育成

- ・道徳教育の充実、人権教育の充実、特別活動の充実
- ・潤いのある学校環境づくり ・交流活動の充実

⑥健康でたくましい児童の育成

- ・体育科授業及び体育的諸活動の工夫・充実
- ・歯磨き指導の充実（フッ化物洗口の実施）
- ・保健室利用の改善

(3) 成果

- 校内研修の充実により、教員の指導力向上につなげることができた。
- 児童は共に学び合う楽しさを感じ、自己肯定感・自己有用感の向上につなげることができた。

松原小学校

創立年月日

平成21年4月1日

学級数 22学級

校長 伊藤真由美

生徒数 585人

教頭 山本 武



＜教育目標＞

心身ともに健康で自ら学ぶ子

＜研究主題＞

互いに学び合い、認め合い、高め合う子どもの育成

～探究的な学習のサイクルを通して

表現力・活用力が身につく授業づくり～

＜重点教科等＞

総合的な学習の時間・生活科

＜特色ある学校づくりへの取組＞

(1) キャッチフレーズ

やさしさと 笑顔でつなぐ 松原っ子

(2) 取り組み内容

①「やさしい心」育成に向けた取組

- ・子どもたち一人ひとりのよさを認め合う学級経営の充実（安心・受容・信頼）

- ・道徳教育・人権教育の推進（違いを尊重する価値の醸成）

- ・「あいさつの年間目標」の具現化

②「強い心」育成に向けた取組

- ・発達支持的生徒指導を基盤とした育ちの支援

（挑戦を後押しする空気の醸成）

③「健やかな体」育成に向けた取組

- ・運動の楽しさを味わい、力いっぱい運動する児童育成に向けた授業改善

④「自ら学ぶ力」育成に向けた取組

- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ・特別支援教育の視点に立った授業の展開
- ・幼保小中一貫教育の推進

(3) 成果

- 個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させることによって、児童の「自分の考えを持つ・伝える」「他者と協力する」能力態度を育成することができた。

市立中学校の紹介

(生徒数・学級数は、令和8年5月1日現在)

学校紹介の内容

- ＜教育目標＞
- ＜研究主題＞
- ＜重点教科等＞
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
- (1) キャッチフレーズ
- (2) 取組内容
- (3) 成果
- など

草加中学校

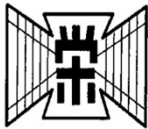
創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 21学級 校長 小松 薫樹
生徒数 653人 教頭 関口 直也



- ＜教育目標＞ 目標を持ち、努力する生徒
- ＜研究主題＞ 自分を大切な存在だと思える児童・生徒の育成
- ＜重点教科等＞ 全教科・全領域
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 - (1) 生徒の目指す学校（スローガン）「あ・か・つ・き」の実践
あ・・・明るい あいさつ（規律）
か・・・活発な かつどう（自主）
つ・・・強い つながり（友情）
き・・・今日を きり開く（向上）
 - (2) 取組内容
 - ①確かな学力を育む学習指導の推進
 - ②発達支持的生徒指導・教育相談の充実
 - ③幼保小中15年を一貫した教育の推進（よさを認め合い、表現力を育む教育活動の推進）
 - ④地域とともにある学校づくりの推進（ふるさと草加学習・コミュニティ・スクールの推進）
 - ⑤健康教育・安全教育の充実
 - ⑥多面的・多角的な見方を育む道徳教育の推進
 - ⑦インクルーシブ教育の視点に立つ特別支援教育の推進（特別支援教育の充実）
 - ⑧進路指導・キャリア教育の充実
 - (3) 成果
生徒が規律ある学校生活を送り、意欲的に学習に取り組んだ。授業ではICTの活用や、自己肯定感・自己有用感・他者理解を育む授業を重視し、表現力を育む教育活動を行うことで学力向上につながった。部活動では、卓球部が関東大会、駅伝が男女共に県大会に出場するなど文武両道を実践する姿が見られた。

栄中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 17学級 校長 廣川 孝司
生徒数 425人 教頭 市村 耕治



谷塚中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
学級数 20学級 校長 森 寿義
生徒数 560人 教頭 梅澤 孝典



- ＜教育目標＞ 自ら学び考え、行動する生徒（知）
豊かな心を持ち、思いやりのある生徒（徳）
健康で、たくましい生徒（体）
- ＜研究主題＞ 互いに学び合い、認め合い、高め合う子どもの育成
～自己肯定感を高め、自己有用感を実感できる学びの充実を通して～
- ＜重点教科等＞ 全教科、全領域
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 - (1) キャッチフレーズ「いいところ探しの栄中学校」
【さ】爽やかなあいさつ【か】輝く笑顔【え】英気あふれる 栄中
 - (2) 取組内容（本年度の重点）
 - ①「確かな学力」の育成
 - ②豊かな心を育む指導の充実
 - ③健康な体づくりの推進
 - ④特別支援教育の充実
 - ⑤幼保小中一貫教育の充実
 - ⑥地域と共にある学校づくりの推進
 - ⑦危機管理体制の確立
 - ⑧信頼される学年・学級経営の充実
 - ⑨発達支持的生徒指導・教育相談の充実
 - (3) 成果
本校では、特色ある学校づくりの観点から、「互いに学び合い、認め合い、高め合う子どもの育成」を推進した。授業改善や教職員研修に加え、部活動においても協働や相互理解を重視することで自己有用感を育成できた。各種調査では肯定的変容が見られ、学習意欲や人間関係の向上に成果が認められた。

- ＜教育目標＞ 学び合う生徒（知） 思いやる生徒（徳） 高め合う生徒（体）
- ＜研究主題＞ 共に学び合い 認め合い 高め合う 子どもの育成
～個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業づくり～
- ＜重点教科等＞ 全教科・全領域
- ＜特色ある学校づくりへの取組＞
 - (1) キャッチフレーズ（目指す学校像）
 - ・生徒の学びを大切に（よりよい授業づくり）
 - ・生徒一人ひとりが大切にされる温かな学校（よりよい学級づくり）
 - ・地域に感謝し、貢献する誠実な学校（よりよい地域づくり）
 - (2) 取組内容
 - ①幼保小中を一貫した教育の推進
 - ・英語での表現活動、総合的な学習「学ぼう！ふるさと草加」
 - ・学級活動（学級会等）と道徳教育（ローテーション道徳）の充実
 - ・ソーシャルスキルトレーニングの実施や不登校・配慮を必要とする生徒への適切な支援
 - ②確かな学力の育成（学力向上）
 - ・授業規律、指導法の改善（ねらいの明確化、振り返りの確保）
 - ・ICTの活用、全国・県学力学習状況調査結果の分析と課題への対応
 - ③地域とともにある学校づくりの推進
 - ・学校運営協議会における情報提供や協議の充実
 - ・各種たより、ホームページ、配信メールの充実
 - ④個に応じた適切な支援
 - ・不登校生徒への積極的な対応（未然防止、初期対応、自立支援）
 - ・特別支援教育コーディネーターを中心とした配慮を要する生徒に対する指導や教育相談部を中心とした校内研修の推進
 - ・生徒の特性に合わせた教育措置（特別支援学級での体験入級等）
 - ⑤豊かな心の育成
 - ・さわやか相談員、学習指導補助員、SSW、SCとの連携
 - ・外部機関（児童相談所、こども家庭課等）との積極的な関係づくり
 - (3) 成果
 - 生徒が互いに認め合い、助け合い、尊重し合って活動することができるようになり、生徒の主体的な活動につながった。
 - 教職員と関係職員が連携し、組織的な対応を行うことで、不登校生徒及び保護者への個に応じた適切な支援をより具体的に取り組むことができるようになった。

川柳中学校

創立年月日 昭和22年4月1日
 学級数 12学級 校長 清水 孝一
 生徒数 344人 教頭 稲村 秀治



- <教育目標>
 賢く 優しく 逞しく
- <研究主題>
 主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり
- <重点教科等>
 全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1)目指す学校像
 一人ひとりのよさを大切にし、人と関わる力を育成する学校
- (2)取組内容
 ・「授業の5か条」「学びの5か条」をもとにして、学校組織全体で「主体的、対話的で深い学び」の視点における授業改善をする。
 ・教科会を充実させ、ICTを活用しながら学力向上に向けて組織で授業改善を進める。
 ・教職員の共通理解に基づいた校内生徒指導体制を確立し、校内規律、授業規律（授業規律の5原則）を徹底し、生徒の望ましい生活習慣を育成する。
 ・教育相談等を計画的に実施し、生徒一人ひとりに寄り添った指導を行う。
- (3)成果
 ○落ち着いた学校生活の中で、生徒が互いに認め合い、助け合い、尊重し合って活動することができるようになり、生徒の主体的な活動につながった。
 ○ICT等を授業で効果的に活用し、学びの中で自己有用感の育成や他者理解につなげることができた。

新栄中学校

創立年月日 昭和49年4月1日
 学級数 20学級 校長 檜森 輝尚
 生徒数 624人 教頭 遠藤 大介



- <教育目標>
 ○自ら学ぶ生徒
 ○思いやりのある生徒
 ○健康でたくましい生徒
 ○正しい行動のできる生徒
- <研究主題>
 夢や希望を持ち、自ら学び続ける子どもの育成
 ～主体的な力を基盤にした、自己肯定感・自己有用感・他者理解を育む授業改善～
- <重点教科等>
 全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1)目指す学校像
 生徒も教師も
 「居心地のよい 明るく元気で行動力のある新栄中学校」
- (2)取組内容
 ①学習指導
 生徒の実態把握と身につけさせたい能力を意識した授業展開
 ②学級経営
 発達支持的生徒指導の充実による、いじめや不登校等の諸問題への適切な対応
 ③生徒指導・教育相談
 いじめ防止対策委員会を主軸とした組織的な対応
 ④生徒会活動
 生徒主体の委員会活動や、生徒総会等を通した学校への参画
 ⑤特別支援教育
 全教科等でユニバーサルデザインの視点に立った授業展開
- (3)成果
 学校行事や部活動、授業、学級活動等を通して生徒の自己肯定感・自己有用感・他者理解の心が育ち、学力向上の兆しが見られる。

瀬崎中学校

創立年月日 昭和51年4月1日
 学級数 21学級 校長 小野 陽子
 生徒数 662人 教頭 綿貫 稔



- <教育目標>
 自らの生き方を考え、実践する生徒の育成「よりよく生きる」
- <研究主題>
 確かな学力と豊かな心を育成し、たくましく生きる生徒の育成
 ～学びと心を結ぶ9ヶ年の継続指導を通して～
- <重点教科等>
 全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) 目指す学校像
 「活気あふれる学校」
 ・豊かな教育活動を通して、感動や達成感を味わえる学校
 ・確かな学力を身につけ、たくましく生きる力を育成する学校
 ・地域との協働を通して社会貢献する心を育て、地域に誇れる学校
- (2) 取り組み内容
 ①地域とともに創立51年目への挑戦
 ・つながり 生徒と地域 保護者と地域 教職員と地域
 地域勤を生かした学校経営 地域に貢献できる生徒の育成
 ②学力向上瀬崎スタイル（授業で勝負）
 ・わかる・伸びる授業の実践 ・AIドリルの活用
 ・定期的なコンテスト（5教科）の実施 ・家庭学習の充実
 ③一人ひとりを大切にしたい教育の推進
 ・「いじめは許さない！」指導の徹底
 ・個に応じたステップアップルーム（個別支援教室）の活用
 ④特別支援教育の充実
 ・特別支援教育の視点にたった指導、支援の実践
 （自立を目指した教育への共通理解）を全教職員で
- (3) 成果
 ○定期試験前の補充学習、5教科の学力コンテスト、AIドリルの活用等により、基礎学力の向上を図るとともに、2年数学の少人数指導が根付き、各学力・学習状況調査の結果に成果としてあらわれている。
 ○地域行事に積極的に参加したり、学校、家庭、地域が一体となって50周年事業を進め、子どもと地域のつながりが強くなっている。
 また、学校の各種行事や各種便りなどの情報配信メールの活用を行うことができた。

花栗中学校

創立年月日 昭和52年4月1日
 学級数 15学級 校長 鈴木 英治
 生徒数 440人 教頭 竹原 英里



- <教育目標>
 【自ら考え 心豊かに たくましく生きる】
 ・自ら学ぶ生徒（知）
 ・豊かな心を育てる生徒（徳）
 ・心身共に健康な生徒（体）
- <研究主題>
 主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり
 ～生徒の自己肯定感・自己有用感・他者理解を育む授業展開の工夫～
- <重点教科等>
 全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
 (1)キャッチフレーズ：一人ひとりを大切にしたい信頼される学校
 ・生徒も教師も一人一人が生き生きと活躍できる学校
 ・好ましい人間関係や信頼関係を確立し、生徒が安心して持てる力を最大限発揮できる学校
 ・学校と家庭・地域との連携がより確かなものとなるように積極的に働きかける学校
- (2)取組内容
 【創立50周年記念】
 ・生徒会主体の50周年記念集会の実施 ・50周年記念給食の実施
 【令和8・9年度草加市委嘱研究（生きるカプラン）】
 ・研究主題：主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり
 ～生徒の自己肯定感・自己有用感・他者理解を育む授業展開の工夫～
 ・過年度に取り組んだ「メンタルヘルス」に関する研究成果活用
 ・学習相談室「Olive Room」の開設による生徒の居場所づくり



両新田中学校

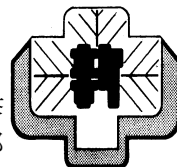
創立年月日 昭和54年4月1日
 学級数 16学級 校長 本間 錦一
 生徒数 515人 教頭 田中 久士



- <教育目標> 【自ら学び 心豊かに たくましく】
 <研究主題>
 「基礎学力の定着を図る授業力向上を目指して」
 ～生徒の自主性を引き出す、魅力ある「わかる」授業づくり～
 <重点教科等> 全教科・全領域
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) 目指す学校像 「信頼」
 ①生徒一人ひとりを大切にし、認め励ますあたたかな学校
 ②意欲的に学ぶことができ、生徒の可能性を広げることのできる学校
 ③地域に感謝し、貢献する誠実な学校
 (2) 取組内容
 ①学力向上に向けた取り組み
 【学力向上推進委員会を軸とした授業改善と家庭学習の推進】
 ②個に応じた適切な対応
 【生徒・学級の実態をふまえた生徒指導と教育相談の推進】
 ③自己肯定感・自己有用感を高め、他者理解の推進
 【学級活動・特別活動を通じた親和的な学級づくり】
 ④幼保小中を一貫した教育の推進
 【中学校区で連携した学習指導と生徒指導】
 ⑤地域とともにある学校づくりの推進
 【保護者や地域と連携した学校行事の推進】
 (3) 成果
 ○令和7年度に実施した学校評価（保護者）の「学校は一人ひとりの生徒を大切にしている」の達成度は90.1%、「学校は子どものことについて家庭と連携をとっている」は88.2%と昨年度以上に高い評価を得ることができ、学校と保護者が連携を図りながら一人ひとりの生徒を大切にした指導を行うことができた。
 また、「子どもの悩みや問題について適切に対応してくれている」は85.6%と高い達成度を得ることができ、子どもたちが安心して充実した学校生活を送ることができた。

新田中学校

創立年月日 昭和55年4月1日
 学級数 16学級 校長 平野 修
 生徒数 443人 教頭 神田研二郎



- <教育目標> 豊かな心と学ぶ意欲をもち 広い世界でたくましく生きる生徒
 <研究主題>
 主体的・対話的で深い学びの実現、社会に開かれた教育課程の実現
 ～学びの生活化・社会化～
 <重点教科等>
 全教科・全領域
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) めざす学校像
 大きな夢 明るいあいさつ 美しい心 きれいな学校
 (2) 取組内容
 ①学ぶ意欲が向上する学校
 ・主体的・対話的で深い学びの追求 ・基礎・基本の習得と活用
 ・一人ひとりのフォローアップの充実
 ②豊かな心が育成する学校
 ・居場所がある環境づくり ・いじめや不登校のない学校づくり
 ・特別の教科 道徳の授業の充実 ・特別活動の充実
 ③心身が健康でたくましい生徒を育成する学校
 ・保健体育、性教育、安全教育、防災教育の推進
 ・望ましい食生活の形成と食事環境の充実
 ・生徒に寄り添った生徒指導・教育相談の充実
 ・体育授業、部活動での体力向上
 ④中学校区の幼保小中が連携した学校
 ・幼保小中を一貫した教育の「草加っ子夢プラン」研究の継続
 ・ペアスクールとしての絆を深めた「自己有用感」を実感させる教育活動
 ・幼保小中を一貫した授業研究の実施
 ・学校運営協議会、地域懇談会の充実した運営
 (3) 成果
 ○様々な学習活動・体験活動を通して、生徒の学ぶ意欲と豊かな心が一層育まれてきている。また、多くの生徒に自主性が育まれ、生徒一人ひとりが自己存在感・自己有用感を感じてきている。

青柳中学校

創立年月日 昭和56年4月1日
 学級数 17学級 校長 渡辺 真一
 生徒数 481人 教頭 石橋 一洋



- <教育目標>
 自ら考え実践する生徒（知）
 心豊かで思いやりのある生徒（徳）
 健康でたくましい生徒（体）
 <研究主題>
 道徳教育を基盤として互いに認め合い自ら学びを深める生徒の育成
 ～対話的な学びを生かした授業改善を通して～
 <重点教科等>
 道徳、生徒指導・教育相談の充実
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) 青柳中学校区の目指す「児童生徒像」
 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童生徒
 (2) 取組内容
 ①自ら考え実践する生徒を育成する授業改善
 ・自己肯定感・自己有用感、他者理解力育成の追求
 ②心豊かで思いやりのある生徒を育成する活動の充実
 ・生徒会活動・学校行事の充実
 ・自他を認め合える生徒の育成
 ③健康でたくましい生徒を育成する生徒指導の推進
 ・生徒理解に基づく生徒指導・教育相談の充実
 ④幼保小中を一貫した教育の研究と実践
 ・小中学校間での情報共有と連携による効果的な指導の実践
 ⑤地域とともにある学校づくりの推進
 ・学校運営協議会を中心としたコミュニティースクールの実施
 (3) 成果
 ○ICT等を効果的に活用し、基礎基本が徐々に定着し、深い学びにつなげることができた。
 ○行事等を通して、行動規範が身に付き、コミュニケーションを良好に保つことができた。
 ○考え議論する道徳授業の研究を通して、自己肯定感・自己有用感、他者理解力の向上につなげることができた。

松江中学校

創立年月日 昭和60年4月1日
 学級数 14学級 校長 宮川 靖明
 生徒数 390人 教頭 江口 和彦



- <教育目標>
 ま：学ぶ意欲のある生徒 <かしこさ>
 つ：強い心と体をもつ生徒 <たくましさ>
 え：笑顔あふれる生徒 <あたたかさ>
 <研究主題>
 自ら学び共に高め合う児童・生徒の育成
 ～Ignite children's motivation!
 子どものやる気に火をつけて～
 <重点教科等>
 全教科・領域
 <特色ある学校づくりへの取組>
 (1) 目指す学校像
 共に学び（かしこさ）、共に育み（たくましさ）、
 笑顔あふれる（あたたかさ）学校
 (2) 取組内容
 ①「学び」のアップデート
 ICTの活用による授業での協働活動の推進
 ②「指導」から「支援」へ
 チームによる生徒支援
 ③生徒の社会性育成とキャリア教育
 幼保小中一貫教育の深化
 ④健やかな体の育成
 家庭との連携のもと、望ましい生活習慣の定着
 (3) 成果
 ○生徒が主体的に学び、思考力・判断力・表現力を高める授業を行うことで、学習意欲が高まり学力が確実に伸びている。
 ○「共感的理解」を大切にしながら授業や学校行事等を充実させることで、豊かな心を育み良好な人間関係が築け、絆が強まり子どもが楽しく学校生活を送ることができている。

Ⅲ 生涯學習

学びの成果が発揮される生涯学習

1 生涯を通した多様な学習機会の充実

(1) 草加市社会教育委員

社会教育の助言機関として、草加市教育振興基本計画の進捗状況の検証、生涯学習が直面する諸問題について協議し、草加市としてふさわしい生涯学習社会の構築を図ります。

(2) 生涯学習情報提供サイトの運用

学習情報の収集・提供、講座や教室への参加申し込み、指導者やサークルの活動紹介及び学習相談などの機能をもち、市全域にわたる生涯学習情報を検索できるインターネット上のサイトを運用し、市民の活用を進めます。

(3) 指導者バンクの活用

生涯学習の各分野において専門的な知識や経験、技能等のある人を生涯学習指導者として発掘、登録し、その情報の提供及び活用を図ります。

指導者バンク制度の周知及び指導者の活動の場を広げるために、生涯学習体験講座を開催します。

指導者バンク

年度	登録者数	体験講座数
R5	84 人	43 回
R6	80 人	25 回
R7	86 人	23 回

(4) サークルガイドブック『マイ・ステージ』の発行

市民への生涯学習情報発信のため、市内で活動しているサークルの情報をまとめたガイドブックを隔年度で発行します。

(5) そうか市民大学の充実

建学の精神「学びを通してのきずな形成」のもと、「自分をつくる・人と出会う・まちをつくる」ことを目的とし、市民との協働による生涯学習社会の構築のため、市民大学推進委員会とともに講座の企画・運営を行います。

(6) 大学公開講座への支援

獨協大学オープンカレッジ及び上野学園短期大学の公開講座を支援します。

(7) 社会教育関係団体の育成

生涯学習の分野ごとに活動する社会教育関係団体の登録や活動支援を行います。

社会教育関係団体

年度	登録団体数
R5	350 団体
R6	334 団体
R7	311 団体

(8) 二十歳のつどいの開催

社会を担う一員としての自覚と自立を促すとともに、ふるさと意識を高め、地域貢献の心を育む機会として、二十歳のつどいを開催します。

(9) 子ども大学そうかの開講

子どもの学ぶ力や生きる力を育み、地域で子どもを育てる仕組みをつくるため、獨協大学との共催により開講します。身近なテーマについて、大学教授や専門家が楽しく、分かりやすく講義します。

(10) 平成塾の管理運営

地域の高年者のふれあいや生きがい、共同学習の場として、また、地域の子どもたちとの世代間交流の場として、平成塾の活動を支援します。

(11) 栄小学校一般開放施設の管理

栄小学校一般開放施設について、施設の適正な維持・管理を図ります。

2 公民館・文化センターの整備と生涯学習環境の充実

公民館・文化センターについて、施設の適正な管理・維持を図るとともに、身近で地域性をいかした学習機会の充実に努めます。

文化遺産の発掘・保存・活用

1 文化財の保存・活用

指定・未指定を問わず、地域の貴重な文化遺産を将来にわたって保存・活用していくため、職員による日常的なパトロールのほか、文化財防火デーに合わせた消防訓練・防災指導を、地域や草加八潮消防組合の協力のもとに実施しています。

また、市内小学校1年生への『草加お宝かるた』の配布や『学ぼう！ふるさと草加』を活用した子ども教育への支援を続け、子どもたちの郷土に対する愛着と誇りの醸成を図っています。

2 文化財保護審議会

文化財保護審議会は、教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関して審議するとともに、必要と認める事項を建議します。

3 国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の保存・活用

『国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」保存活用計画』に基づき、末永く草加松原の保存・活用が図られるよう努めます。

また、保存・活用を図るために策定した『国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」整備基本計画』に基づき、草加松原のもつ本質的価値を損なわず、必要な整備を計画的に実施するよう努めます。

生涯学習施設の紹介

○公民館

〔中央公民館〕

開館年月：昭和41年7月

(昭和56年10月移転)

所在地：草加市住吉二丁目9番1号

電話番号：922-5344

FAX番号：925-0152

構造・面積：鉄筋コンクリート造3階建

延床面積 4,497.91m²

敷地面積 6,255.55m²

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	415	第2体育室	84
第1会議室	46	視聴覚室	60
第2会議室	24	美術工芸室	20
第3会議室	26	第1講座室	54
クラブ室	18	第2講座室	37
調理室	40	図書室	—
和室研修室	35	ギャラリー	—
第1体育室	167		

令和8年度主要事業：伝統文化教室、子どもの居場所なんでも広場、にじいろタイム、成人文化講座、高年者健康リズム体操教室、チャレンジ！シニア講座、ムーンライトコンサート、青少年コンサート、ブリリアントコンサート、中央公民館美術展、中央公民館まつり ほか

〔柿木公民館〕

開館年月：昭和44年4月

(平成14年9月移転)

所在地：草加市柿木町1263番地

電話番号：931-3117

FAX番号：933-2501

構造・面積：鉄筋コンクリート造2階建

延床面積 970.27m²

敷地面積 1,976.28m²

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	130	和室会議室	20
調理実習室	20	会議室	30
実習室	24	図書室・学習室	—

令和8年度主要事業：県民の日柿木なんでも知って見隊ジュニア、子ども文化講座、子ども体験講座、自然観察教室、親子で元気ルーム、高年者の元気ルーム、成人文化講座、大人の社会科見学、柿木の芸術家たち展、はつらつ元気体操教室、柿木公民館まつり ほか

〔谷塚文化センター〕

開館年月：昭和52年1月

(平成19年4月移転)

所在地：草加市谷塚仲町440番地

電話番号：928-6271

FAX番号：928-6272

構造・面積：鉄筋コンクリート造4階建

延床面積 2,330.68m²

敷地面積 18,756m²

(敷地面積は、谷塚小学校、谷塚児童クラブを含む)

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
相談室	20	第1楽屋	12
第1学習室	60	第2楽屋	6
第2学習室	50	中会議室	30
実習室	45	小会議室	20
第1和室	35	家庭科室	45
第2和室	25	図書室	—
ホール	300	託児室	—

令和8年度主要事業：谷塚子ども発明教室、星空観察教室、県民の日体験事業、夏休み子どもわくわく教室、教養文化講座、食文化講座、子育て学級（すくすくクラブ）、高年者学級「コスモス」、はつらつ元気体操教室、谷塚文化センターまつり、草加南高校文化部合同発表会ほか

〔川柳文化センター〕

開館年月：昭和55年4月

所在地：草加市青柳六丁目45番17号

電話番号：936-4088

FAX番号：930-1509

構造・面積：鉄筋コンクリート造3階建

延床面積 1,359.23m²

敷地面積 3,294.00m²

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
体育室	200	和室研修室	30
クラブ室	20	調理室	30
視聴覚室	30	図書室 学習室	—
会議室	50		
実習室	30	託児室	—

令和8年度主要事業：夏休み子ども体験教室、子ども収穫体験講座、子ども自然観察会、子どもの居場所「学習スペース」、成人体験講座、大人の伝統文化講座、家庭教育学級、おやこで公民館デビュー、伝統食の講座、人権講座、卒生き教室、高年者ICT講座、川柳文化センターまつり、サマーコンサート、川柳音楽会ほか

【新田西文化センター】

開館年月：平成22年4月

所在地：草加市清門三丁目49番地1

電話番号：942-0778

FAX番号：946-1508

構造・面積：鉄骨造2階建

延床面積 1,225.48m²

敷地面積 2,136.79m²

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	200	和室	20
第1会議室	24	調理室	24
第2会議室	36	図書コーナー	—
第3会議室	54	託児室	—
実習室	24	準備室	—

令和8年度主要事業：子どもサマーランド、子どもの居場所放課後クラブ、謎解きゲーム、家庭教育学級、ボッチャ体験会、成人文化講座、高年者学級「笑いのつどい」、高年者のびのびサロン、高年者スマホ教室、伝統芸能発表会、新田西文化センターまつり ほか

【新里文化センター】

開館年月：平成26年4月

所在地：草加市新里町983番地

電話番号：927-3362

FAX番号：920-1504

構造・面積：鉄骨造2階建

延床面積 1,373.48m²

敷地面積 2,373.38m²

・施設内容

(単位：人)

施設名	収容人数	施設名	収容人数
ホール	193	和室	24
第1会議室	24	調理室	30
第2会議室	45	図書・学習室	—
第3会議室	40	託児室	—
実習室	24	準備室	—

令和8年度主要事業：夏休み子ども事業、あそびの達人、どんぐりこども会、オモシロかがく探検隊、陶芸教室、おしゃべり粘土、火曜のディナークッキング、高年者グランドゴルフ大会、高年者輪投げ大会、新里ほっこり村、新里スプリングフェスタ、新里文化センターまつり ほか

○博物館類似施設

〔歴史民俗資料館〕

開館年月：昭和58年11月

所在地：草加市住吉一丁目11番29号

電話番号：922-0402

FAX番号：922-1117

構造・面積：鉄筋コンクリート造2階建

延床面積 696.44 m²

敷地面積 762.00 m²

資料収蔵数 3,897点（令和7年度末）

来館者数の推移

年度	人数
R5	10,620人
R6	10,823人
R7	10,714人

令和8年度企画展示：「端午の節句展」、「そうかの芸術家展」、「こどもたぬき絵作品展」、
「旧草加小学校（現歴史民俗資料館）竣工100周年-小学校から資料館へ-」、「桃の節句展」

令和8年度子ども向け体験事業：「七夕かざりを作ろう」、「火起こしと土器に触れてみよう」、「藍染めハンカチ作り」、「昔の道具を使ってみよう」、「まが玉作り」、「和風作り」、「昔遊び大会」、「おひなさまを作ろう！」

郷土の歴史資料や民俗資料などを収集・保管、調査・研究、展示・公開することにより、教育・学術・文化の発展に寄与することを目的とし、昭和58年11月に開館しました。

建物は、大正15年（1926）に県下初の鉄筋コンクリート造校舎として建設された草加小学校西校舎を改修したものです。耐震・耐火に優れ、また、屋上にドッジボールなどをして遊べるスペースが設けられているなど、建設当時としては大変近代的な建造物でした。

平成20年10月には、「造形の規範となっている」建造物であることが認められ、国の登録有形文化財に登録となりました。

令和8年度は、歴史民俗資料館の建物として活用している旧草加小学校西校舎が大正15年（1926）9月に竣工してから100周年に当たります。100年にわたる建物の歴史を伝えるとともに、未来に向けて更なる活用を期するため、記念企画展などの記念事業を実施します。

令和元年11月13日には来館者30万人を達成し、令和7年度末現在累計来館者数は、36万6,402人となりました。

草加市立中央図書館

1 施設の概要

開館年月	平成12年4月1日		
所在地	草加市松原一丁目1番9号		
電話番号	946-3000	FAX番号	944-3800
構造・面積	鉄骨・鉄筋コンクリート造地上5階建 専有面積4,803.54㎡ 1階 玄関ホール、ブックポスト 2階 事務室、ボランティア室、集会室、閉架書庫 3階 展示ギャラリー、一般室 4階 児童室、おはなし室、多目的ホール ※ その他 屋上庭園約1,000㎡有		

2 令和8年度 図書館運営方針

中央図書館では、市民の生涯にわたる自主的な学習活動を支え促進するとともに、地域の情報拠点としての役割を果たすために、事業計画に掲げる6つの事業を柱とした取組を推進し、市民に役立つ図書館を目指します。

学校と家庭や、関係機関、書店等との連携・協働により、読書のまちづくりを進めるとともに、関係機関、各種企業等に対し、図書館が地域課題の解決や新たな価値を創造する拠点であることを周知し、連携・協働の取り組みを推進します。

「第二次草加市子ども読書活動推進計画」の推進に当たっては、学校や関係機関、読書に携わる市民ボランティアとのネットワークづくりを推進し、子どもの発達段階や状況に応じた取組により、子どもと本が会える機会を創出します。

さらに、図書館の広報活動を推進し、市民に読書や図書館の魅力を伝え、読書や図書館の利用につなげます。図書館における様々なニーズを踏まえて多様な世代の市民が交流できる場所の確保を検討するとともに、次期草加市教育振興基本計画を見据えた図書館の役割や目指す姿の検討を進めます。

3 令和8年度 取組内容

(1) 図書館資料や情報の充実及び効果的・効率的な提供

魅力ある図書館資料や情報の整備に加え、公民館図書室や小学校を活用した地域開放型図書室等を結ぶ図書館ネットワーク、他の公立図書館との相互貸借、獨協大学図書館との連携、電子図書館などを通じて、図書館資料等を効果的・効率的に提供します。

(2) 郷土資料等の充実

地域の情報拠点として必要な情報や郷土資料等を幅広く収集し、充実を図ります。今後も『おくのほそ道』や日本文学研究家ドナルド・キーン氏の著作等、草加にゆかりのある資料や、人権・平和に関する資料の収集に努めます。

また、展示ギャラリー等で資料を紹介し、郷土資料等の利用につなげます。

(3) レファレンスサービスの充実

市民の課題解決や身近な調べ物の相談窓口となるレファレンス機能を充実するとともに、オンラインデータベースや持込み端末利用席の提供等により、利用者自身による解決や調査を支援します。

また、レファレンスサービスの活用方法を周知し利用につなげます。

(4) 誰もが使いやすい図書館づくり

市民ボランティアと連携した最適な運営体制づくりや、図書館の快適な空間づくり、デジタル化の推進による利便性の向上などにより、誰もが使いやすい図書館づくりを進めます。全ての市民が図書館サービスを利用しやすいように、バリアフリーサービスや多文化サービスの充実を図るとともに、本庁舎への拠点整備に向けた検討を進めます。

中長期的には図書館機能と地域に必要な行政機能を複合施設において融合させ、多様な世代の市民の新たな学習や交流の場の確保を検討します。

(5) 読書や図書館の魅力を伝える活動の推進

ブックリストの配置など読書活動に関する啓発により、学校・家庭・地域において、市民が読書に親しむ機会を増やします。

文化事業の推進や、広報そうか、ホームページ、SNS、デジタルサイネージ等様々な媒体を活用した効果的な情報発信により、市民に読書や図書館の魅力を伝え、読書活動の推進や図書館の利用につなげます。

(6) 子ども読書活動の推進

学校や関係諸機関、読書に携わる市民ボランティアと連携して、子どもの発達段階や状況に応じた読書に親しみやすい環境を充実させます。

また、子どもの読書活動を推進する意義や取組等を広報・啓発し、家庭での「家読（うちどく）」を推進します。

【令和7年度利用状況】

1 入館者数・登録者数

(単位：人)

開館日数	入館者数			登録者数			
	一般室	児童室	合計	一般	学生	児童	合計
302 日	373,286	86,221	459,507	34,607	5,258	9,474	49,339

※個人情報の適正な管理を行うため、令和2年2月1日から個人利用カードの有効期間を交付の日から5年としました。

2 場所別・資料種別蔵書数

(単位：点)

区分	図書			雑誌	AV資料					電子書籍	合計
	一般書	児童書	小計		CD	カセット	VHS	DVD	小計		
中央図書館	387,965	82,994	470,959	13,247	7,298	0	27	2,071	9,396	—	493,602
公民館・文化センター	18,445	20,859	39,304	184	—	—	—	—	—	—	39,488
地域開放型図書室・サービスコーナー	11,543	63,787	75,330	—	—	—	—	—	—	—	75,330
議会図書室	2,438	167	2,605	—	—	—	—	—	—	—	2,605
草加市電子図書館	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5,912	5,912
合 計	420,391	167,807	588,198	13,431	7,298	0	27	2,071	9,396	5,912	616,937

3 貸出数

(単位：点)

中央図書館					公民館・文化センター	地域開放型図書室	サービスコーナー	議会図書室	草加市電子図書館(電子書籍)	合計
一般書	児童書	雑誌	AV資料	計						
399,878	198,065	20,347	13,875	632,165	101,016	10,130	138,037	2,750	26,866	910,964

4 館内設備等利用状況

(単位：件)

区分	拡大読書器利用席	インターネット用パソコン利用席	予約		リクエスト
			図書・雑誌 AV資料	電子書籍	
利用件数	2	1,995	143,205	9,334	6,542

第二次草加市子ども読書活動推進計画 ～笑顔かがやく草加っ子読書プラン～ (令和6年度～令和9年度)の概要

これからの社会に必要とされる「生きる力」を育む上で、読解力や想像力、思考力、表現力等を養う読書活動の推進は必要不可欠です。本計画では、子どもたちの「生きる力」を育むよう基本理念を設定し、それを実現するため、また、SDGsで掲げている「質の高い教育をみんなに」「平和と公正をすべての人に」「パートナーシップで目標を達成しよう」の実現に貢献するために、三つの基本方針を定め、子ども読書活動の推進に取り組んでいきます。



基本理念	いつまでも心に残る本との出会いを通して、草加っ子の「生きる力」を育みます。
-------------	---------------------------------------

基本方針1	子どもの発達段階や状況に応じた読書に親しみやすい環境を充実させます。
--------------	------------------------------------

- 施策1-1 家庭及び地域における読書の機会の充実
- 施策1-2 学校における読書の機会の充実

基本方針2	子どもの読書活動を推進する意義や取組等を広報・啓発します。
--------------	-------------------------------

- 施策2 「子ども読書の日」「読書週間」を中心とした読書活動の啓発の促進

基本方針3	子どもが読書に親しむための推進体制を充実させます。
--------------	---------------------------

- 施策3-1 関係者間の情報の共有化と図書館ネットワークの充実
- 施策3-2 市民ボランティアや地域文庫等とのネットワークづくり

成果指標	区分	R5実績値	R9目標値
①読書が「好き」「どちらかと言えば好き」の回答を合わせた比率	子ども	80%	90%
	保護者	78%	80%
②1か月に読む本が「0冊」の回答率（不読率）	子ども	23%	13%以下
	保護者	48%	40%以下
③「読んでよかった本がある」の回答率	子ども	88%	90%

地域の情報・交流拠点としての中央図書館

令和7年度は、中央図書館が地域の情報・交流拠点として、「読む」だけでなく、「集う」、「学ぶ」場所となるよう、様々なきっかけづくりやサービスを提供し、誰もが使いやすい図書館づくりを行いました。

①議会図書室での図書館サービスを開始

公民館・文化センター、地域開放型図書室に加え、市役所本庁舎9階の議会図書室にて、図書の貸出し、返却、予約本の受け渡しが行えるようになりました。なお、令和8年5月1日にはサービスを拡大し、現在では利用登録、予約・リクエストの受付まで可能となっています。



議会図書室 書架

②『そうか図書館だより』をリニューアル

令和7年7月号より、『そうか図書館だより』の内容を一新しました。「くらしに本を」というテーマのもと、日々の暮らしの中で役立つ本や図書館の情報をまとめ、年4回刊行しました。



そうか図書館
だより

③令和7年度『ビブリオバトル・草加の陣』

市内の小学生・中学生・高校生の参加により、感動した本や素晴らしいと感じた本を互いに薦め合い、読書の楽しさを啓発し合うビブリオバトルを実施しました。

発表者

(1) 小学生の部：小学校3～6年生 4人 (2) 中高生の部：中学生及び高校生 5人

チャンプ本

小学生の部		中高生の部
書 籍	かあちゃん取扱説明書	僕らの未来が変わるお金と生き方の教室
著 者	いとう みく／作 佐藤 真紀子／絵	池上 彰／監修
出版社	童心社	G a k k e n

IV 人 權 教 育

人 権 教 育

1 学校教育における人権教育

(1) 教育活動全体を通しての人権教育の取組

- ① 人権意識の高揚を図り、人権についての正しい理解を深め、同和問題を始めとする様々な人権問題を解決しようとする児童生徒の育成を図っています。
- ② 人権教育の着実な実践を図るために、児童生徒及び地域の実態を把握し、同和問題を始めとする様々な人権問題を解決するための具体的な目標を設定し、人権教育全体計画を作成し、実践しています。
- ③ 児童生徒の発達段階を踏まえ、各教科はもとより特別の教科道德、特別活動、総合的な学習の時間等の年間指導計画に人権教育を位置付け、実践しています。
- ④ 豊かな人権感覚を身に付けるとともに、自他の大切さを認め、主体的に行動できる児童生徒を育てるため、全教職員の共通理解を図り、教育活動全体を通して一人ひとりを大切にする指導の在り方についての研究を推進しています。
- ⑤ いじめや仲間はずれのない、お互いに協力し合う明るい学級づくりに努めています。

(2) 人権を尊重する教育の徹底と啓発活動の取組

草加市人権教育推進協議会と協力し、啓発活動を推進しています。特に、同和問題に関しては、部落差別の解消の推進に関する法律の基本理念を踏まえた取組の実践に努めています。

- ① 人権教育主任研修会
- ② 人権教育授業研究会
- ③ 新採用教員研修会
- ④ 3年次教員研修会
- ⑤ 5年経験者研修会
- ⑥ キャリア・アップ研修会
- ⑦ 臨時的任用教員・任期付教員研修会
- ⑧ 学校管理職（校長・教頭）人権教育研修会
- ⑨ 人権教育校内研修会
- ⑩ 人権を考える市民のつどい
- ⑪ 草加市人権文集「なかま」の発行
- ⑫ 草加市人権標語ポスターの作成
- ⑬ 現地研修会の開催 ほか

2 社会教育における人権教育

社会教育の各分野において、同和問題を始めとする様々な人権課題に対して、総合的かつ計画的な人権教育・啓発を推進し、市民一人ひとりが人権尊重の理念に対する理解を深め、全ての人が相互に存在を認め合い、尊重し合う平和な社会の実現を目指しています。

特に、同和問題に関しては、部落差別の解消の推進に関する法律の基本理念を踏まえた取組の実践に努めています。

(1) 公民館での人権教育講座の開催

市内6か所の公民館・文化センターで人権教育講座や講演会等を行い、様々な人権問題に対して理解を深めていけるような学習プログラムを設け、市民が学習できる場を提供しています。学習方法についても、人権啓発ビデオの視聴を取り入れるなどの工夫をしています。

(2) 人権教育講演会、研修会の開催

講演会、研修会等を開催し、また、草加市人権教育推進協議会を始めとした団体・機関等と共催することで幅広く人権教育の推進が図れるよう努めています。

- ① 人権を考える市民のつどい
- ② 企業内人権・同和問題研修会
- ③ 現地研修会の開催 ほか

(3) 吉町集会所事業

吉町集会所は、同和問題を始めとする社会人権教育を推進し、市民の会議、集会等に供するために設置された施設です。その運営については、地域の関係団体・機関から選出された運営委員会を中心に行っています。

① 子ども教室、女性教室の開催

各教室において人権学習会を取り入れることにより、人権意識の高揚が図れるよう努めています。

② 吉町集会所まつりの開催

吉町集会所利用団体による成果発表のほか、人権教育講演等を行い、人権問題に対する理解をより深めながら利用者同士の交流を図ることで、平和で住みよい社会が形成できるように努めています。例年3月頃に吉町集会所まつりを開催します。

③ 埼玉県教育集会所文化交流会（みなくるフェスタ）への参加

埼玉県教育集会所連絡協議会主催による埼玉県教育集会所文化交流会（みなくるフェスタ）に、吉町集会所利用団体が参加し、県内集会所及び隣保館利用団体との交流を図ります。

吉 町 集 会 所

開 館 年 月 : 昭和58年4月

所 在 地 : 草加市吉町三丁目9番24号

構 造 ・ 面 積 : 鉄骨造2階建 延床面積 281.51 m² 敷地面積 578.63 m²

V 資 料 編

草 加 の 教 育 の 沿 革

年 度	月 日	主 な こ と が ら
昭和 6 1	4 月 1 日 6 月 7 日 8 月 1 0 月 1 日 2 月 2 0 日	指導課と青少年課を統合し、指導・青少年課に改編 奥日光自然の家を開設 川柳小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 財草加市体育協会が設立 遊馬町個人所蔵の文明十七年弥陀一尊図像月待板碑を市指定文化財に指定
6 2	7 月 3 1 日 8 月 1 日 8 月 2 5 日	青少年健全育成市民会議が発足 語学指導助手を初めて採用 高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱北勝海関が参加
6 3	8 月 2 1 日 8 月 2 2 日 1 0 月 1 5 日 1 1 月 1 日 1 1 月 5 日 1 1 月 1 3 日	新栄中学校、第 1 8 回全国中学校バスケットボール大会で優勝 花栗中学校、第 1 8 回全日本中学校バレーボール選手権大会で優勝 草加市民管弦楽団が発足 新草加市民憲章・草加市歌を制定 第 1 回奥の細道国際シンポジウムを開催 中日友好バレーボール親善試合を開催
平成 元	7 月 7 日 8 月 2 1 日 1 1 月 2 4 日	草加平成塾を開塾 長栄小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱旭富士関が参加 第 1 回国際ハーブ・フェスティバルを開催
2	7 月 2 日 8 月 2 5 日	栄平成塾を開塾 高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱千代の富士関が参加
3	4 月 1 日 8 月 2 4 日 7 月 1 8 日	社会教育課を、生涯学習課と改称 清門小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 新田平成塾を開塾
4	8 月 2 9 日 9 月 2 4 日 9 月～	西町小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱曙関が参加 両新田平成塾を開塾 学校週 5 日制（月 1 回）を実施
5	6 月 2 2 日 1 0 月 1 8 日	音楽都市を宣言 八幡北平成塾を開塾
6	8 月 2 3 日 1 1 月 7 日	小山小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 新栄平成塾を開塾
7	4 月～ 8 月 2 2 日 1 1 月 3 0 日	学校週 5 日制（月 2 回）を実施 稲荷小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱武蔵丸関が参加 瀬崎平成塾を開塾
8	8 月 2 4 日 1 1 月 2 6 日	草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 小山平成塾を開塾
9	8 月 2 0 日 1 0 月 3 1 日	草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 氷川平成塾を開塾
1 0	8 月 2 2 日 1 1 月 1 日 1 0 月 2 8 日 3 月 1 日 3 月 1 9 日	草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 清門平成塾を開塾 札場河岸公園内の甚左衛門堰を市指定文化財に指定 青柳平成塾を開塾 市指定文化財の甚左衛門堰が県指定文化財に指定

年 度	月 日	主 な こ と が ら
平成 1 1	4 月 1 日 8 月 1 1 月 5 日	特色ある学校づくり推進事業を開始 草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 長栄平成塾を開塾
1 2	4 月 1 日 8 月 2 0 日 1 1 月 1 5 日 2 月 2 6 日	草加市立中央図書館が開館 草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 新里平成塾を開塾 教育相談室が氷川町から松江一丁目（現在地）に移転
1 3	4 月 9 日 8 月 2 6 日	草加市立中央図書館、来館者 1 0 0 万人を達成 記念体育館で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱武蔵丸関が参加
1 4	4 月 1 日 5 月 8 日 8 月 7 日 8 月 2 4 日 9 月 1 日	学校教育部・生涯学習部を新設。併せて、指導・青少年課を、指導課及び青少年課に改編 学校週 5 日制が完全実施 勤労青少年ホームを教育委員会所管に改編 子ども週末活動支援モデル事業を開始 新学習指導要領が全面实施 学校評議員制度が市内全小中学校で開始 八幡平成塾を開塾 安陽市と国際教育交流協議書を締結 草加中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 柿木公民館が新築移転、業務を開始
1 5	4 月 2 6 日 4 月 8 月 1 9 日 9 月 1 日 9 月 1 7 日	冒険松原あそび場（プレーパーク）を開設 西町小学校、新校舎で授業を開始 記念体育館で夏休みちびっ子相撲大会を開催 草加市学校安全の日（学校安全週間）を制定 全小学校に中央図書館サービスコーナーを開設
1 6	4 月 7 月 1 0 日 8 月 1 日 8 月 2 4 日 9 月 1 日 ～ 1 0 月 2 9 日 1 0 月 1 日 1 0 月 6 日 1 0 月 2 4 日 ～ 2 7 日 3 月 2 1 日 3 月	川柳小学校、新校舎で授業を開始 柳島スポーツ広場の開放を開始 埼玉県東南部地域公共施設・生涯学習講座予約システム（まんまるよくシステム）の運用を開始 谷塚中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 東地総田遺跡第二次発掘調査を実施 草加未来人サポート審議会が発足 全小中学校でアルミ缶の回収を開始 記念体育館で「まごころ国体ー相撲競技」を開催 冒険松原あそび場（プレーパーク）のプレーリーダーハウス完成 草加市生涯スポーツ振興計画を策定
1 7	4 月 6 月 1 2 日 7 月 8 月 2 7 日 9 月 1 日 9 月 3 日 9 月 2 9 日	教育に関する 3 つの達成目標を踏まえ「草加っ子の基礎・基本」を策定、実践開始 奥日光自然の家開設 2 0 周年式典を挙行 全校学力調査を実施 谷塚中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 全校校地内全面禁煙を実施 そうか市民大学を開校 草加一丁目北草加観音堂境内の正保二年草賀町銘板碑型線刻虚空蔵菩薩立像供養塔を市指定文化財に指定

年 度	月 日	主 な こ と が ら
平成 17	9月 10月28日 11月13日 11月 12月 1日	公共施設及び学校給食調理業務機器等アスベスト調査を実施。撤去等安全対策に着手 草加中学校の体育館・給食棟が竣工 綾瀬川出土の丸木舟の保存処理が完了し、歴史民俗資料館で展示を再開 不審者による児童生徒被害の多発を踏まえ、安全安心の学校づくりに着手 獨協大学との連携により、同大学附属図書館の市民開放を開始
18	4月 7月26日 7月～ 8月27日 8月～ 1月22日 3月15日	中学校学校選択制を導入 学校給食調理業務委託を中学校2校において実施 小学校22校区内にスクール・パトロールステーションを設置 草加中学校体育館の一般開放を開始 綾瀬川出土の丸木舟を市指定文化財に指定 算数・数学学力向上プロジェクト「寺子屋事業」の開設 川柳小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 草加宿開宿着手400年記念事業の実施（夏期巡回ラジオ体操、なんでも鑑定団 in 草加、絵画展、俳句展等） いじめ相談「草加っ子元気カード」を小中学校生に配付 谷塚小学校・谷塚文化センター完成竣工式を挙行
19	4月 1日 4月 9日 4月24日 4月 8月28日 8月 9月 10月 1日 3月	草加市教育相談室を、草加市教育支援室に改称 谷塚小学校、新校舎で授業を開始・谷塚文化センター新庁舎で業務を開始 全国学力学習状況調査を実施 学校給食調理業務委託を新たに中学校2校で実施 AED（自動体外式除細動器）を全小中学校の保健室に設置 市内6小学校区で放課後子ども教室を開設 谷塚中学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 奥日光自然の家の施設周辺に、野生動物対策のため電気柵を設置 草加市立北谷小学校・花栗小学校の統合に向けた統合協議会を設置 青少年の居場所として青少年交流センターを開設 財務に関する事務の適正な執行のため、業務改善検討委員会を設置
20	4月 1日 6月 8月20日 9月 10月23日 12月 3月	学校教育課と生涯学習課を統合し、教育総務課を新設。併せて、学校教育課、学校施設・給食課を新設。体育課を市長部局に移管 業務改善検討委員会の意向を受け、教育委員会内部統制チームを新設 小中学校の耐震化計画を見直し、平成25年度100%実施に向けた計画を策定 市制50周年記念事業「子ども議会」を開催 「草加っ子土曜寺子屋」の新設 歴史民俗資料館が草加市初の国の登録有形文化財に登録 教育委員会事務及び評価報告書を市議会12月定例会に提出 松原小学校の開校に伴い、北谷小学校及び花栗小学校が閉校 教育委員会発足50周年記念誌『草加の教育50年の歩み』を発行
21	4月16日 4月 7月	市内小中学校の耐震診断結果を公表 松原小学校が旧花栗小学校で開校 高砂小学校、新校舎で授業を開始 新型インフルエンザが猛威を振るい、7月下旬から3月上旬までに小学生5,490人、中学生1,959人が罹患

年 度	月 日	主 な こ と が ら
平成 21	7月 8月 9月 6日 10月 11月12日 3月31日 3月	瀬崎冒険あそび場（プレーパーク）を開設 新田小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 高砂小学校で地域開放型図書館を開設 高砂小学校が、草加市と都市山村交流（平成22年7月に姉妹都市締結）の福島県昭和村への修学旅行を実施。以来、平成22、24、25、26年度にも実施 新型インフルエンザの影響で、小中学校なわとび大会及び学校対抗相撲大会が中止 新田西文化センターの完成に伴い、新田西公民館が閉館 国の経済危機対策等の補助金を活用して、小学校に校務用及び教育用コンピュータを整備
22	4月 1日 8月28日 11月11日 11月 3月11日 3月	新田西文化センターが開館 高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱白鵬関が参加 草加市立中央図書館開館10周年記念として、「中央図書館文化講演会」を開催 草加市文化財保護基本計画を策定 午後2時46分、東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生。児童生徒の一斉下校対応・引き取り対応を実施。各小中学校、公民館・文化センターに避難所を開設。食材供給が十分でない中、市内小学校においては、震災後も給食調理業務を継続して実施 松原小学校、新校舎が完成
23	4月 8日 6月 8日 8月28日 9月 11月～ 12月26日 2月 3月	松原小学校、新校舎で授業を開始 学校における放射線量等の測定を開始 松原小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 旧松原小学校（旧花栗小学校）において、県東部地域特別支援学校（仮称）設置工事に着手 子ども達が日常的に過ごす施設や場所を優先的に放射線量の詳細測定と除染を実施 住吉二丁目所在の明治天皇草加行在所記念碑を市指定文化財に指定 草加市立中央図書館開館10周年記念誌を発行 草加市教育振興基本計画を策定
24	4月 1日 6月 1日 8月20日 ・21日 8月25日 8月 9月 3月	学校教育課及び学校施設・給食課を、学務課、指導課及び施設課に改編、子ども教育連携推進室を新設 学校適応指導教室「ふれあい教室分室」を川柳文化センター・谷塚文化センター内に開設（平成25年3月31日閉室） 草加市立中央図書館で雑誌広告事業を開始 栄中学校、全国中学校体育大会の体操競技団体に3位入賞 高砂小学校で開催の夏休みちびっ子相撲大会に横綱白鵬関が参加。主催の草加市青少年相撲振興会創立30周年を記念し、土俵入りを披露 「いじめ防止」のためのリーフレットを作成 栄小学校、校舎改築工事に着手 草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画を策定
25	4月 1日 6月21日 6月～ 8月28日	埼玉県立草加かがやき特別支援学校開校 藤城家住宅店舗・内蔵・外蔵が国の登録有形文化財に登録 草加寺子屋（土曜学習）を市内公共施設4会場に加え、市内小学校全校で開催 いじめ撲滅サミット」を開催

年 度	月 日	主 な こ と が ら
平成 25	8月30日 11月1日 12月 1月24日 2月 3月18日 3月31日 3月	谷塚小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 草加市立中央図書館に「ドナルド・キーンコーナー」を開設 栄小学校、新校舎が完成 瀬崎の富士行及び富士塚を市指定文化財に指定 「目指す『草加っ子』(草加市幼保小中教育モデル指針)」「草加市幼保小接続期モデルプログラム」「草加市小中連携モデルプログラム」を策定 草加松原が「おくのほそ道の風景地」の一群をなすものとして国の名勝に指定 新里文化センターの完成に伴い、谷塚西公民館が閉館 「草加市学校におけるいじめの防止等のための基本的な方針」策定
26	4月1日 4月8日 5月24日 7月～ 7月 8月30日 2月 3月7日	新里文化センターが開館 栄小学校、新校舎で授業を開始 草加市文化会館で名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」指定記念式典を開催 市内小中学校の普通教室及び音楽室へのエアコン設置が完了し、稼働開始 青柳小学校・小山小学校が、試行として姉妹都市の福島県昭和村への自然教室を実施 小山小学校で夏休みちびっ子相撲大会を開催 「目指す『草加っ子』(草加市幼保小中教育指針)」「草加市幼保小接続期プログラム」「草加市小中連携プログラム」を策定 草加松原遊歩道内にドナルド・キーン氏揮毫による国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」の標識(記念碑)を建立。同日、除幕式典を開催
27	4月1日 7月 8月30日 11月22日 2月	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、新教育委員会制度へ移行 青柳小学校・小山小学校・八幡小学校が、試行として姉妹都市の福島県昭和村への自然教室を実施 川柳小学校で夏休み草加っ子相撲を開催 移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律に基づき、「いのちの絆をつなぐ教育」として豊かな心推進事業講演会を開催 第二次草加市教育振興基本計画『笑顔かがやく草加教育プラン』を策定 第二次草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画、草加っ子にこにこわくわくプラン(草加市乳幼児期保育・教育課程)、草加市小中学校教育課程指導資料(算数・数学)を策定
28	4月1日 6月24日 7月 8月23日 8月24日 ・25日 10月16日 11月24日 2月2日 2月	施設課を、総務企画課施設係に改編 草加市立小中学校自然教室30周年記念式典を挙行 新田小学校・花栗南小学校・八幡小学校が試行として姉妹都市の福島県昭和村への自然教室を実施 草加中学校で夏休み草加っ子相撲を開催 栄中学校、全国中学校体育大会の体操競技男子団体が優勝 中央図書館で小学生によるビブリオバトルを開催 新田中学校区小中一貫教育研究発表会を開催 川柳中学校区小中一貫教育研究発表会を開催 草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラム7教科等を策定

年 度	月 日	主 な こ と が ら
平成 28	3月	国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」保存活用計画を策定
29	4月 1日 4月 7月 8月22日 12月 1月26日 2月 3月	草加市教育委員会と獨協大学との教育支援連携協定を締結 全中学校区で小中一貫教育を開始 第三次草加市生涯学習基本計画「生きる力をはぐくむ学縁都市 そうか」を策定 西町小学校で夏休み草加っ子相撲を開催 草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラム全教科等を策定 草加中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を開催 『れきみんだより』創刊 草加市子ども読書活動推進計画を策定 草加市学校施設整備基本方針を策定 草加市文化財保護指針を策定
30	4月 7月10日 ～ 9月 2日 10月31日 11月 1日 11月10日 1月17日 1月24日 1月30日 2月 3月16日 ～ 4月10日 3月	全中学校区で幼保小中を一貫した教育を開始 歴史民俗資料館で市制施行60周年記念企画展「草加市誕生」を開催 青柳中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を開催 市制施行60周年を記念して図録『草加市誕生』を刊行 市制施行60周年記念事業「ビブリオバトル・草加の陣」を開催 瀬崎中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を開催 松江中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を開催 栄中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を開催 2019年度版幼保小中一貫教育標準カリキュラムを策定 歴史民俗資料館で名勝指定50周年記念企画展「『おくのほそ道』から草加松原へ」を開催 草加市幼保小中一貫教育プログラムを策定
令和 元	6月 1日 7月 8月22日 8月 9月14日 9月28日 9月 11月13日 11月22日 11月27日 1月23日 1月28日	一周忌追悼講演会「ドナルド・キーン先生とほそ道と草加」を開催 市内小中学校の特別教室へのエアコン設置が完了し、稼働開始 高砂小学校で夏休み草加っ子相撲を開催 国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」整備基本計画を策定 「ビブリオバトル・草加の陣」を開催 PTA連合会創立60周年式典開催 市内小中学校の給食室へのエアコン設置が完了し、稼働開始 歴史民俗資料館で来館者30万人を達成 新栄中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を開催 谷塚中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を開催 両新田中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を開催 花栗中学校区「幼保小中を一貫した教育」に関わる研究発表会を開催

年 度	月 日	主 な こ と が ら
令和 元	3月 2日	第三次草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画を策定
	3月 4日	草加市生涯学習推進指針を策定
		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、政府による学校休業の要請を受け、小中学校の臨時休業開始
	3月	社会教育施設一般利用の休止開始 第三次草加市教育振興基本計画『笑顔かがやく草加教育プラン』を策定
2	4月 1日	草加市立中央図書館開館20周年
	4月 8日	総務企画課を、総務企画課及び学校施設課に改編
	8月 5日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月31日まで小中学校臨時休業
	8月25日	草加市立中央図書館、リニューアルオープン
		草加市立中央図書館、空調設備等改修工事完了 (工期：令和元年12月19日～令和2年8月25日)
	11月14日	草加市立中央図書館、開館20周年記念事業を開催
	1月11日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新成人のつどいをオンラインにより開催
	1月28日	令和2年度「ビブリオバトル・草加の陣」を実施
	3月	草加市立中央図書館、開館20周年記念誌を発行
		市内小中学校7校の体育館へのエアコン設置が完了し、稼働開始 草加市学校施設等長寿命化計画を策定
3	7月 1日	高砂小学校4年生が、コロンビアのパラリンピック選手とオンラインで交流
	7月 7日	オリンピックの聖火が、国指定名勝「草加松原」を走る
	8月19日	栄中学校、全国中学校体育大会の体操競技男子団体が優勝
	～21日	
	9月 1日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、9月30日まで小中学校短縮授業、自宅でのオンライン学習を併用
	9月11日	そうか公園で開催の浦和レッズ・ハートフルサッカーで市内の小学生在がプロ選手と交流
	10月 1日	子どもたちの声による「下校時見守り放送」開始
	10月14日	須田家住宅（中屋）土蔵・久野家住宅店舗が国の登録有形文化財に登録
	10月20日	現中央公民館、開館40周年
	11月 1日	歴史民俗資料館、「れきみんブックレット」を創刊
	11月15日	柿木公民館、優良教育施設として埼玉県より表彰
	11月16日	瀬崎中学校区「自己肯定感・自己有用感を育む授業づくり」に関わる研究発表会を開催
	12月 4日	地元の食材で調理した高砂小学校の給食が全国学校給食甲子園で優秀賞を受賞
	1月	草加市幼保小中一貫教育標準カリキュラムを策定
	2月 1日	青柳中学校区「主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり」に関わる研究発表会を開催
	2月10日	草加中学校区・川柳中学校区による「草加っ子 読書活動推進プラン」に関わる研究発表会の中で令和3年度「ビブリオバトル・草加の陣」を実施
	3月24日	清門小学校の卒業式で、卒業生が手話で校歌斉唱

年 度	月 日	主 な こ と が ら
令和 3	3月	市内小中学校7校の体育館へのエアコン設置が完了し、稼働開始 現中央公民館、開館40周年記念誌を発行
4	4月 1日 4月14日 4月23日 7月30日 8月18日 8月29日 10月18日 11月 2日 11月15日 12月 1日 2月 1日 2月16日 3月 4日 3月	草加市立中学校選択制の廃止 匿名報告・相談アプリ「STANDBY（スタンドバイ）」を導入 中央図書館が令和4年度子供の読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受賞 奥の細道サミットin草加が開催され草加・川柳・両新田中学校生徒が「おくのほそ道」草加の条を群読 市内全小中学校32校の代表児童生徒が集まり、中央公民館で第10回草加市立小中学校「いじめ撲滅サミット」を開催 「タイムトンネル」の壁画を作成した谷塚中学校美術部に感謝状を贈呈 花栗中学校が食品ロス削減推進表彰において、「学校給食を活用した食品ロス削減」により消費者庁長官賞を受賞 新栄中学校区「自己肯定感・自己有用感を育む授業づくり」に関わる研究発表会を開催 新田中学校区「主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり」に関わる研究発表会を開催 「学ぼう！ふるさと草加」 ふるさと草加学習指導資料 改訂 松江中学校区「主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり」に関わる研究発表会を開催 栄中学校区・谷塚中学校区による「草加っ子 読書活動推進プラン」に関わる研究発表会の中で令和4年度「ビブリオバトル・草加の陣」を実施 草加中学校にて「草加イングリッシュキャンプ」を実施 市内小中学校18校の体育館へのエアコン設置が完了し、全小中学校での稼働開始
5	8月23日 8月24日 10月21日 ～12月17日 10月25日 11月 1日 11月11日 11月25日 11月27日 1月 4日 ～21日 1月13日 1月26日	市民体育祭 夏休み草加っ子相撲教室を4年ぶりに開催 市内全小中学校32校の代表児童生徒が集まり、中央公民館で第11回草加市立小中学校「いじめ撲滅サミット」を開催 歴史民俗資料館で開館40周年記念企画展「追憶の豊田三郎」を開催 両新田中学校区「自己肯定感・自己有用感を育む授業づくり」に関わる研究発表会を開催 歴史民俗資料館、開館40周年 令和5年度「ビブリオバトル・草加の陣」を中央図書館で実施 (草加っ子生き生きプラン「読書活動推進プラン」研究委嘱校、新田小・長栄小・新田中の児童・生徒が参加) 学校対抗相撲大会を4年ぶりに開催 川柳中学校区「自己肯定感・自己有用感を育む授業づくり」に関わる研究発表会を開催 歴史民俗資料館で国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」指定10周年記念企画展「風景地でたどる『おくのほそ道』」を開催 伝えよう！ふるさと草加 第1回ICTプレゼンテーションコンクールを開催 花栗中学校区「主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づくり」に関わる研究発表会を開催

年 度	月 日	主 な こ と が ら
令和 5	2月 1日 ～ 7日 3月 18日 3月	学校給食展を4年ぶりに開催 国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」、指定10周年 第四次草加市教育振興基本計画『笑顔かがやく草加教育プラン』 第四次草加市子ども教育連携推進基本方針・行動計画 第二次草加市子ども読書活動推進計画をそれぞれ策定
6	4月 7月 1日 ～ 9月 30日 8月 21日 9月 6日 10月 27日 10月 23日 ～ 12月 2日 11月 6日 11月 17日 11月 27日 1月 15日 2月 1日 3月 8日	市役所本庁舎1階北入口付近に図書返却ポスト設置 クラウドファンディング「読書で子どもの成長を応援したい！ ～100年続く図書館文化を未来へつなぐ～」寄付の募集 市内全小中学校32校の代表児童生徒が集まり、中央公民館で第 12回草加市立小中学校「いじめ撲滅サミット」を開催 草加の図書館創立100周年を迎える 100周年記念「キャラクター名（まっぼん）お披露目会」・「図 書館文化講演会」開催 ギャラリー展示「草加の図書館100年のあゆみ」及び未来の図書 館絵画展開催 谷塚中学校区「自己肯定感・自己有用感を育む授業づくり」に関わ る研究発表会を開催 100周年記念・第二次草加市子ども読書活動推進計画スタート記 念事業「児童文学講演会」開催 栄中学校区「自己肯定感・自己有用感を育む授業づくり」に関わる 研究発表会を開催 草加中学校区「自己肯定感・自己有用感を育む授業づくり」に関わ る研究発表会を開催 令和6年度「ビブリオバトル・草加の陣」を中央図書館で実施 草加中学校にて「草加イングリッシュキャンプ」を実施
7	7月 1日 8月 21日 11月 18日 11月 26日 11月 29日 1月 23日 3月 7日 3月 31日	議会図書室にて図書の貸出し・返却サービスを開始 市内全小中学校32校の代表児童生徒が集まり、中央公民館で第 13回草加市立小中学校「いじめ撲滅サミット」を開催 花栗南小学校「学びを深め、互いに協力し、挑戦し続ける子供の育 成」に関わる研究発表会を開催 青柳中学校区「自己肯定感・自己有用感・他者理解を育む授業づく り」に関わる研究発表会を開催 令和7年度「ビブリオバトル・草加の陣」を中央図書館で実施 瀬崎中学校区「主体的・対話的で深い学びを実現するための授業づ くり」に関わる研究発表会を開催 草加中学校にて「草加イングリッシュキャンプ」を実施 全小学校の中央図書館サービスコーナーの廃止

草加市の指定・登録文化財等

指定・登録文化財

(令和8年8月1日現在)

所管	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定・登録年月日
市	富士浅間神社 本殿 (建造物)	1 棟	間口 2.32m、奥行 3.60mの一間社流造(いつけんしゃながれづくり)。随所に豊富な彫刻を配した天保年間(1830～1844)の社殿で、宮彫(みやぼり)彫刻の技法が優れている。	瀬崎 3-3-24 富士浅間神社	昭和 51 年 11 月 15 日
市	六角宝幢形 経筒 (工芸品)	1 口	筒身及びその底部。筒身は現在、長方形の銅板(縦約 9.5 cm、幅約 2.5 cm)6 枚に分かれている。六角宝幢(ほうどう)形は全国的にも珍しく、学術上貴重である。	柿木町地内	昭和 51 年 11 月 15 日
市	東漸院 山門 (建造物)	1 棟	寺院の表門で、型式は四脚門(しきやくもん)。規模は表柱間 3.16m、奥行 3.58m。江戸中期以降の建物であるが、彫刻に迫力があり、また、よくまとまった四脚門の好例である。	柿木町 1286 東漸院	昭和 52 年 8 月 8 日
市	宝積寺 木造千体地藏 (彫刻)	1,000 体	主尊の勝軍地藏(しょうぐんじぞう)及び脇侍(わきじ)とともに、江戸後期の造立。今日まで完備した姿で伝えられているのは珍しく、貴重な存在である。	金明町 169-1 宝積寺	昭和 52 年 8 月 8 日
市	泉蔵院 十三仏石像 (歴史資料)	13 体	一体の石仏に、享保 6 年(1721)造立の銘がある。十三仏の各尊が個々の形体で、それぞれ独立の立像として彫刻、配列されているのは他に例がなく、貴重な存在である。	新里町 313 泉蔵院	昭和 52 年 8 月 8 日
市	泉蔵院 六地藏石仏 (歴史資料)	6 体	六道ごとの尊名を刻む六体の地藏菩薩。併せて建てられている供養塔の銘文から、元禄 4 年(1691)の造立と知れる。六地藏としての体系を具えたもので、造立当初からの姿態をよく残している。	新里町 313 泉蔵院	昭和 52 年 8 月 8 日
市	関根家所蔵 歴史資料 (歴史資料)	40 点	近世から明治初期の、篠葉村関係の文書資料。検地帳や村絵図など、草加周辺の様子をよく伝えている。また、草加宿の資料が明治の大火で大半を失っている中で、重要な史実が見出せる可能性のある資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 52 年 8 月 8 日
市	野島家所蔵 歴史資料 (歴史資料)	77 点	近世の草加宿と近隣村を解明する上で大変重要であり、郷土史研究においては基礎的な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 54 年 2 月 20 日
市	旭神社 算額 (歴史資料)	1 面	市内唯一の算額であり、奉納年代も古いものである。また、奉納者の系統(宮城流)も明らかであり、貴重な文化遺産である。	金明町 1333 旭神社	昭和 54 年 2 月 20 日
市	東福寺 鐘楼 (建造物)	1 棟	文久 2 年(1862)7 月再建立と刻む石積みの基壇(きだん)上に建ち、柱間 2.72mの方形。絵様(えよう)は、立川(たてかわ)流を基本としてにぎやかに飾り、天井は鏡天井(かがみてんじょう)で、17 字の梵字(ぼんじ)を書く。よくまとまった寺院建築物である。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 55 年 3 月 22 日
市	十三仏板碑 (歴史資料)	1 基	板碑(いたび)は中世の信仰生活を理解する上で、かけがえのない資料である。十三仏を梵字で刻む板碑は、市内唯一のものである。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 55 年 3 月 22 日

<お知らせとお願い>

- ・文化財の中には、所有者・管理者の意向により公表していないものもあります。
- ・掲載している文化財の中には、非公開のものもあります。見学を希望する際は、必ず所有者・管理者の許可を得てください。
- ・文化財を火災から守るため、文化財周辺での喫煙はご遠慮ください。
- ・文化財を傷つけたり、周囲を汚したりしないでください。

所管	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定・登録年月日
市	長堀家所蔵 歴史資料 (歴史資料)	48 点	旧新里村における、近世の旧体制から近代化への夜明けと苦悩が浮き彫りにされる、重要な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 55 年 3 月 22 日
市	題目板碑 (歴史資料)	1 基	碑の中央に「南無妙法蓮華經」と題目(だいもく)が刻まれている。さらにその右には、北朝年号である至徳 3 年(1386)の年号が刻まれている。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 55 年 3 月 22 日
市	寛永十三年 山王二十一仏庚申塔 (歴史資料)	1 基	板碑型(いたびがた)で、寛永 13 年(1636)の紀年銘をもつ。二十一仏庚申塔(にじゅういちぶつこうしんとう)としては、草加市域はもとより隣接市区でも最も古く、貴重な信仰資料である。	稲荷 4-3-23 慈尊院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	寛文二年 地藏(庚申)立像 (歴史資料)	1 基	高さ 95cm の丸彫型(まるぼりがた)の立像である。寛文 2 年(1662)の紀年銘をもつ市域でも古い像であり、貴重な金石資料といえる。	弁天 6-7-24 観正院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	延宝六年 地藏(庚申)立像 (歴史資料)	1 基	高さ 142cm の舟形(ふながた)の立像である。延宝 6 年(1678)の紀年銘をもち、市域でも古く、像容が優れている点が注目に値する。	弁天 6-7-24 観正院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	万治二年 板碑型六地藏 (歴史資料)	1 基	万治 2 年(1659)の造立は、市域の六地藏のうちでは古く、また板碑型の碑面に六体を収めた例は、他に見られない。	柿木町 1286 東漸院	昭和 56 年 1 月 31 日
市	万治二年 板碑型地藏立像 (歴史資料)	1 基	万治 2 年(1659)の造立は市域でも古く、他の地藏像が丸彫型か舟型であるのに対し、他に例を見ない板碑型である。	柿木町 565 正福寺跡	昭和 56 年 1 月 31 日
市	八幡神社 獅子頭 (工芸品)	雌雄一対	祭礼において、神輿(みこし)に供奉(ぐぶ)する獅子頭。高さ 83cm と大型で重量もあり、彫技に変化を付けることは至難であり、これも江戸末期の平面的な技法によって構成されている。	高砂 2-20 八幡神社	昭和 56 年 1 月 31 日
市	東福寺本堂 内外陣境彫刻欄間 (彫刻)	1 面	寺院の彫刻は、経費や期間、構図等において様々な制約がある中、これは技法も細やかで、構図・刀痕(とうこん)ともに、この地方の逸品である。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 57 年 2 月 22 日
市	東福寺 山門 (建造物)	1 棟	江戸時代の木割(きわり)書によって建造され、細部は工匠の熟練した技術によって処理されている。また、冠木(かぶき)上の彫刻も見事であり、彫工の非凡な刀痕が見られる。	神明 1-3-43 東福寺	昭和 57 年 2 月 22 日
市	吉岡家所蔵 歴史資料 (歴史資料)	432 点	幕末から明治にかけての金融関係の動向や、明治中・後期の東京との交換売買の有様等、郷土史研究にとって貴重な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 57 年 2 月 22 日
市	藤波家所蔵 歴史資料 (歴史資料)	一括	資料は大きく分けて、①草加せんべい、②豪農の家訓、③明治 10 年～20 年代の「草加人」の憲法学習、④日記に見る大正期の青少年の青春像の 4 編からなっており、いずれも郷土史研究にとって貴重な資料群である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 58 年 2 月 22 日
市	草加神社 本殿 (建造物)	1 棟	間口 2.27m、奥行 1.91m、向拝(こうはい)の出 1.73m の一間社流造で、天保年間の造営。豊富な彫刻も、立川流の絵様が採用されている。	氷川町 2118-4 草加神社	昭和 58 年 2 月 22 日
市	日枝神社 本殿 (建造物)	1 棟	間口 1.51m、奥行 1.34m、向拝の出 1.15m となる一間社流造で、彫刻充填(じゅうてん)式の社殿である。	吉町 3-9-24 日枝神社	昭和 58 年 2 月 22 日
市	手代町面芝居資料 (有形民俗文化財)	仮髪・面・ 衣装 44 点	面芝居(めんしばい)を演ずるのが、この地方の神楽の特色であったが、上演されなくなって久しい。面や衣装等はよく保存されており、民俗芸能を知る上で貴重な資料である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 59 年 3 月 14 日

所管	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定・登録年月日
市	弘安六年 弥陀一尊板碑 (歴史資料)	1 基	弘安 6 年(1283)の紀年銘をもつ、市域で最も古い板碑。中世の信仰生活を理解する上で、かけがえない資料である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 59 年 3 月 14 日
市	享禄五年 弥陀一尊図像 庚申待板碑 (歴史資料)	1 基	庚申待板碑(こうしんまちいたび)は、市域ではこの 1 点が確認されただけであり、造立も享禄 5 年(1532)と古く、中世の信仰生活を理解する上で、貴重な資料である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	昭和 60 年 3 月 28 日
市	文明十七年 弥陀一尊図像 月待板碑 (歴史資料)	1 基	月待板碑(つきまちいたび)は、市域ではこの 1 点が確認されただけであり、紀年銘も文明 17 年(1485)と、市内の月待に関する石造資料としては最も古く、中世の信仰生活を理解する上で、貴重な資料である。	遊馬町地内	昭和 61 年 2 月 20 日
県	甚左衛門堰 (建造物)	1 基	明治 27 年(1894)に竣工し、昭和 58 年(1983)までの約 90 年間稼働されてきた二連アーチ型の煉瓦(れんが)造水門。煉瓦は古いタイプの横黒(よこぐろ)煉瓦を使用しており、この種の煉瓦を使用した最後期を代表する遺構である。また、建設当初からの美しい姿は周囲の景観にもよくとけ込み、さらに保存状態も良好で、農業土木技術史・窯業技術史上からも、貴重な遺構である。	神明 2-145-1 ほか 札幌河岸公園	市指定 平成 10 年 10 月 28 日 県指定 平成 11 年 3 月 19 日
市	正保二年 草賀町銘板碑型 線刻虚空蔵菩薩 立像供養塔 (歴史資料)	1 基	「草賀町」と刻まれた石造資料としては、市域で最も古いものとして注目される。また、数少ない虚空蔵菩薩(こくうぞうぼさつ)立像が、線刻(せんこく)で刻まれている。	草加 2-13 北草加観音堂	平成 17 年 9 月 29 日
市	綾瀬川(旧新田村) 出土丸木舟 (歴史資料)	1 基	昭和 4 年(1929)、綾瀬川のしゅんせつ工事中に発見された。放射性炭素年代測定により、約 5300 年前・縄文時代前期のもので、材質は榎(カヤ)と判定された。帯状の割(く)り残しによる横梁(よこばり)を有し、丸木舟(まるきぶね)の構造を解明する上でも重要な資料である。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	平成 18 年 7 月 26 日
国	草加市立歴史民俗資料館(旧草加小学校西校舎) (登録有形文化財<建造物>)	1 棟	大正 15 年(1926)に建設された、埼玉県初の鉄筋コンクリート造校舎。昭和 54 年(1979)度まで草加小学校の校舎として利用され、昭和 58 年(1983)に歴史民俗資料館としての運用が開始された。正面中央上部の山形のデザインが、この建物の芸術性の高さを象徴している。今なお「造形の規範となっているもの」と認められ、国の登録有形文化財(建造物)」に、草加市で初めて登録された。	住吉 1-11-29 歴史民俗資料館	国登録 平成 20 年 10 月 23 日
市	明治天皇 草加行在所記念碑 (歴史資料)	1 基	谷古宇村の名主を務めた大川弥惣右衛門家は、明治 9 年(1876)の奥羽巡幸(おううじゅんこう)及び同 14 年(1881)の東北・北海道巡幸に当たり、明治天皇の行在所(あんざいしよ:宿所)とされ、昭和 8 年(1933)には史蹟名勝天然記念物保存法に基づく史蹟に指定された。草加町はこれを記念し、翌 9 年(1934)に本記念碑を建立した。	住吉 2 丁目地内	平成 23 年 12 月 26 日

所管	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定・登録年月日
国	藤城家住宅 店舗・内蔵・外蔵 (登録有形文化財 ＜建造物＞)	各 1 棟	日光街道に西面して建つ「店舗」は二階建てで、一階は張り出した庇（ひさし）部分を巧みに取り込み、土間と畳敷きの帳場（ちょうば）を設け、二階は畳敷きの座敷となっている。「店舗」の後方には、母屋に組み込まれた重厚な土蔵造りの「内蔵」と、明治初期の建造と伝える「外蔵」が建ち、奥行きが深い、草加宿の典型的な町屋の景観を残している。「国土の歴史的景観に寄与しているもの」と認められ、国の登録有形文化財（建造物）に登録された。	高砂 2-19-3	国登録 平成 25 年 6 月 21 日
市	瀬崎の富士行及び 富士塚 (民俗文化財)	一	富士山信仰を基盤とするもので、一般的には「富士講」と呼ばれるが、19 世紀中頃からの伝承を伝える瀬崎では「富士に行き、富士の山頂で神靈に祈誓を捧げること」が最も重要な要素であるとの認識のもと、あえて「富士（ふじこう）」と表記してきた。また、「オツタエ」と呼ぶ独自の唱言を伝え、山開きの 7 月 1 日などで奏上されている。誰もが富士登拝できるよう築かれた人工の山や塚を「富士塚」と呼ぶが、瀬崎の「富士塚」は大正 5 年(1916)8 月に築造されている。地元はもとより、近隣の「富士講」による参拝などもあって、今なお熱い信仰の対象となっている。	瀬崎 3-3-24	平成 26 年 1 月 24 日
国	おくのほそ道の 風景地 草加松原 (名勝)	一	綾瀬川沿いの旧日光街道に、約 1.5 km に及ぶ松の並木。古くから日光街道の名所として知られ、今では草加市のシンボルとして多くの市民に親しまれている。松は、一説には、天和 3 年（1683）の綾瀬川改修時に植えられたとも伝わるが、松尾芭蕉の『おくのほそ道』の時代の雰囲気や今に伝える風致景観であることが高く評価され、「おくのほそ道の風景地」の一群をなすものの一つとして、国の名勝に指定された。	栄町 1 丁目ほか	国指定 平成 26 年 3 月 18 日
国	須田家住宅（中屋） 土蔵 (登録有形文化財 ＜建造物＞)	1 棟	旧草加宿で、長く藍（あい）商を営んできた須田家の土蔵。明治後期に建てられ、二階建てで瓦ぶき。外壁は白漆喰（しろしっくい）を基調に、耐火性を重んじて軒先の垂木（たるき）・野地板（のじいた）までを塗り籠める。明治 3 年（1870）の大火以降、土蔵造り化が進んだ草加宿の姿を今に伝える数少ない遺構であり、「造形の規範となっているもの」と認められ、国の登録有形文化財（建造物）に登録された。	住吉 1-1-1	国登録 令和 3 年 10 月 14 日
国	久野家住宅店舗 (登録有形文化財 ＜建造物＞)	1 棟	旧草加宿の北端近くで、街道に東面して建つ久野家の店舗。木造瓦ぶき。二階の軒先は腕木（うでき）を突き出し、その先端で桁（けた）を支える出桁（だしげた）造り。関東大震災などで被災しているが、正面出入口の柱の側面や上部の庇には揚戸（あげど）の痕跡が認められる。草加宿の町屋建築の正面外観を今に伝える貴重な遺構であり、「国土の歴史的景観に寄与しているもの」と認められ、国の登録有形文化財（建造物）に登録された。	神明 1-6-14	国登録 令和 3 年 10 月 14 日

所管	名 称	員数	概 要	所 在 地	指定・登録年月日
市	草加宿老丁目の 神酒杵 (有形民俗文化財)	一対	草加宿老丁目で結ばれていた大山講において、大山への代参の際に御神酒を持ち運ぶために使用した道具。大山詣りを描いた浮世絵などから、本来は天秤棒の両端に差して、2基一対で使用していたと考えられる。霊廟社殿風の本体には細かな彫刻が充填され、内部には御神酒を入れるための神酒樽が収納されている。大山講の活動は既に途絶えているが、かつて関東一円に広まった大山信仰の草加地域における実態を考える上で重要な資料である。	高砂2丁目地内	市指定 令和8年6月29日
市	草加宿四丁目の 神酒杵 (有形民俗文化財)	1基	草加宿四丁目で結ばれていた大山講において、大山への代参の際に御神酒を持ち運ぶために使用した道具。大山詣りを描いた浮世絵などから、本来は天秤棒の両端に差して、2基一対で使用していたと考えられる。霊廟社殿風の本体には細かな彫刻が充填されている。脇障子部分には彫工の後藤三次郎恒徳の名が刻まれている。神酒杵（みきわく）の収納箱には製作年や草加宿五丁目と1基ずつ保管して共用していたことを推察させる墨書がある。	住吉1丁目地内	市指定 令和8年6月29日
市	草加宿五丁目の 神酒杵 (有形民俗文化財)	1基	草加宿五丁目で結ばれていた大山講において、大山への代参の際に御神酒を持ち運ぶために使用した道具。大山詣りを描いた浮世絵などから、本来は天秤棒の両端に差して、2基一対で使用していたと考えられる。霊廟社殿風の本体には細かな彫刻が充填されている。脇障子部分には彫工の後藤三次郎恒徳の名が刻まれている。神酒杵（みきわく）の収納箱には製作年や草加宿四丁目と1基ずつ保管して共用していたことを推察させる墨書がある。	神明1丁目地内	市指定 令和8年6月29日

選定保存技術

選定	名 称	概 要	保持者・保存団体	認定年月日
国	唐紙製作	雲母（きら）や絵具を用い、木版摺（もくはんずり）の技術で紙に模様をつけた装飾紙の製作技術。 唐紙は、中国渡来の技術ではあるが、平安時代から和歌を書き写す料紙（りょうし）として、衝立（ついたて）や屏風（びょうぶ）、襖（ふすま）障子（しょうじ）などの建具（たてぐ）の一部として独自の発展を遂げ、主に宮廷や公家（くげ）の邸宅、寺院や一部の武家屋敷などで使用されてきた。なお、近世・江戸時代になると、需要は町屋（まちや）にまで広がり、庶民の使用にも広がりを見せている。 小泉氏は、使用する絵具の調整と正確な手摺り技法に定評があり、氏の作成された「唐紙」は、美術工芸品や建造物など文化財の保存に不可欠なものである。	小泉 幸雄 （こいずみ ゆきお）	国認定 平成29年10月2日

教育委員会関係附属機関委員

(令和8年8月1日現在 順不同、敬称略)

草加市奨学資金貸付審査会委員(4人)

小野 陽子 鈴木 英治 若林 秀次 高橋 惠美

草加市立小中学校通学区域審議会委員(14人)

大上 哲治 小林 正俊 今井 武志 梅村 優美 落合 智絵
市川 雅保 白石 隆夫 福田 誠一 後藤 利宏 小松 薫樹
生明 茂 船戸 姿子 小野澤 美明子 唐牛 邦彦

草加市立小中学校の学校医等公務災害補償認定委員会(3人)

榊原 嘉明 内藤 毅嗣 松原 敬子

草加市いじめ問題対策連絡協議会(17人)

石井 健一 堤 匡史 佐藤 幸子 大西 真希 春日 和久
小野 陽子 船戸 姿子 高橋 洋子 帛溪 文有 市村 耕治
向坂 信久 岩本 和俊 巖上 哲子 村松 誠 吉田 英俊
和田 卓 篠崎 光浩

草加市いじめ問題調査対策委員会(4人)

近藤 研至 荒木 真名 川原 祐介 岡嶌 浩志

草加市障害児就学支援委員会委員(15人)

成田 奈緒子 浜田 正子 古川原 熙 高崎 純子 成田 聡子
柳澤 瑤貴 川村 亜希子 本間 錦一 滝島 茂 林 勇輝
高橋 整 柴崎 ひとみ 東 あやの 柳田 優子 土田 直人

草加市社会教育委員(14人)

横山 貞雄 後藤 利宏 清水 孝一 相原 博和 相澤 欣幸
猿渡 久子 高井 正 高橋 とし 榎本 武彦 山本 多美子
山森 哲雄 内田 有一 村上 純一 飯塚 竜也

草加市文化財保護審議会(6人)

岡本 一雄 譲原 純子 高梨 真行 菊地 潤 實松 幸男
山本 孝文

草加市公民館運営審議会委員(15人)

谷口 慎一 関根 光二 豊田 充香 山本 勇 鴫巢 由香
小林 榮子 竹内 智子 秦 昭彦 安部 雄二 三澤 江津子
蓮沼 孝侑 川角 一郎 橋本 奈津子 梶原 祐子 桑原 千明

草加市立図書館協議会委員(12人)

菅野 光三 平野 修 松村 美乃里 金川 絵津子 野田 圭介
青柳 伊佐雄 柴 康子 茂木 美穂 渡邊 恒一 高橋 亮多
小曳 京子 福田 求

学校教育関係等一覧

○小学校

No.	学 校 名	所 在 地	電話番号	校 長 名	教 頭 名
1	草加小学校	住吉一丁目11番64号	927-3568・3569	谷 口 慎 一	鈴 木 孝 夫
2	高砂小学校	中央一丁目2番5号	924-3425・3426	河 野 健	草 野 浩 典
3	新田小学校	旭町六丁目12番11号	941-3087・3172	赤 坂 佳 美	小 野 敦 史
4	谷塚小学校	谷塚仲町440番地	925-2422・7105	寺 本 博 美	早 野 裕 之
5	栄小学校	松原一丁目3番2号	941-2164・2124	小 川 睦 子	佐々木 和 寿
6	川柳小学校	青柳七丁目27番10号	931-5025・5024	撰 郁 子	蘇 武 敏 行
7	瀬崎小学校	瀬崎二丁目32番1号	924-9656・9657	柳 田 加 代	竹 村 直 樹
8	西町小学校	西町270番地	924-7245・7246	岩 渕 健 志	佐々木 紀 剛
9	新里小学校	新里町759番地	924-7248・7249	篠 崎 光 浩	長谷川 淳
10	花栗南小学校	花栗四丁目3番1号	941-2854・2835	小 林 和 美	福 原 慎太郎
11	八幡小学校	八幡町65番地	936-6293・6294	小 沼 健 寛	田 坂 清 治
12	新栄小学校	新栄四丁目959番地	941-2189・2188	高 橋 康 子	吉 田 佳 恭
13	清門小学校	清門三丁目37番地1	941-6755・6756	後 藤 利 宏	檜 尾 良 輝
14	稲荷小学校	稲荷五丁目11番1号	936-5855・5856	鈴 木 克 裕	金 子 容 子
15	氷川小学校	氷川町448番地	928-6771・6772	中 田 順 一	藍 原 正 明
16	八幡北小学校	八幡町1148番地	936-0773・0774	春 日 和 久	高 畑 美 奈
17	長栄小学校	長栄一丁目762番地	942-9874・9875	川 村 亜希子	磯 川 剛
18	青柳小学校	青柳三丁目17番1号	931-0899・0894	森 太 郎	関 敬 之
19	小山小学校	小山二丁目8番1号	941-1701・1702	土 屋 貴 一	飯 塚 智 広
20	両新田小学校	両新田西町55番地	927-8411・8412	菅 野 光 三	石 川 彩
21	松原小学校	松原四丁目2番1号	941-3214・3996	伊 藤 真由美	山 本 武

○中学校

No.	学 校 名	所 在 地	電話番号	校 長 名	教 頭 名
1	草加中学校	氷川町2179番地4	925-5201・5202	小 松 薫 樹	関 口 直 也
2	栄中学校	松原三丁目7番1号	941-2587・2589	廣 川 孝 司	市 村 耕 治
3	谷塚中学校	谷塚上町62番地	925-2421・3456	森 寿 義	梅 澤 孝 典
4	川柳中学校	青柳七丁目35番1号	931-5827・5828	清 水 孝 一	稲 村 秀 治
5	新栄中学校	新栄一丁目33番地	941-5034・5035	檜 森 輝 尚	遠 藤 大 介
6	瀬崎中学校	瀬崎五丁目3番1号	927-6297・6298	小 野 陽 子	綿 貫 稔
7	花栗中学校	花栗四丁目15番12号	941-5833・5835	鈴 木 英 治	竹 原 英 里
8	両新田中学校	両新田西町368番地1	924-5051・5052	本 間 錦 一	田 中 久 士
9	新田中学校	長栄一丁目767番地	942-9872・9873	平 野 修	神 田 研二郎
10	青柳中学校	青柳八丁目58番10号	936-4001・4002	渡 辺 真 一	石 橋 一 洋
11	松江中学校	松江三丁目14番33号	936-9903・9904	宮 川 靖 明	江 口 和 彦

○高等学校・大学等

No.	学 校 名	所 在 地	電 話 番 号	校長・学長
1	埼玉県立草加高校	青柳五丁目3番1号	935-4521	田 邊 広 昭
2	埼玉県立草加南高校	柳島町6番地	927-7671	湯 浅 達 也
3	埼玉県立草加東高校	柿木町1110番地1	936-3570	相 原 博 和
4	埼玉県立草加西高校	原町二丁目7番1号	942-6141	沖 田 潤 子
5	埼玉県立草加かがやき特別支援学校	松原四丁目6番1号	946-2131	小 林 直 紀
6	獨協大学	学園町1番1号	946-1641	前 沢 浩 子
7	文教大学 東京あだちキャンパス	足立区花畑五丁目6番1号	5686-8577	宮 武 利 江

○私立幼稚園・認定こども園

No.	幼 稚 園 名	所 在 地	電 話 番 号	園 長
1	谷塚幼稚園	瀬崎二丁目37番3号	928-0410	生 沼 千枝子
2	ルミ幼稚園	住吉一丁目6番22号	928-0016	小 野 真 理
3	認定こども園 あずま幼稚園	遊馬町430番地	925-1741	丹 羽 義 昭
4	いなり幼稚園	稲荷四丁目22番6号	931-4949	鈴 木 達 哉
5	かおり Karuna 認定こども園	氷川町1080番地1	928-4489	帛 溪 文 有
6	草加みどり幼稚園	栄町三丁目3番12号	936-0815	杉 浦 美 穂
7	青徳幼稚園	青柳七丁目19番26号	936-5560	出 川 有加里
8	ひかり幼稚園	松原二丁目1番1号	942-1015	谷 脇 純 子
9	草加ひまわり幼稚園	松原三丁目1番1号	941-2215	中 本 順 子
10	草加藤幼稚園	松原四丁目4番2号	942-1626	谷 脇 純 子
11	新田幼稚園	金明町650番地	942-5516	木 元 孝 子
12	谷塚おざわ幼稚園	谷塚町1328番地1	927-2828	小 澤 尚 久
13	草加氷川幼稚園	氷川町675番地	925-3006	保 坂 礼 子
14	みのべ幼稚園	北谷二丁目31番1号	941-8252	美濃部 やよい
15	草加ひので幼稚園	中根二丁目12番35号	931-1880	堀 江 鈍 也
16	清門幼稚園	清門三丁目12番1号	942-5880	高 橋 朋 宏
17	フラワー幼稚園	西町1005番地1	925-4121	大 野 良 行

児 童 ・ 生 徒 数 等 の 推 移

(各年度5月1日現在 単位：人・校)

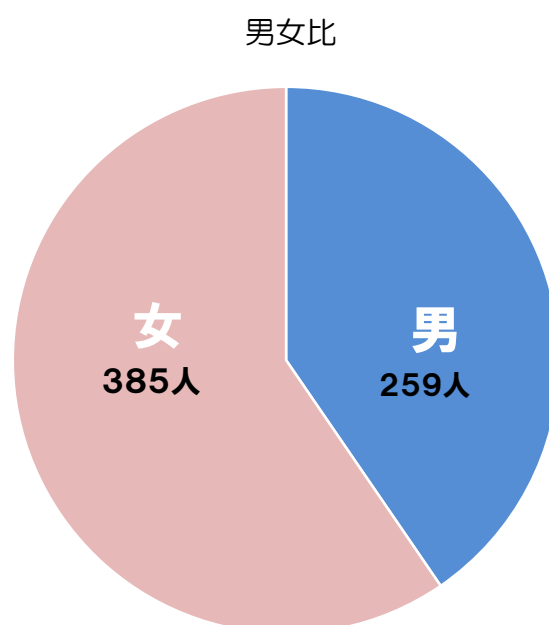
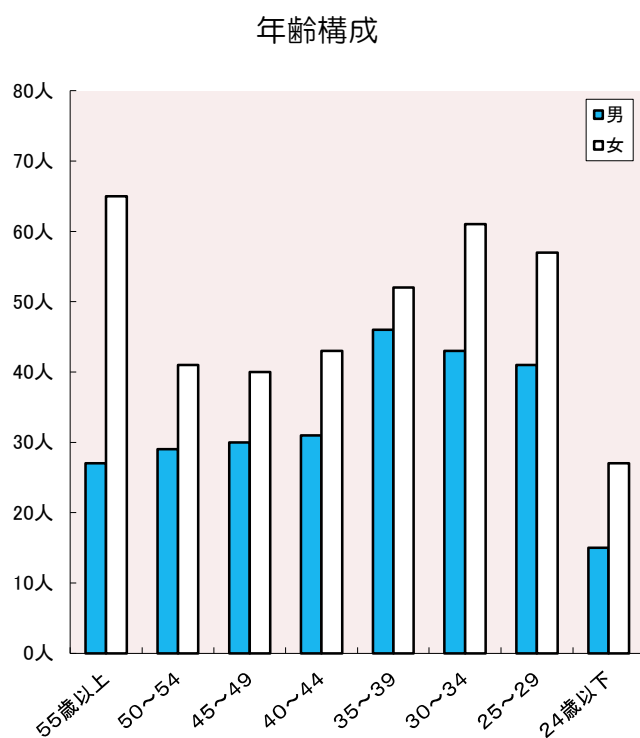
年度		19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
児童・生徒数	小学校	13,925	14,118	14,148	14,137	13,940	13,617	13,410	13,160	13,015	12,829
	中学校	5,894	5,881	6,081	6,140	6,410	6,549	6,555	6,547	6,425	6,380
学校数	小学校	22	22	21	21	21	21	21	21	21	21
	中学校	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
年度		29	30	元	2	3	4	5	6	7	8
児童・生徒数	小学校	12,623	12,421	12,254	12,123	11,895	11,683	11,441	11,269	11,002	10,610
	中学校	6,209	6,144	6,048	6,068	6,014	5,957	5,778	5,631	5,563	5,537
学校数	小学校	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
	中学校	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11

教職員の年齢構成・男女比

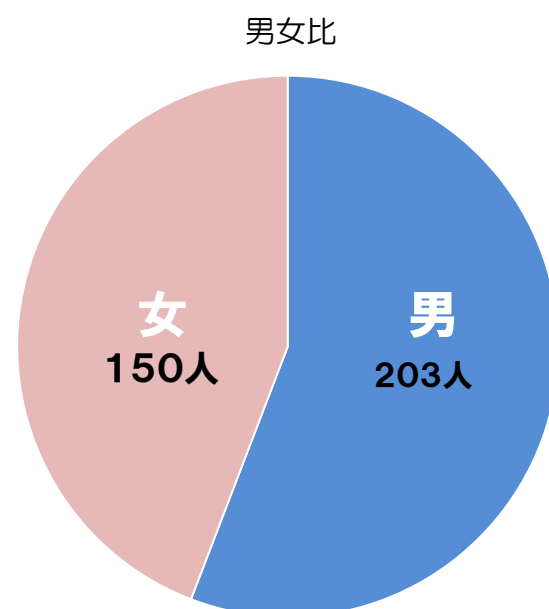
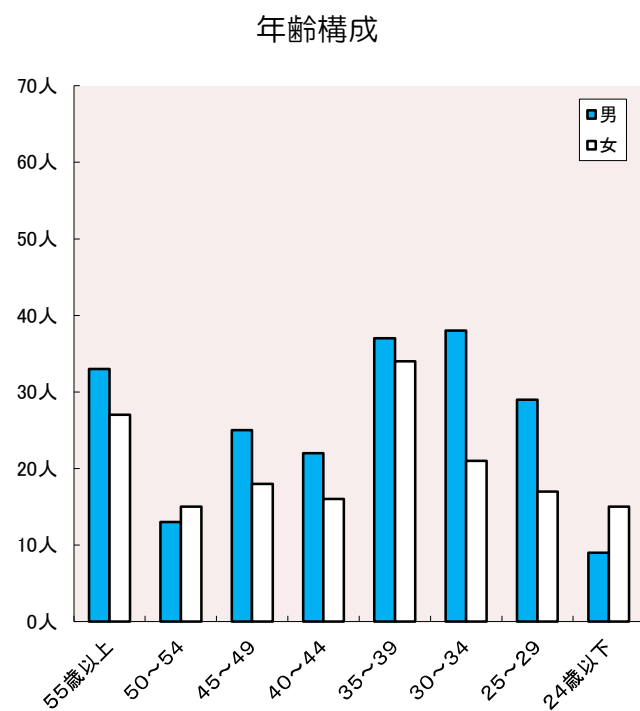
(令和8年5月1日現在、県費負担教職員)

(年齢は令和9年3月31日現在)

小学校(644人)



中学校(353人)



学校概要

令和8年度草加市小中学校学校年別児童・生徒数・学級数等一覧表

(令和8年5月1日現在)

	学校数	児童・生徒数	学 級 数		計	県費教職員数		
			通常学級	特別支援学級		男	女	計
小学校	21	10,610	351	78	429	262	386	648
中学校	11	5,537	158	31	189	206	369	675
計	32	16,147	509	109	618	468	549	1,017

(小学校)

No.	学校名	創立記念日	開校記念日	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特別支援学級				計		県費教職員数							
				児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	児童 生徒数	学級数	児童 生徒数	児童 生徒数	児童 生徒数	校長	教頭	主幹 教諭	養護 教諭	栄養 教諭	事務 職員	学校 栄養 職員	計		
1	草加	明5.5.15	5月15日	86	3	105	3	87	3	116	4	113	4	118	4	28	5	653	26	1	1	1	31	1	1	1	0	37	
0	高砂	昭29.4.1	9月18日	96	3	106	4	97	3	108	4	119	4	141	5	18	4	685	27	1	1	1	33	2	1	3	0	42	
3	新田	明6.4.26	4月26日	72	3	74	3	59	2	62	2	53	2	61	2	15	3	396	17	1	1	1	22	1	0	1	0	27	
4	谷塚	明6.1.25	1月25日	91	3	91	3	92	3	99	3	99	3	113	4	19	3	604	22	1	1	1	28	1	1	1	0	34	
5	栄	昭38.4.1	5月2日	78	3	102	3	82	3	88	3	117	4	100	3	38	6	605	25	1	1	1	33	2	1	1	0	40	
6	川柳	明6.1.15	4月12日	61	2	76	3	69	2	72	3	91	3	78	3	31	5	478	21	1	1	1	24	1	0	1	0	29	
7	瀬崎	昭42.4.1	5月4日	72	3	60	2	77	3	82	3	88	3	82	3	18	3	479	20	1	1	1	24	1	0	1	1	30	
8	西町	昭42.4.1	1月23日	83	3	92	3	93	3	82	3	108	4	84	3	27	4	569	23	1	1	1	27	1	1	1	0	33	
9	新里	昭45.4.1	2月10日	75	3	81	3	91	3	104	3	95	3	101	3	27	5	574	23	1	1	1	26	1	1	1	0	32	
10	花栗	昭47.4.1	5月10日	60	2	78	3	84	3	66	2	67	2	95	3	23	4	473	19	1	1	1	24	1	1	1	0	29	
11	八幡	昭48.4.1	9月29日	70	2	82	3	96	3	80	3	94	3	118	4	21	4	561	22	1	1	1	27	1	0	1	1	33	
12	新栄	昭49.4.1	11月22日	41	2	55	2	56	2	52	2	62	2	58	2	10	2	334	14	1	1	1	19	1	0	1	0	24	
13	清門	昭51.4.1	9月14日	100	3	80	3	110	4	101	3	116	4	112	4	19	3	638	24	1	1	1	29	1	1	1	0	35	
14	福荷	昭52.4.1	5月4日	60	2	84	3	74	3	74	3	80	3	76	3	10	2	458	19	1	1	1	23	1	0	1	0	28	
15	米川	昭52.4.1	9月16日	62	2	75	3	96	3	76	3	70	2	79	3	35	5	493	21	1	1	1	28	1	0	1	0	33	
16	八幡北	昭54.4.1	5月4日	65	2	54	2	65	2	63	2	64	2	63	2	22	4	396	16	1	1	1	20	1	0	1	0	24	
17	長栄	昭55.4.1	7月1日	69	2	66	2	68	2	66	2	60	2	81	3	27	4	437	17	1	1	1	22	1	1	1	0	27	
18	青柳	昭57.4.1	5月4日	44	2	59	2	56	2	39	2	67	2	54	2	10	2	329	14	1	1	1	18	1	0	1	1	23	
19	小山	昭57.4.1	10月14日	56	2	63	2	67	2	74	3	67	2	73	3	13	3	413	17	1	1	1	20	1	0	1	0	25	
20	面新	昭57.4.1	5月4日	63	2	84	3	75	3	50	2	85	3	73	3	20	4	450	20	1	1	1	24	1	0	1	0	29	
21	松原	平21.4.1	5月23日	134	4	108	4	96	3	92	3	74	3	61	2	20	3	585	22	1	1	1	29	1	0	1	1	34	
計				1,538	53	1,675	59	1,690	57	1,646	58	1,789	60	1,821	64	451	78	10,610	429	21	21	16	531	23	9	23	4	648	

(中学校)

1	草加	昭22.4.1	4月23日	224	7	191	5	221	6							17	3	653	21	1	1	1	34	1	1	2	0	41
2	栄	昭22.4.1	11月2日	146	5	130	4	131	4							18	4	425	17	1	1	1	28	1	0	1	0	32
3	谷塚	昭22.4.1	5月3日	196	6	171	5	174	5							19	4	560	20	1	1	1	33	1	1	1	0	39
4	川柳	昭22.4.1	5月1日	113	4	109	3	109	3							13	2	344	12	1	1	1	20	1	0	1	1	26
5	新栄	昭49.4.1	5月4日	202	6	206	6	204	6							12	2	624	20	1	1	1	34	1	0	1	1	39
6	瀬崎	昭51.4.1	5月4日	203	6	231	6	210	6							18	3	662	21	1	2	0	33	1	0	2	0	39
7	花栗	昭52.4.1	5月24日	127	4	155	4	144	4							14	3	440	15	1	1	0	25	2	1	1	0	31
8	面新	昭54.4.1	5月4日	165	5	180	5	156	4							14	2	515	16	1	1	1	27	1	0	1	0	32
9	新田	昭55.4.1	7月1日	141	5	141	4	147	4							14	3	443	16	1	1	0	26	1	0	1	0	30
10	青柳	昭56.4.1	7月7日	141	5	182	5	140	4							18	3	481	17	1	1	1	26	1	0	1	0	31
11	松江	昭60.4.1	6月27日	132	4	121	4	124	4							13	2	390	14	1	1	1	24	1	0	1	0	29
計				1,790	57	1,817	51	1,760	50							170	31	5,537	189	11	12	7	310	12	3	13	2	369

小・中学校施設状況

(令和8年4月1日現在)

No	学 校 名	校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	全教室数 (保有教室数)	屋内運動場 (㎡)	プール面積 (水面積) (㎡)	グラウンド 面積 (㎡)
1	草加小学校	14,200	5,393	33	890	375	7,620
2	高砂小学校	25,357	11,697	41	1,475	385	8,088
3	新田小学校	15,032	5,992	32	901	385	4,327
4	谷塚小学校	17,311	8,603	35	985	390	6,260
5	栄小学校	19,081	8,600	39	938	385	9,304
6	川柳小学校	21,924	5,888	28	899	385	10,415
7	瀬崎小学校	16,602	5,487	34	916	375	4,914
8	西町小学校	18,909	6,540	33	922	375	7,136
9	新里小学校	15,189	6,432	37	897	375	5,756
10	花栗南小学校	15,666	5,800	31	883	375	6,969
11	八幡小学校	22,735	8,059	40	908	375	9,626
12	新栄小学校	16,500	5,989	25	888	375	7,628
13	清門小学校	14,837	7,180	34	902	375	7,473
14	稲荷小学校	16,324	4,858	25	902	375	8,647
15	氷川小学校	16,430	6,707	35	949	375	7,746
16	八幡北小学校	15,441	6,055	27	934	350	8,746
17	長栄小学校	16,029	5,429	25	860	350	7,496
18	青柳小学校	12,888	4,708	24	1,121	350	6,039
19	小山小学校	14,123	4,991	26	936	350	8,656
20	両新田小学校	14,568	4,996	27	936	350	9,132
21	松原小学校	18,338	8,009	36	851	345	7,635
計		357,484	137,413	667	19,893	7,775	159,613
1	草加中学校	21,506	5,755	32	2,095	425	7,448
2	栄中学校	26,479	5,805	29	842	325	15,153
3	谷塚中学校	22,591	7,505	32	897	375	9,471
4	川柳中学校	20,180	5,156	26	852	325	7,364
5	新栄中学校	15,819	6,005	35	919	375	6,291
6	瀬崎中学校	17,702	6,057	34	945	325	9,943
7	花栗中学校	17,078	6,674	31	891	325	8,599
8	両新田中学校	17,564	5,740	26	936	325	12,067
9	新田中学校	17,581	6,656	29	939	325	9,647
10	青柳中学校	17,063	6,651	31	930	325	8,598
11	松江中学校	17,302	6,992	28	800	325	9,383
計		210,865	68,996	333	11,046	3,775	103,964

令和 8 年度 草加の教育

令和 8 年 8 月 発行

編 集 草加市教育委員会総務企画課

発 行 草加市教育委員会

草加市高砂一丁目 1 番 1 号

TEL 048-922-0151(代)

FAX 048-928-1178

